

StorageTek Virtual Storage Manager GUI

ユーザーズガイド

Release 1.1

E79963-01

2016 年 9 月

StorageTek Virtual Storage Manager GUI ユーザーズガイド

E79963-01

Copyright © 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporation およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java はオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

はじめに	13
対象読者	13
ドキュメントのアクセシビリティについて	13
表記規則	13
1. 概要	15
2. インストールおよび構成	17
VSM GUI スタンドアロン VM ソフトウェアのインストール	17
製品配布媒体	17
VM リソースの要件	17
VM ソフトウェアのバージョン	18
VM システムの OS/ソフトウェアスタックの詳細	18
VSM GUI ソフトウェアのダウンロード	18
VMware 環境用の VM システムの配備	19
VM システムの構成	21
oVTCS コンソールシステムの構成	24
VSM GUI のサイト固有の初期構成	26
サイト構成タスク	27
必要なサイトデータ	27
VSM GUI ユーザー名とユーザーロールの定義	28
サイトの構成手順	28
データ取り込みプロセスの開始	29
VSM GUI へのアクセス	30
3. はじめに	31
VSM GUI へのログイン	31
アクセシビリティ設定	31

ユーザーロール	32
ログオフ	32
VSM GUI ダッシュボード	32
VSM GUI ナビゲーションツリー	33
Status	33
Display	33
Management	33
VSM Console	34
Administration	34
4. 「Status」メニュー	35
Dashboard	35
Status	36
VTV Counts	39
Free MVCs	40
Free MVCs: MVC Pools	40
Free MVCs: Media	42
MVCs in Error	42
MVCs in Error: MVC Pools	42
MVCs in Error: Media	43
Active Processes	44
プロセスの取り消し	49
Queued Processes	49
プロセスの取り消し	54
Tasks	54
5. 「Display」メニュー	59
Display CLINK	59
Cluster Links (CLINKS)	60
CLINK Status	63
CLINK Usage	63
Display Cluster	64

Clusters	64
CLINKs for Cluster	68
Display Configuration	71
Display Drive	73
Drives (RTDs and vRTDs)	73
Paths to Drive	77
Drive Status	80
Drive Allocation	80
Drive Requests Queued	81
Display MVC	82
Multi-Volume Cartridges (MVCs)	82
VTVs on MVC	88
MVC States	92
MVC Space Usage	93
Display MVC Pool	94
Multi-Volume Cartridge (MVC) Pools	94
MVCs in MVC Pool	97
MVC States in MVC Pool	103
Volumes in MVC Pool	104
Sizes in MVC Pool	104
Display VLE	105
Virtual Library Extension (VLE)	105
Drives (vRTDs) for VLE	107
Display VTD	110
Virtual Tape Drives (VTDs)	111
Hosts for VTD	112
VTD Status	115
VTD Usage	116
Display VTSS	117
Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)	117
CLINKs for VTSS	120
Clusters for VTSS	123

Drive Paths for VTSS	127
Features for VTSS	129
Hosts for VTSS	130
VTDs in VTSS	132
DBU Percentage for VTSS	134
Display VTV	135
Virtual Tape Volumes (VTVs)	135
MVCs Containing VTV	139
VTV States	145
VTV Compression	146
VTV Counts	147
6. 「Management」メニュー	149
Command Log	149
Audit Output	151
Exceptions	152
MVC Results	154
Tapeplex Results	155
VTVs Moved	157
VTV Results	158
Electronic Exports	160
Vary Output	161
Canceled Processes	161
Audit	166
Audit by MVC	166
Audit by VTSS	167
MVC Drain	168
Drain by MVC	169
Drain by MVC Pool	170
Drain by Storage Class	171
Reclaim	172
Reclaim by All MVCs	173

Reclaim by MVC	174
Reclaim by MVC Pool	175
Reclaim by Storage Class	176
Reclaim by ACS	177
Reconcile	178
Reconcile by All MVCs	178
すべての MVC 内のすべての VTV を調整する	178
すべての MVC 内の選択した VTV を調整する	179
すべての MVC 内の管理クラスによって調整する	181
Reconcile by MVC	182
選択した MVC 内のすべての VTV を調整する	183
選択した MVC 内の選択した VTV を調整する	184
選択した MVC 内の管理クラスによって調整する	185
Reconcile by Storage Class	187
選択したストレージクラス内のすべての VTV を調整する	187
選択したストレージクラス内の選択した VTV を調整する	188
選択したストレージクラス内の管理クラスによって調整する	190
Vary	191
Vary by CLINK	191
Vary by RTD	192
Vary by VTSS	193
7. 「VSM Console」メニュー	195
Command Line Interface	195
「Command Log」表	196
「Command Output」表	197
Configuration/Policy	199
アップロードとダウンロードの概要	199
ファイル管理の詳細	201
VSMc の「Configuration/Policy」パネル	202
ファイルの編集	205
ファイルのアップロード	208

ファイルのダウンロード	209
Console Log	209
WTOR および HILITE 表	210
ログ表	212
8. 「Administration」 メニュー	215
Site Configuration	215
Configure Supported Tapeplexes	217
Create/Edit Tapeplex	217
Add a New Tapeplex	218
Edit a Tapeplex	218
Tapeplex の削除	219
Create/Edit Host Data for Tapeplex	219
新規ホストの追加	220
ホストの編集	220
ホストの削除	221
Configure Application Users	221
Create/Edit User Information	221
Create a User	222
Edit a User	223
ユーザーの削除	223
Create/Edit User Roles for User	223
ユーザーロールエントリの作成	224
ユーザーロールエントリの編集	224
ユーザーロールエントリの削除	225
Configure Alert Levels	225
Create/Edit Tapeplex Alert Levels	225
TapePlex の新規 VTSS Critical Level アラートの追加	226
TapePlex の VTSS Critical Level アラートの編集	226
TapePlex のアラートの取り消し	227
Create/Edit Alert Levels for VTSS	227
Add New VTSS Alerts for a Tapeplex	228

VTSS アラートの編集	228
VTSS アラートの取り消し	229
Edit Default Configuration Properties	229
構成プロパティの編集	230
サイト構成のサマリーの確認	230
Application Logs	230
Database Update Log	231
Database Update Log Data Table	231
データベース更新のエラー	233
User Activity Log	235
9. データベースのバックアップと管理	239
バックアッププロセス	239
オフロードされたデータの使用	242
保守	242
A. フィルタの使用	243
データのフィルタリング	243
フィルタの削除	244
拡張フィルタリング	244
検索演算子の追加	244
検索フィールドの追加	245
検索パラメータの保存	246
保存された検索の取得	246
保存された検索のパーソナライズ	246
B. Weblogic のための LDAP 構成	249
LDAP セキュリティーの基礎概念	249
LDAP セキュリティーオブジェクト	249
LDAP ツリー構造	250
LDAP 識別名	250
LDAP サーバーの構成	251

OpenLDAP 用の Weblogic	252
Active Directory 用の Weblogic	255
C. 問題の報告	259
索引	261

表の一覧

B.1. OpenLDAP プロバイダ固有の情報の構成値	253
B.2. Active Directory プロバイダ固有の情報の構成値	257

はじめに

このガイドでは、Oracle の StorageTek VSM GUI ソフトウェアについて説明します。VSM GUI には、VSM 環境での VTCS コマンドとユーティリティーに対するポイント&クリックの代替方法が用意されています。

対象読者

このドキュメントは、VSM GUI をインストール、構成、および使用する管理者とアナリストを対象としています。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>) を参照してください。

Oracle Support へのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>) を参照してください。

表記規則

このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

表記規則	意味
太字	太字は、アクションに関連付けられたグラフィカルユーザーインターフェースの要素、またはテキストや用語集で定義される用語を示します。
斜体	斜体は、マニュアルタイトル、強調、または特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
モノスペース	モノスペースは、段落内のコマンド、URL、例のコード、画面に表示されるテキスト、またはユーザーが入力するテキストを示します。

第1章 概要

ようこそ

Oracle の StorageTek Virtual Storage Manager グラフィカルユーザーインターフェース (VSM GUI) には、仮想テープ制御ソフトウェア (VTCS) 管理への Web ベースのインターフェースと、StorageTek VSM ライブラリ製品のレポート作成コマンドが用意されています。

VSM GUI は、次の 2 つの形式で使用できます。

- VSM コンソール (VSMc) サーバーに LDOM (仮想マシン) としてプリインストールされています
- VMware または Oracle VM (x86-64) サーバーにインストールされるスタンドアロン仮想マシンソフトウェア製品

どちらの形式でも、VSM GUI を実行するためにすでにインストールされている必要なすべてのソフトウェアを含む仮想マシンが提供されます。これは次に、VTCS と通信したり、VSM リソースを収集、表示、および報告したり、VTCS にコマンド要求を発行したりするためにユーザーによって構成されます。

第2章 インストールおよび構成

VSM GUI は、次の 2 つの形式で使用できます。

- VSM コンソール (VSMc) サーバーに LDOM (仮想マシン) としてプリインストールされています
- VMware または Oracle VM (x86-64) サーバーにインストールされるスタンドアロン仮想マシンソフトウェア製品

この章では、この両方の状況でのインストールおよび構成プロセスについて説明します。

VSM GUI スタンドアロン VM ソフトウェアのインストール

VSM GUI が VMware x86-64 サーバーにダウンロードおよびインストールされる場合は、下の手順に従ってください。

VSM GUI が VSMc サーバーに LDOM としてプリインストールされている場合は、このセクションをスキップしてください。 [oVTCS コンソールシステムの構成](#) を参照してください。

製品配布媒体

VSM GUI Web アプリケーションは、仮想マシン (VM) を使用して配布されます。VM 環境には、VSM GUI にアクセスするために必要なオペレーティングシステムおよびソフトウェアスタックが含まれています。VM をサイトの VMware 環境に取り込みます。配布のタイプは Open Virtualization Format (OVA) です。

VM リソースの要件

最適な VSM GUI アプリケーションパフォーマンスのためには、次の最小リソースが製品 VM に割り当てられている必要があります。

- 32G バイトのメモリー
- 80G バイトの仮想ディスク領域

- 4 CPU

VM ソフトウェアのバージョン

VSM GUI アプリケーション用の VM は、次の VM 環境で動作します。

VMware:

- VMware ESXi: 5.1.0、ビルド 1483097
- vSphere Client: 5.1.0、ビルド 1471691

注記:

VM サーバーの CPU の要件を満たしている ESXi バージョンを使用します。

VM システムの OS/ソフトウェアスタックの詳細

VSM GUI アプリケーションをサポートするためにインストールおよび構成されるサードパーティソフトウェアコンポーネントは次のとおりです。

オペレーティングシステム: Oracle Linux 6.7

- ホスト名: vsmguisvr
- ユーザー: vsmgui (顧客アクセスのみ)
- ユーザー: oracle

Web サーバー: Weblogic 12.1.3

データベース: Oracle Database 12c リリース 12.1.0.1.0 - 64 ビット本番

VSM GUI ソフトウェアのダウンロード

1. 次の URL の Oracle Software Delivery Cloud Web サイトにアクセスします。

<http://edelivery.oracle.com/>

2. サインインし、輸出規制契約に同意します。
3. 「Product」検索ボックスで StorageTek VSM GUI ソフトウェアを見つけ、Linux x86-64 プラットフォームを選択します。「Selected Products」ボックスで正しい製品およびプラットフォームを選択したら、「**Continue**」をクリックします。
4. 製品の使用可能なバージョンが表示され、現在のリリースが事前選択されます。これが正しい場合は、「**続行**」をクリックします。

5. ライセンス契約の条件を確認して受け入れ、「**続行**」をクリックします。
6. ダウンロードするファイルが表示されたら、「**Download All**」をクリックします。
7. ファイルがダウンロードされたら、md5sum ユーティリティーを使用して、ダウンロードしたファイルを検証します。
 - UNIX/LINUX システムで、次のコマンドを使用します。

```
md5sum -c VSMGUI_file_parts.md5sum
```

- Windows システムでは、Microsoft がこのためにダウンロードできる Microsoft File Checksum Integrity Verifier (fciv.exe) を提供しています。

md5sum ファイルは ASCII テキストです。

8. ファイルの一部である .ova を結合して、完全な .ova ファイルを作成します。
 - UNIX/LINUX システムで、次のコマンドを使用します。

```
cat VSMGUI_n.ova.a* > VSMGUI_n.ova
```

ここで、*n* はファイル名内のバージョン番号 (1.2.3.00.000 など) です。

- Windows システムで、DOS ウィンドウから提供されているバッチファイル `cat_parts.bat` を実行します。

9. md5sum ユーティリティーを使用して、完全な .ova ファイルが正しいことを検証します。
 - UNIX/LINUX システムで、次のコマンドを使用します。

```
md5sum -c VSMGUI_n.ova.md5sum
```

ここで、*n* はファイル名内のバージョン番号 (1.2.3.00.000 など) です。

- Windows システムでは、Microsoft がこのためにダウンロードできる Microsoft File Checksum Integrity Verifier (fciv.exe) を提供しています。

md5sum ファイルは ASCII テキストです。

10. 続行する前に、このリリースの VSM GUI リリースノートを確認します。

VMware 環境用の VM システムの配備

1. Windows PC またはサーバーで、VMware vSphere Client ソフトウェアバージョン 5.1.0、ビルド 1471691 をインストールします。

2. VMware vSphere Client を起動し、インストール時に作成された資格証明を使用してログインします。

証明書に対してセキュリティーの警告が表示されることがあります。その場合は、「**Ignore**」をクリックします。

3. オプション: 以前の OVA インストールからの VM 構成を保存します。これが以前の OVA インストールおよび構成に対するアップグレードの場合は、次の手順を実行します。
 - a. 現在のサイト構成を保存します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./siteConfigCopy.sh save
```

- b. サイト構成および LDAP 構成を PC またはサーバーにバックアップします。

```
/opt/Oracle/Middleware/Oracle_Home/user_projects/domains/vsmgui/config/  
config.xml
```

```
/home/vsmgui/siteConfigData.sql
```

4. 「**File**」メニューの「**Deploy OVF Template**」を選択して、VSMGUI_n.ova ファイルを使用して VM を配備します。

注記:

これがクライアントソフトウェアをはじめて実行しているのであれば、「**Home**」画面が最初に表示されることがあります。その場合は、「**Inventory**」アイコンをクリックし、上記の指示に従って OVF テンプレートを配備します。

5. 次のように「**Deploy OVF**」ウィザードのプロンプトに従います。
 - a. 「**Source**」: VSMGUI_n.ova ファイルを参照して、ソースの場所を選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
 - b. 「**OVF Template Details**」: 「**Next**」をクリックして続行します。
 - c. 「**Name and Location**」: 配備されるテンプレートの名前および場所を入力します。これは、VM のタイプとバージョン番号 (たとえば、VSM_GUI_1.2.3.00.000) を知らせる名前にするべきです。次に、「**Next**」をクリックします。
 - d. 「**Storage**」: この VM のデータストレージを選択します。次に、「**Next**」をクリックします。

- e. 「**Disk Format**」: 「**Thick Provision Eager Zeroed**」を選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
- f. 「**Network Mapping**」: ネットワークインベントリからソースネットワークを選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
- g. 「**Ready to Complete**」: 配備設定が表示され、これらが使用するオプションであるかどうか確認されます。

正しくない場合は、「**Back**」をクリックし、設定を修正します。

正しい場合は、「**Power On After Deployment**」を選択します。次に、「**Finish**」をクリックします。

VM システムの構成

1. 新しい VM にアクセスします。
 - a. 仮想マシンの左側ペインのリストで新しい VSM GUI VM を選択します。
 - b. メインの右ペインで「**Console**」タブを選択します。デスクトップログインを表示するために「コンソール」画面のクリックが必要になることがあります。
 - c. Linux デスクトップにログインします。

ユーザー名: **vsmgui**

パスワード: **vsm6admin**

2. コマンド端末を開き、Linux/システム構成を実行します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_config.sh
```

3. すべての構成プロンプトを完了します。
 - a. 「**Would you like to configure/reconfigure Network?**」で、「**y**」を選択します。
 - b. 「**Select Action**」で、「**Device Configuration**」を選択し、**Enter** キーを押します。
 - c. 「**Select a Device**」で、「**eth0**」を選択し、**Enter** キーを押します。
 - d. 「**Network Configuration**」で、サイト用のネットワーク構成データを入力します。

「Name」: eth0 または 「Device」: eth0 は変更しません。

「Use DHCP [*]」で、スペースバーを使用して DHCP をクリアします。

静的 IP、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ IP、およびオプションでプライマリとセカンダリの DNS サーバーを入力します。

「OK」を選択してデバイス構成を完了し、「Save」を選択して保存します。

- e. DNS 構成を入力します。この手順はオプションです。DNS の構成は、VSM GUI アプリケーションの使用には直接影響を与えません。

「DNS Configuration」を選択し、プライマリ DNS サーバー、および使用可能な場合はセカンダリとターシャリ DNS サーバーの IP アドレス、および DNS 検索パス (mycompany.com.など) を入力します。「Hostname」: vsmguisvr は変更しません。

「OK」を選択して DNS 構成を完了し、「Save&Quit」を選択して保存し、「Network Configuration」を終了します。

- f. タイムゾーンおよび NTP サーバー構成のプロンプトを完了します。
4. 構成スクリプトが完了すると、オペレーティングシステムが再起動します。完了したあと、代わりにスクリプトがプロンプトに戻る場合は、次のように再起動します。

```
$ sudo shutdown -r now
```

5. システムが再起動したあと、コマンド端末を開き、Oracle Database サービスを起動します。

```
$ su - oracle (password = vsm6sqladm!)
```

```
$ sqlplus /nolog
```

```
SQL> connect sys as sysdba; (password = vsm6sqladm)
```

```
SQL> startup;
```

```
SQL> quit
```

```
$ lsnrctl start
```

```
$ exit
```

6. データベースを設定します。ユーザー: vsmgui として次のコマンドを入力します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_import.sh
```

7. VSM GUI 管理者になる既存の LDAP ユーザーを追加します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_user.sh
```

8. オプション: 以前の OVA インストールから VM 構成を復元します。

これが以前の OVA インストールに対するアップグレードであり、VM システム配備時に構成ファイルをバックアップしてある場合は、次の手順を実行します。

- a. siteConfigData.sql を /home/vsmgui にコピーします
- b. config.xml を /opt/Oracle/Middleware/Oracle_Home/user_projects/domains/vsmgui/config/config.xml にコピーします
- c. 次を実行して、サイト構成を復元します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./siteConfigCopy.sh restore
```

9. Oracle Database がオンラインの状態で、Weblogic サービスを起動します。

```
$ sudo service weblogicd start
```

コマンドは、起動時に端末に直接出力します。プロンプトが返されたあと、ステータスは次のコマンドを使用して検証することもできます。

```
$ sudo service weblogicd status
```

10. Open LDAP または Microsoft Active Services のどちらかを使用して、認証のために LDAP サーバーにアクセスするように Weblogic を構成します。[Weblogic のための LDAP 構成](#)を参照してください。

11. LDAP 構成が完了したあとで Weblogic を再起動します。

```
$ sudo service weblogicd stop
```

```
$ sudo service weblogicd start
```

12. 必要なサイト構成を実行します。 [VSM GUI のサイト固有の初期構成](#)を参照してください。

oVTCS コンソールシステムの構成

前のセクションで VSM GUI が VMware x86-64 サーバーにインストールおよび構成された場合は、このセクションをスキップしてください。

VSM GUI が VSMc サーバーに LDOM としてインストールされている場合は、下の手順に従ってください。

注記:

以降の手順では、VSM コンソールのインストール、構成、およびサービスガイドに個別に記載されているように、VSM GUI アプリケーションが VSMc ですでに構成されていることを前提としています。続行する前に、これがすでに実行されていることを確認してください。

次のステップを実行します。

1. TUI または Putty (端末セッション) を使用してコマンド端末を開くことによって、新しい LDOM にアクセスします。

ユーザー名: oracle

パスワード: vsm6SQLadm

2. Oracle Database を起動します。

```
$ sqlplus /nolog
```

```
SQL> connect sys as sysdba; (password vsm6sqladm)
```

```
SQL> startup;
```

```
SQL> quit
```

```
$ lsnrctl start
```

3. 事前構成 Weblogic サービスを起動します。


```
$ sudo svcadm enable wladmin
```

サービスがオンラインになるまで待ちます (たとえば、`ex - $ svcs wladmin`)。その後、`wlmanaged` サービスを起動します。

```
$ sudo svcadm enable wlmanaged
```

4. Open LDAP または Microsoft Active Services のどちらかを使用して、認証のために LDAP サーバーにアクセスするように Weblogic を構成します。[Weblogic のための LDAP 構成](#)を参照してください。
5. Weblogic を停止します。

```
$ sudo svcadm disable wlmanaged
```

少なくとも 1 分待ちます。サービスが、実際より早く無効になったと報告することがあります。

```
$ sudo svcadm disable wladmin
```

この初期の事前構成のあと、サービスは保守モードに解決されます。

```
$ sudo svcadm disable wladmin
```

6. Weblogic 後の構成を実行します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_wlconfig.sh
```

スクリプトは、新しい `weblogic` および新しい `ingest` サービスが無効になっていると報告します。

```
STATE STIME FMRI
```

```
disabled 14:08:28 svc:/application/weblogic:default
```

```
STATE STIME FMRI
```

```
disabled 14:08:32 svc:/application/ingest:default
```

7. 構成後のサービスとともに Weblogic を起動します。

```
$ sudo svcadm enable weblogic
```

8. VSM GUI 管理者になる既存の LDAP ユーザーを追加します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_user.sh
```

9. オプション: ほかの LDOM インストールから VSM GUI LDOM サイト構成を復元します。これが以前の LDOM インストールへのアップグレードであり、以前の配備からサイト構成ファイルをバックアップした場合は、次のステップを実行します。
 - a. `siteConfigData.sql` を `/export/home/oracle` にコピーします。
 - b. 次を実行して、サイト構成を復元します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./siteConfigCopy.sh restore
```

10. 必要なサイト構成を実行します。 [VSM GUI のサイト固有の初期構成](#)を参照してください。

VSM GUI のサイト固有の初期構成

初期の VSM GUI インストールプロセスの一部としてサイト構成が必要です。

注記:

サイト構成の値を追加または変更する前に、`Ingest` を無効化する必要があります。

この情報には、データの収集元になる一連の TapePlex、各 TapePlex に接続された一連のホスト、VSM GUI がサポートおよび表示するさまざまなアラート条件の値が含まれます。

サイト構成では、VSM GUI が正しく動作するために必要なローカルサイト固有の情報を定義します。

注記:

VSMc 構成の場合は、各 VSMc が TapePlex を表し、VSMc の各ノードがその TapePlex にアクセスするためのホストを表します。

さらに、サイト構成では、LDAP ディレクトリ内で VSM GUI にアクセスできるユーザー、およびユーザーごとに各 TapePlex で許可されるアクセスのタイプを定義します。

サイト構成タスク

サイト構成タスクには次のものが含まれます。

- サポートされている TapePlex ごとに、TapePlex 名、およびログファイルメッセージの重要度レベルを指定します
- TapePlex ごとに、すべての VTV と初期化された VTV だけのどちらのデータを収集するのかを決定します
- 各 TapePlex に対して、接続されたホストごとの接続の詳細を提供します
- 各 TapePlex 用に定義されている少なくとも 1 つの HTTP サーバーが存在することを確認します。VSM GUI では、定義されている HTTP サーバーからのデータを収集し、データを表示することのみできます。
- 構成されているホストごとに VSM GUI によってサポートされている ELS のバージョンを実行することを確認します
- VSM GUI にアクセスできる LDAP ユーザー名を指定します。オプションで、電子メールアドレスを指定します。
- 各 TapePlex 上の各ユーザーにユーザーロールを割り当てます。ユーザーロールは使用可能な VSM GUI ページのセットを定義します。ユーザーが TapePlex にアクセスできない場合は、そのユーザーはその TapePlex のデータを参照できません。
- 各 TapePlex のアラートレベルを定義します
- 各 TapePlex 内の VTSS、および各 VTSS のアラートレベルを定義します
- デフォルトのデータベース更新構成を必要に応じて変更できます。サイトのホストサイクル時間およびバッチレコードサイズを微調整するために、いくつかのサイト構成プロパティが編集可能です。

必要なサイトデータ

サイト構成を実行する前に、次の情報を収集する必要があります。

- データが収集される TapePlex 名のリスト
- TapePlex ごとに、接続されたホストのリストおよび接続された VTSS のリスト
- 接続されたホストごとに、ホスト名または IP アドレス、SMC HTTP サーバーのポート番号、および ELS バージョン。ELS 7.3.1 より前の VSMc ホストの場合は、SMC サブシステム名と ELS サブシステム名も必要です。
- VSM GUI へのアクセスが許可される LDAP ユーザー名のリスト
- LDAP ユーザー名ごとに、アクセスできる TapePlex の名前

- LDAP ユーザー名ごとに、アクセスできる各 TapePlex におけるユーザーロール

VSM GUI ユーザー名とユーザーロールの定義

VSM ユーザーは、サイトの LDAP ディレクトリ内にある任意のユーザー名にできます。VSM GUI のユーザー名およびログインパスワードは、ユーザーの LDAP ログインおよびパスワードと同じです。

ユーザーがアクセスを許可されている各 TapePlex について、その TapePlex に対してユーザーに許可される VSM GUI へのアクセスのレベルを管理するユーザーロールが割り当てられます。

3つのユーザーロールがあります。

- **VsmViewer:** 指定された TapePlex 上の「Status」および「Display」タブ、「Administration - Database Update Log」オプションにアクセスし、コンテキストメニュー、「Management」および「VSM Console」タブ、その他の「Administration」オプションにはアクセスしません
- **VsmOperator:** 指定された TapePlex 上の「Status」、「Display」、「Management」、「VSM Console」、「Administration - Database Update Log」オプションにアクセスし、その他の「Administration」オプションにはアクセスしません
- **VsmGuiAdmin:** すべての TapePlex の「Status」、「Display」、および「Administration」タブにアクセスできます (コンテキストメニューへのアクセスを除く)

最初の VSM GUI ユーザーとして VM システム構成中に LDAP ユーザーが識別されました。このユーザーの役割は **VsmGuiAdmin** です。このユーザーとしてログインし、サイトの初期構成を実行します。

サイトの構成手順

VSM GUI のサイト構成手順は「**Administration**」メニューにあります。手順は、サイト構成プロセスの手順を示す、複数ページの Site Configuration Wizard の形式です。

サイト構成を実行するには:

1. VM システム構成中に VSM GUI に対して定義した静的ホスト IP アドレスにブラウザを開きます。

2. ログインプロンプトで、VM システム構成中に管理者として定義した LDAP ユーザー名を使用して VSM GUI にログインします。
3. ダッシュボードで、「**Administration**」タブをクリックし、「**Site Configuration**」を選択して Site Configuration Wizard を開きます。
4. 「**Introduction**」ページで、表示された情報を確認し、「**Next Page**」をクリックして構成プロセスを開始します。
5. 「**Configure Supported Tapeplexes**」ページで、各 TapePlex に接続される TapePlex とホストを定義します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
6. 「**Configure Application Users**」ページで、VSM GUI アクセスが許可される LDAP ユーザー名、各ユーザーがアクセスを許可される TapePlex、およびアクセス可能な TapePlex ごとのユーザーの役割を定義します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
7. 「**Configure Alert Levels**」ページで、サポートされる各 TapePlex 内の VTSS ごとのクリティカルアラートレベルしきい値を定義します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
8. 「**Configuration Properties**」ページで、必要に応じて、サイトのホストサイクル時間とバッチレコードサイズを微調整します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
9. 「**Summary**」ページで、構成設定を確認して、それらが完全かつ正確であることを確認します。変更するには、「**Previous Page**」および「**Next Page**」をクリックしてページ間を移動します。
10. 終わったら、「**Done**」をクリックして Site Configuration Wizard を閉じます。ダイアログが表示されます。「**OK**」をクリックして、「**Site Configuration**」タブを閉じます。

注記:

すべてのサイト構成データは、初期サイト構成プロセス中に定義される必要がありますが、いつでも変更できます。

データ取り込みプロセスの開始

取り込みプロセスを開始するための手順は、VSM GUI VM または oVTCS コンソールのどちらを使用しているかによって異なります。どちらの場合も、取り込みが正常に実行されるには、サイト構成をすでに完了している必要があります。

VSM GUI VM を使用している場合は、次のように取り込みプロセスを開始します。

1. ユーザー `vsmgui` (パスワード `vsm6admin`) として VSM サーバーにログインします
2. コマンド端末を開き、次のコマンドを実行します。

```
$ sudo service ingestd start
```

oVTCS コンソールを使用している場合は、次のように取り込みプロセスを開始します。

1. ユーザー `oracle` (パスワード `vsmSQLadm`) として VSM GUI LDOM にログインします
2. コマンド端末を開き、次のコマンドを実行します。

```
$ sudo svcadm enable ingest
```

VSM GUI へのアクセス

サイト構成が完了してデータの取り込みが成功したら、ローカルブラウザと次の URL を使用して、クライアントシステム上で VSM GUI Web アプリケーションにアクセスできます。

```
http://server name or IP:7003/VSM\_UI/faces/UIShell
```

第3章 はじめに

VSM GUI がインストールされてサイト用に構成されると、VSM GUI Web アプリケーションは、クライアントシステム上の承認済み LDAP ユーザーがローカルブラウザを使用してアクセスできます。

VSM GUI へのログイン

ローカルブラウザでサイトの VSM GUI の内部 Web アドレスを開きます。VSM GUI へのアクセスを承認されている場合は、VSM GUI 管理者からこのアドレスを提供されるべきです。

プロンプトが表示されたら、LDAP ユーザー名およびパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

承認されたユーザーである場合は、ログインが続行されます。そうでない場合は、サイトの VSM GUI 管理者に連絡してください。

アクセシビリティ設定

ログインが成功すると、「Accessibility」設定を含むダイアログが表示されます。

アプリケーションでスクリーンリーダーモードをアクティブにするには、「Screen Reader」をクリックします。

今後のログインでこのダイアログを非表示にするには、「Do not show these options again」をクリックします。

「Continue」をクリックしてダイアログを閉じ、VSM GUI のダッシュボードを表示します。アクセシビリティ設定は、今後のログイン用に記憶されます。

注記:

VSM GUI アプリケーションのページの右上隅にある「Accessibility Settings」をクリックすると、いつでもアクセシビリティ設定を変更できます。「Accessibility」ダイアログが表示されます。

ユーザーロール

ユーザーによって VSM GUI へのアクセスレベルは異なります。ユーザーごとに、そのユーザーに許可される VSM GUI アクセスのレベルを管理するユーザーの役割が割り当てられます。3つのユーザーロールがあります。

- **VsmViewer:** GUI で情報を表示します
- **VsmOperator:** 管理コマンドおよび VSM コンソールアクティビティを実行します
- **VsmGuiAdmin:** VSM GUI を管理します

各ユーザーには、「Site Configuration」で定義されている TapePlex ごとに VsmViewer または VsmOperator の役割が割り当てられます。したがって、VSM GUI のすべてのユーザーは、すべての TapePlex への少なくとも VsmViewer アクセスが許可されます。

VsmViewer の役割を持つユーザーは、次を表示できます。

- 「Status」メニュー: すべてのメニュー項目
- 「Display」メニュー: すべてのメニュー項目
- 「Administration」メニュー: Database Update Log

VsmOperator の役割を持つユーザーは、上のすべてに加えて次を表示できます。

- 「Management」メニュー: すべてのメニュー項目
- 「VSM Console」メニュー: すべてのメニュー項目

VsmGuiAdmin の役割を持つユーザーは、さらに次を表示できます。

- 「Administration」メニュー: すべてのメニュー項目

ログオフ

VSM GUI セッションからログオフして終了するには、任意の VSM GUI 表示画面の右上にある「**Logout**」をクリックします。

VSM GUI ダッシュボード

ログインしたあと、初期の VSM GUI 表示は「**Dashboard**」です。

ダッシュボードは、現在の VSM システムステータスを示し、主要なパフォーマンスメトリックのアラートを提供します。ダッシュボードは、VSM GUI セッション中に常に使用できます。

VSM GUI ナビゲーションツリー

ダッシュボードの左側にあるナビゲーションツリーには、VSM GUI レポートおよびコマンドの完全なセットへのリンクが含まれています。これらのリンクは、「**Status**」、「**Display**」、「**Management**」、「**VSM Console**」、「**Administration**」の5つのメニュータブに整理されています。

タブをクリックすると、メニューの詳細が表示されます。さまざまな機能へのユーザーのアクセスは、そのユーザーの役割によって異なります。

Status

- [Dashboard](#)
- [Active Processes](#)
- [Queued Processes](#)
- [Tasks](#)

Display

- [Display CLINK](#)
- [Display Cluster](#)
- [Display Configuration](#)
- [Display Drive](#)
- [Display MVC](#)
- [Display MVC Pool](#)
- [Display VLE](#)
- [Display VTD](#)
- [Display VTSS](#)
- [Display VTV](#)

Management

- [Command Log](#)

- [Audit](#)
- [MVC Drain](#)
- [Reclaim](#)
- [Reconcile](#)
- [Vary](#)

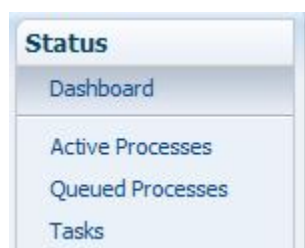
VSM Console

- [Command Line Interface](#)
- [Configuration/Policy](#)
- [Console Log](#)

Administration

- [Site Configuration](#)
- [Application Logs](#)
- [Database Update Log](#)
- [User Activity Log](#)

第4章 「Status」メニュー



このメニューからは、次の VSM GUI ペインにアクセスできます。

- [Dashboard](#)
- [Active Processes](#)
- [Queued Processes](#)
- [Tasks](#)

Dashboard

VSM GUI の「Dashboard」には、現在の VSM システムのステータスが示され、主要なパフォーマンスメトリックのアラートが表示されます。

「Dashboard」は最初に VSM GUI にログインすると表示され、VSM GUI セッション全体でアクティブなままになります。セッション中に「Dashboard」を再表示するには、単にペインの上部にある「**Dashboard**」タブをクリックします。

「Dashboard」の要素には次のものが含まれます。

- [Status](#)
- [VTV Counts](#)
- [Free MVCs](#)
- [MVCs in Error](#)

データベースのリフレッシュプロセスで問題が発生した場合、データベース更新のエラーメッセージが「Dashboard」の上部に表示されます。「Database Update Log」

を表示して、データベースのリフレッシュプロセスを手動で管理するには、エラーメッセージをクリックします。

Status





このデータ表には、各 TapePlex 内のすべての VTSS についてまとめて表示されたか、選択した TapePlex 内の各 VTSS を表示するために展開された現在のシステムステータスが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Dashboard**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

TapePlex 名の左側にある「**Expand**」ボタンをクリックすると、その TapePlex の VTSS が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

その詳細を表示するには、ステータスインジケータをクリックします。

- 「VTSS Status」または「DBU」インジケータをクリックすると、選択された TapePlex または VTSS でフィルタリングされた「**Display VTSS**」パネルが表示されます。
- 「RTDs」または「vRTDs」インジケータをクリックすると、選択された TapePlex または VTSS 上のそのドライブタイプでフィルタリングされた「**Display Drive**」パネルが表示されます。
- 「IPCLINKs」または「FICON CLINKs」インジケータをクリックすると、選択された TapePlex または VTSS でフィルタリングされた「**Display CLINK**」パネルが表示されます。

- 「Migrate Queue」または「Replication Queue」インジケータをクリックすると、選択された TapePlex または VTSS でフィルタリングされた「**Queued Processes**」パネルが表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex VTSS	TapePlex 名と、TapePlex 内の VTSS 名。
VTSS Status	VTSS のステータスを示します。 Good: VTSS が「Online」であることを示します。 Warning: VTSS が「Online-p」、「Quiescing」、「Quiesced」、または「Started」であることを示します。 Critical: VTSS が「Offline」または「Offline-p」であることを示します。 Unknown: 「Online」、「Online-p」、「Offline」、「Offline-p」、「Quiescing」、「Quiesced」、または「Started」以外の値を示します。
DBU	DBU レベルを示します。 Good: DBU が自動移行の高しきい値 (HAMT) より小さいことを示します。 Warning: DBU が自動移行の高しきい値 (HAMT) 以上であることを示します。 Critical: DBU がこの VTSS のアラートレベルより大きいことを示します。 Unknown: DBU、アラートレベル、または HAMT 値が欠落していることを示します。
RTDs	RTD のステータスを示します。 Good: この VTSS の警告数より少ない RTD がオフラインです。 Warning: この VTSS の警告数より多い RTD がオフラインです。 Critical: この VTSS のクリティカル数より多い RTD がオフラインです。 Unknown: 一部の RTD のステータスが不明か、クリティカル/警告アラートレベルが欠落しています。
vRTDs	vRTD のステータスを示します。 Good: この VTSS の警告数より少ない vRTD がオフラインです。 Warning: この VTSS の警告数より多い vRTD がオフラインです。 Critical: この VTSS のクリティカル数より多い vRTD がオフラインです。

列	説明
	Unknown: 一部の vRTD のステータスが不明か、クリティカル/警告アラートレベルが欠落しています。
IP CLINKs	<p>IP CLINK のステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない IP CLINK がオフラインです。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い IP CLINK がオフラインです。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い IP CLINK がオフラインです。</p> <p>Unknown: 一部の IP CLINK のステータスが不明か、クリティカル/警告アラートレベルが欠落しています。</p>
FICON CLINKs	<p>FICON CLINK のステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない FICON CLINK がオフラインです。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い FICON CLINK がオフラインです。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い FICON CLINK がオフラインです。</p>
Migrate Queue	<p>移行キューレベルのステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない移行プロセスがキュー内にあります。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い移行プロセスがキュー内にあります。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い移行プロセスがキュー内にあります。</p> <p>Unknown: クリティカル/警告アラートレベルが欠落しているか、「Queued Processes」のデータが欠落しています。</p>
Replication Queue	<p>レプリケーションキューレベルのステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ないレプリケーションプロセスがキュー内にあります。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多いレプリケーションプロセスがキュー内にあります。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多いレプリケーションプロセスがキュー内にあります。</p> <p>Unknown: クリティカル/警告アラートレベルが欠落しているか、「Queued Processes」のデータが欠落しています。</p>

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。






「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Expand	選択した TapePlex 内の個々の VTSS を表示します
Expand All Below	現在の選択の下にあるすべての TapePlex を展開します
Collapse All Below	現在の選択の下にあるすべての TapePlex を縮小します
Expand All	すべての TapePlex を展開します
Collapse All	すべての TapePlex を縮小します
Scroll to First	TapePlex のリストの上部までスクロールします
Scroll to Last	TapePlex のリストの下部までスクロールします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTV Counts










このグラフは、各 TapePlex の VTV スクラッチ数と常駐数を示しています。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Dashboard**」を選択します。

オブジェクトのサマリーデータを表示するには、マウスのポインタをそのオブジェクトの上に置きます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Free MVCs





「Free MVCs」レポートには、MVC プールまたはメディアタイプの空き MVC のステータスが示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Dashboard**」を選択します。

Free MVCs: MVC Pools

「MVC Pools」データ表には、各 TapePlex 上の MVC プールごとに空き MVC の現在のステータスが示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

その詳細を表示するには、ステータスインジケータをクリックします。

空き MVC の数がプールの「Minimum Free MVCs」値より少ない場合、MVC プールはクリティカル状態であると示されます。

空き MVC の数がプールの「Minimum Free MVCs」値と等しい場合、MVC プールは警告状態であると示されます。






空き MVC の数がプールの「Minimum Free MVCs」値より大きい場合、MVC プールは良好状態であると示されます。

「Minimum Free MVCs」値または空き MVC の数が不明な場合、MVC プールは不明状態であると示されます。

オブジェクトのサマリーデータを表示するには、マウスのポインタをそのオブジェクトの上に置きます。

データ表内の「MVC Pool」をクリックすると、その MVC プールでフィルタリングされた「**Display MVC Pool**」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。








アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Free MVCs: Media

「Media」グラフには、空き MVC がメディアタイプでソートされて表示されます。

グラフ内のオブジェクトをクリックすると、そのメディアタイプでフィルタリングされた「**Display MVC**」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

MVCs in Error

「MVCs in Error」レポートには、エラーがある MVC が MVC プールまたはメディアタイプでソートされて表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Dashboard**」を選択します。








MVCs in Error: MVC Pools

「MVC Pools」グラフには、エラーがある MVC が MVC プールでソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

「MVC Pools」オブジェクトをクリックすると、その MVC プールでフィルタリングされた「**Display MVC Pool**」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します








MVCs in Error: Media

「Media」グラフには、エラーがある MVC がメディアタイプでソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

メディアオブジェクトをクリックすると、そのメディアタイプでフィルタリングされた「**Display MVC**」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Active Processes

このデータ表には、表示された時点におけるすべての TapePlex のアクティブなプロセスが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Active Processes**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

「Process ID」を右クリックして、プロセスを取り消すためのオプションを含むコンテキストメニューを表示することによって、プロセスを取り消すことができます。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
Host	プロセスを実行しているホスト。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号である、機能のプロセス ID。プロセス ID が 65536 に達すると、ゼロに戻されます。
Function	<p>要求のタイプ:</p> <p>AllocSCR: スクラッチ VTV のジョブ割り当て要求。</p> <p>AllocVTV: 特定の VTV のジョブ割り当て要求。</p> <p>Audit#: 監査ユーティリティー要求。</p> <p>Cancel@: 取り消しコマンド。</p> <p>Consolid#: 統合またはエクスポートユーティリティータスク。</p> <p>Consolid: 統合 MVC への再移行のために VTV をリコールします。これは、Int _cons または Consolid# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Dismount: VTD から VTV をマウント解除します。</p> <p>Display@: 表示または問い合わせコマンド。</p>

列	説明
	<p>Drain: 排出またはリクレイム処理中に、再移行のために MVC から VTV をリコールします。これは VtvMover 要求の子です。</p> <p>Drain@: 排出コマンドまたはユーティリティ。</p> <p>DrainMVC: 排出される MVC ごとに 1 つの DrainMVC 要求があります。Drain@ 要求の子要求である DrainMVC は、単一の MVC の排出プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>DELETSCR: スクラッチユーティリティを削除します。</p> <p>Getmgpol: 現在の管理およびストレージクラス定義を取得します。</p> <p>Getconfig: 構成情報を取得します</p> <p>HSCChnge: 変更されるパラメータファイルの通知。</p> <p>Import#: ユーティリティによる VTV または MVC のインポート。</p> <p>Int_cons: PGMI が統合要求を開始しました</p> <p>MEDVERfy: メディア検証の親タスク</p> <p>Migrate: VTV の MVC への移行を実行するための一般的な要求。これは、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p> <p>Migrate@: 移行コマンドまたはユーティリティ。これには、しきい値への移行と自動移行が含まれます。</p> <p>Mount: VTD 上に VTV をマウントします。状況に応じて、これはあとで VTV の転送またはリコール要求として表示されることがあります。</p> <p>Move MVC: 調整またはアーカイブによって処理される MVC ごとに 1 つの Move MVC 要求があります。MoveVTV# 要求の子要求である Move MVC は、単一の MVC の VTV 移動プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p>
	<p>MoveVTV#: これは、MVC 間で VTV のコピーを移動するための ARCHIVE または RECONCILE ユーティリティコマンドからの要求です。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p> <p>MvcMaint: MVCMAINT ユーティリティ要求。</p> <p>MVC_chek: MVC のステータスをチェックします。</p>

列	説明
	<p>MVC_eot: 排出またはリクレイムの完了後に MVC のテープ位置の最後をリセットします。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。</p> <p>MVC_inv: MVC の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。MVCpool#: ユーティリティーの MVC プールの詳細およびステータスを取得します。PGMI_req: まだデコードされていない、PGMI インタフェースから受信した要求。Query@l: 問い合わせまたは表示コマンド。</p> <p>MVC_upd: MVC ステータスをリセットまたは更新します。</p> <p>Recall: MVC からの VTV のリコールを実行するための一般的な要求。これには、マウントシステムからの Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求が含まれることがあります。「Recall」は、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p> <p>Recall@: リコールコマンドまたはユーティリティー。</p> <p>Reclaim@: 自動リクレイム要求、あるいはリクレイムコマンドまたはユーティリティー。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p> <p>ReclmMVC: リクレイムされる MVC ごとに 1 つの ReclmMVC 要求があります。Reclaim@ 要求の子要求である ReclmMVC は、単一の MVC のリクレイム処理全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>Reconcil: クラスタ内にある 2 つの VTSS の内容のクロスチェックを実行します。</p> <p>Replicat: クラスタ内にある VTSS 間で VTV のレプリケーションを実行します。</p> <p>Scratch: HSC から VTV 要求をスクラッチします。</p> <p>Sel_scr: PGMI スクラッチ選択</p> <p>Set@: 設定コマンド。</p> <p>Transfer: 2 つの VTSS 間で VTV を転送することで、VTD 上に VTV をマウントします。</p> <p>Unload: RTD から MVC をアンロードします。</p> <p>Uscratch: HSC から VTV 要求をアンスクラッチします。</p> <p>Vary_dev: 個々の RTD または CLINK に対して変更処理を実行します。これは、VARY@ 要求に対する子要求として表示されます。</p>

列	説明
	Vary@: 変更コマンド。
	VtvMaint: VTMVAINT ユーティリティー要求。
	VTVMover: 排出またはリクレームされる MVC ごとに 1 つの VTVMover 要求があります。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。この要求は、ある MVC から別の MVC への VTV の移動を行います。
	VTSS_inv: VTSS の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。
	VTSS_list: VTSS 内にある VTV のリストを取得します。これは、Reconcil 要求または自動移行要求の子要求として表示されます。
	VTV_upd: VTSS 内の VTV ステータスを CDS と再同期します。
Parent ID	要求に関連付けられた親プロセスの ID。
VTSS	要求に関連付けられた VTSS 名または VTSS リスト名。
VTV Volser	プロセスで現在、使用されている VTV の volser。
MVC Volser	プロセスで現在、使用されている MVC の volser。
RTD Device Address	プロセスで現在、使用されている RTD のユニットアドレス。
VTD Device Address	プロセスで現在、使用されている VTD のデバイスアドレス。
Task Type	キューを処理しているタスク、または要求がキューに入れられたタスク。
Reason	プロセスがアクティブな理由。
ACS	プロセスが使用している ACS。
LSM	プロセスが使用している LSM。
Storage Manager	プロセスが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	プロセスが使用している内部デバイスタイプ。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove Filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

プロセスの取り消し

プロセスを取り消すには、そのプロセスのプロセス ID を右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。コンテキストメニューで「**Cancel**」をクリックします。

選択したプロセスに関する詳細が示されたダイアログが表示されます。

「**Submit**」をクリックして選択したプロセスを取り消すか、要求を送信しない場合は単に「**Cancel**」タブを閉じます。

Queued Processes

このデータ表には、表示された時点におけるすべての TapePlex のキューに入れられたプロセスが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Queued Processes**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

「**Process ID**」を右クリックして、プロセスを取り消すためのオプションを含むコンテキストメニューを表示することによって、プロセスを取り消すことができます。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
Host	プロセスを実行しているホスト。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号である、機能のプロセス ID。プロセス ID が 65536 に達すると、ゼロに戻されます。
Function	要求のタイプ: AllocSCR: スクラッチ VTV のジョブ割り当て要求。

列	説明
	AllocVTV: 特定の VTV のジョブ割り当て要求。
	Audit#: 監査ユーティリティー要求。
	Cancel@: 取り消しコマンド。
	Consolid#: 統合またはエクスポートユーティリティータスク。
	Consolid: 統合 MVC への再移行のために VTV をリコールします。これは、Int _cons または Consolid# 要求に対する子要求として表示されます。
	Dismount: VTD から VTV をマウント解除します。
	Display@: 表示または問い合わせコマンド。
	Drain: 排出またはリクレイム処理中に、再移行のために MVC から VTV をリコールします。これは VtvMover 要求の子です。
	Drain@: 排出コマンドまたはユーティリティー。
	DrainMVC: 排出される MVC ごとに 1 つの DrainMVC 要求があります。Drain@ 要求の子要求である DrainMVC は、単一の MVC の排出プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。
	DELETSCR: スクラッチユーティリティーを削除します。
	Getmgpol: 現在の管理およびストレージクラス定義を取得します。
	Getconfig: 構成情報を取得します
	HSCChnge: 変更されるパラメータファイルの通知。
	Import#: ユーティリティーによる VTV または MVC のインポート。
	Int_cons: PGMI が統合要求を開始しました
	MEDVERfy: メディア検証の親タスク
	Migrate: VTV の MVC への移行を実行するための一般的な要求。これは、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。
	Migrate@: 移行コマンドまたはユーティリティー。これには、しきい値への移行と自動移行が含まれます。
	Mount: VTD 上に VTV をマウントします。状況に応じて、これはあとで VTV の転送またはリコール要求として表示されることがあります。
	Move MVC: 調整またはアーカイブによって処理される MVC ごとに 1 つの Move MVC 要求があります。MoveVTV# 要求の子要求である Move MVC は、

列	説明
	単一の MVC の VTV 移動プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。
	MoveVTV#: これは、MVC 間で VTV のコピーを移動するための ARCHIVE または RECONCILE ユーティリティコマンドからの要求です。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。
	MvcMaint: MVCMAINT ユーティリティ要求。
	MVC_chek: MVC のステータスをチェックします。
	MVC_eot: 排出またはリクレイムの完了後に MVC のテープ位置の最後をリセットします。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。
	MVC_inv: MVC の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。MVCpool#: ユーティリティの MVC プールの詳細およびステータスを取得します。PGMI_req: まだデコードされていない、PGMI インタフェースから受信した要求。Query@l: 問い合わせまたは表示コマンド。
	MVC_upd: MVC ステータスをリセットまたは更新します。
	Recall: MVC からの VTV のリコールを実行するための一般的な要求。これには、マウントシステムからの Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求が含まれることがあります。「Recall」は、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。
	Recall@: リコールコマンドまたはユーティリティ。
	Reclaim@: 自動リクレイム要求、あるいはリクレイムコマンドまたはユーティリティ。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。
	ReclmMVC: リクレイムされる MVC ごとに 1 つの ReclmMVC 要求があります。Reclaim@ 要求の子要求である ReclmMVC は、単一の MVC のリクレイム処理全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。
	Reconcil: クラスタ内にある 2 つの VTSS の内容のクロスチェックを実行します。
	Replicat: クラスタ内にある VTSS 間で VTV のレプリケーションを実行します。
	Scratch: HSC から VTV 要求をスクラッチします。
	Sel_scr: PGMI スクラッチ選択

列	説明
	Set@: 設定コマンド。
	Transfer: 2つの VTSS 間で VTV を転送することで、VTD 上に VTV をマウントします。
	Unload: RTD から MVC をアンロードします。
	Unscratch: HSC から VTV 要求をアンスクラッチします。
	Vary_dev: 個々の RTD または CLINK に対して変更処理を実行します。これは、VARY@ 要求に対する子要求として表示されます。
	Vary@: 変更コマンド。
	VtvMaint: VTVMaint ユーティリティー要求。
	VTVMover: 排出またはリクレイムされる MVC ごとに 1つの VTVMover 要求があります。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。この要求は、ある MVC から別の MVC への VTV の移動を行います。
	VTSS_inv: VTSS の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。
	VTSS_list: VTSS 内にある VTV のリストを取得します。これは、Reconcil 要求または自動移行要求の子要求として表示されます。
	VTV_upd: VTSS 内の VTV ステータスを CDS と再同期します。
Parent ID	要求に関連付けられた親プロセスの ID。
VTSS	要求に関連付けられた VTSS 名または VTSS リスト名。
VTV Volser	プロセスで現在、使用されている VTV の volser。
MVC Volser	プロセスで現在、使用されている MVC の volser。
RTD Device Address	プロセスで現在、使用されている RTD のユニットアドレス。
VTD Device Address	プロセスで現在、使用されている VTD のデバイスアドレス。
Task Type	キューを処理しているタスク、または要求がキューに入れられたタスク。
Reason	プロセスがアクティブな理由。
ACS	プロセスが使用している ACS。
LSM	プロセスが使用している LSM。
Storage Manager	プロセスが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	プロセスが使用している内部デバイスタイプ。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。

列	説明
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。





「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。







「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします

アイコン	名前	説明
	Remove Filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

プロセスの取り消し

プロセスを取り消すには、そのプロセスのプロセス ID を右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。コンテキストメニューで「**Cancel**」をクリックします。

選択したプロセスに関する詳細が示されたダイアログが表示されます。

「**Submit**」をクリックして選択したプロセスを取り消すか、要求を送信しない場合は単に「**Cancel**」タブを閉じます。

Tasks

このデータ表には、表示された時点におけるすべての TapePlex のすべてのタスクが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Tasks**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	タスクが実行されている TapePlex。
Host	ホスト。
Task Number	現在のホスト上の各タスクのタスク番号。
Task Type	INV: インベントリマネージャー CMD: コマンドタスク DSP: ディスパッチャータスク SS: VTSS タスク RTD: RTD タスク DRV: RTD スケジューラ SCR: スクラッチマネージャー RCM: リクレイムマネージャー MSC: 移行スケジューラ CSH: Clink スケジューラ CLK: CLINK タスク UNK: 不明
Slot ID	ロックバッファ内内のロックのスロット ID。
VTSS	タスクが実行されている VTSS。
VTV Volser	タスクで使用される VTV の volser。
MVC Volser	タスクで使用される MVC の volser。
Path Name	タスクが使用している RTD、VTD、またはパス。
Device Address	タスクが使用している RTD または VTD デバイスアドレス。
VTD Device Address	タスクを使用している VTD のデバイスアドレス。
Task Lock	タスクのロックステータスを示します。タスクロックは通常、別のホストとの競合を示しています。
VTV Lock	タスクの VTV がロックされていることを示します。
MVC Lock	タスクの MVC がロックされていることを示します。
RTD Lock	タスクの RTD がロックされていることを示します。
VTD Lock	タスクの VTD がロックされていることを示します。
Waiting Count	ロックを待機している要求の件数。

列	説明
Pending Count	保留中要求の件数。
Function	タスクの機能。
Process ID	タスクのプロセス ID。
Parent ID	親プロセスのプロセス ID。
ACS	タスクが使用している ACS。
LSM	タスクが使用している LSM。
Storage Manager	タスクが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	ローカル待機時間 (分)。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

第5章 「Display」メニュー



このメニューからは、次の VSM GUI ペインにアクセスできます。

- [Display CLINK](#)
- [Display Cluster](#)
- [Display Configuration](#)
- [Display Drive](#)
- [Display MVC](#)
- [Display MVC Pool](#)
- [Display VLE](#)
- [Display VTD](#)
- [Display VTSS](#)
- [Display VTV](#)

Display CLINK

このペインには、クラスタリンク (CLINK) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**CLINK**」を選択します。

Cluster Links (CLINKS)

このデータ表には、CLINK 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex の名前。
VTSS	プライマリまたは送信側 VTSS 名。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Partner Tapeplex	クラスタ内のパートナー TapePlex。
Partner VTSS	クラスタ内のセカンダリまたは受信側 VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
CLINK ID	VTSS 内の CLINK に割り当てられている CLINK ID。 コンテキストメニュー: 「Vary CLINK」。
Channel ID	CLINK の接続先のバックエンドチャンネルインタフェース。
IPIFID	CLINK の IPIF ID。
Cluster	CLINK が TapePlex 内の VTV のレプリケーションに使用され、かつクラスタの一部である場合は、そのクラスタ名。「Partner VTSS」列内の VTSS 名は、そのクラスタ内で動作するほかの VTSS を示します。
Status	次のいずれかです。

列	説明
	<p>MAINT: リンクに傷害が発生したか、またはリンクが保守モードに移行しました。</p> <p>OFFLINE: リンクはオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。</p> <p>ONLINE: リンクはオンラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できます。</p> <p>ON-SYNC: 同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>ON-ASYNC: 非同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>P_OFFLINE: リンクはオフライン中です。</p> <p>P_ONLINE: リンクはオンライン中です。</p> <p>RECOVERY: リンクは、エラーまたはオンライン移行操作のあとのリセット中です。</p> <p>UNUSABLE: ハードウェアエラーまたは割り当て先不明状態のために、レプリケーションに使用できません。</p> <p>UIERR: これは電子エクスポート用に定義された CLINK であり、リモート VTCS に接続できなくなりました。この問題の原因を示すメッセージが HSC JOBLOG 内に存在します。これには、定義 (ローカル SMC またはリモート VTCS 上のリモート HTTP サーバー) に関する問題が含まれる可能性があります。</p>
Usage	<p>次のいずれかです。</p> <p>ASSIGNED: リンクは「HOST」フィールド内のホストに割り当てられていますが、現在レプリケートしていません。この使用状況は、VTCS がリンクの使用を開始または終了しているか、あるいはレプリケーションの失敗のあとにリンク上のエラーを回復しようとしている場合に発生します。</p> <p>FREE: リンクはアイドル状態です (レプリケーションを実行していません)。</p> <p>REPLICATING: リンクはアクティブにレプリケーションを実行しています。</p>
Host	リンクの割り当て先のホスト。
Partner VTD	接続のもう一方の端点を形成するパートナー VTSS 上の VTD のアドレス。クラスタリンクの場合は、VTD のホストアドレスが報告されます。電子エクスポートリンクの場合は、もう一方の TapePlex 構成にアクセスできないため、これは不可能です。この場合は、VTV の順序番号のみが報告されます。
Replication Capability	CLINK が同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。







「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。



「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します





CLINK Status

このグラフには、VTSS ごとの現在の CLINK 数が現在のステータスでソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します








CLINK Usage

このグラフには、VTSS ごとの現在の CLINK 使用状況が現在の使用状況状態でソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display Cluster

このペインには、クラスタ情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**Cluster**」を選択します。

Clusters

このデータ表には、クラスタ情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

行を選択すると、「**CLINKs for Cluster**」データ表内にそのクラスタのデータが表示されます。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Cluster	クラスタ名。
Tapeplex	TapePlex 名。
VTSS	クラスタ内のいずれかの VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Direction	VTSS 間のリンクの方向であり、「TO」、「FROM」、「PEER」のいずれかです。 「TO」または「FROM」は、単方向クラスタ内の VTV レプリケーションの方向を示します。VTV は、送信側 VTSS から受信側 VTSS へのみレプリケートできます。 「PEER」は、VTSS が双方向 (ピアツーピア) クラスタとして構成されていることを示します。VTV は、どちらの VTSS からでももう一方の VTSS にレプリケートできます。
Partner VTSS	クラスタ内のパートナー VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Mode	次のクラスタ動作モードのいずれかです。 ASYNC-REPLICATE: クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向 (プライマリ/セカンダリ) クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっていません。 SYNC-REPLICATE: クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向 (プ

列	説明
	<p>ライマリ/セカンダリ) クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっています。</p> <p>DEGRADED: 双方向ピアツーピアクラスタ内の 2 つの VTSS のいずれかがオフラインまたは静止状態です。本番ワークロードは、残りのオンライン VTSS に移動できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV が残りの VTSS に割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できず、かつ適切でない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、もう一方の VTSS がオンラインになったときのレプリケーション用にキューに入れられます。もう一方の VTSS がオンラインになると、VTCS が両方の VTSS の内容を調整します。</p> <p>DEGRADED SECONDARY: プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、セカンダリがオンラインになったときに実行されるレプリケーション用にキューに入れられます。</p> <p>DEGRADED PRIMARY: セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。プライマリがオンラインに戻ると、VTCS がプライマリとセカンダリの内容を調整します。</p> <p>NON-OPERATIONAL: このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p>CLINKS OFFLINE: 定義されているすべての CLINK がオフラインです。このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p>ONLY SECONDARY: セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。</p> <p>ONLY PRIMARY: プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、レプリケーション用にキューに入れられます。</p>

列	説明
	FULL-FUNCTION: 両方の VTSS が動作可能であることを示します。どちらかの VTSS の状態に異常が発生した場合、その VTSS は縮退または動作不可能として報告されます。 ファイルが、あるボリュームの最後から別のボリュームにまたがったときの MVC チェーンを追跡します。
Replication Capability	クラスタが同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。



「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。









「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

CLINKs for Cluster

このデータ表には、「Clusters」データ表で選択されたクラスタの CLINK が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
CLINK ID	VTSS 内の CLINK に割り当てられている CLINK ID。
Channel ID	CLINK の接続先のバックエンドチャンネルインタフェース。
IPIF ID	CLINK の IPIF ID。
Status	次のいずれかです。 Maint: リンクに傷害が発生したか、またはリンクが保守モードに移行しました。

列	説明
	<p>OFFLINE: リンクはオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。</p> <p>ONLINE: リンクはオンラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できます。</p> <p>ON-SYNC: 同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>ON-ASYNC: 非同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>P_OFFLINE: リンクはオフライン中です。</p> <p>P_ONLINE: リンクはオンライン中です。</p> <p>RECOVERY: リンクは、エラーまたはオンライン移行操作のあとのリセット中です。</p> <p>UNUSABLE: ハードウェアエラーまたは割り当て先不明状態のために、レプリケーションに使用できません。</p> <p>UII ERR: これは電子エクスポート用に定義された CLINK であり、リモート VTCS に接続できなくなりました。この問題の原因を示すメッセージが HSC JOBLOG 内に存在します。これには、定義 (ローカル SMC またはリモート VTCS 上のリモート HTTP サーバー) に関する問題が含まれる可能性があります。</p>
Usage	<p>次のいずれかです。</p> <p>Assigned: リンクは「HOST」フィールド内のホストに割り当てられていますが、現在レプリケートしていません。この使用状況は、VTCS がリンクの使用を開始または終了しているか、あるいはレプリケーションの失敗のあとにリンク上のエラーを回復しようとしている場合に発生します。</p> <p>Free: リンクはアイドル状態です (レプリケーションを実行していません)。</p> <p>Replicating: リンクはアクティブにレプリケーションを実行しています。</p>
Host	リンクの割り当て先のホスト。
Partner VTD	接続のもう一方の端点を形成するパートナー VTSS 上の VTD のアドレス。クラスタリンクの場合は、VTD のホストアドレスが報告されます。電子エクスポートリンクの場合は、もう一方の TapePlex 構成にアクセスできないため、これは不可能です。この場合は、VTV の順序番号のみが報告されます。
Replication Capability	CLINK が同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。









「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。



「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display Configuration

このペインには、構成情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**Configuration**」を選択します。

異なる TapePlex の間を移動するには、「**First**」、「**Previous**」、「**Next**」、「**Last**」ボタンを使用します。

フォームデータを印刷のために別のウィンドウに表示するには、「**Print**」アイコンをクリックします。

VSM GUI データベースからデータをリフレッシュするには「**Refresh**」アイコンを、またはホスト上で適切な ELS コマンドを実行することによって実際の構成データをリフレッシュするには「**Run ELS**」アイコンをクリックします。






テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
VTSS Subsystems	TapePlex 内の VTSS の数を示します。
Global Max VTV	1 つの MVC に移行できる VTV の最大数を示します。
Global MVC Free	VTCS が自動スペースリクレ임을を開始する原因となる、MVC プール内の空き MVC の最小数を示します。
Global VTV Attribute	VTCS がいつ VTV に管理クラスを割り当てるかを示します。VTCS が VTV をマウントするたびにクラスを割り当てる「ALLmount」か、または VTCS が VTV のスクラッチマウントを実行した場合にのみクラスを割り当てる「Scratch」のどちらかです。
Global Recall with Error	リコールおよび排出操作中に VTCS が読み取りデータチェックで VTV をリコールするかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Replication	VSM がいつ VTV をレプリケートするかを示します。VTV がマウント解除されるたびにレプリケートする「Always」か、または VTV がマウントされている間に変更された場合のみレプリケートする「Changed」のどちらかです。
Global VTV Page Size	VTSS 内および MVC 上に格納される VTV データのページサイズを示します。「Standard」または「Large」のどちらかです。

列	説明
Global Sync Replicate	VTV 同期レプリケーション機能が有効になっているかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Max RTDs	サポートされている RTD の最大数を示します。
Global Fast Migrate	積み重ね/ストリーミングの移行機能が有効になっているかどうかを示します。移行のための積み重ねの方法を有効にする「Stacked」(または「Yes」)、ストリーミングの方法を有効にする「Stream」、この機能を無効にする「No」のいずれかです。
Global Init MVC	初期化されていない MVC を、それが最初にマウントされたときに初期化するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Maximum VTV Size (MB)	VTV の作成中に使用されるデフォルトの最大 VTV サイズを示します。
Global Fast Reclaim	VTCS が Early Time to First Byte (ETTFB) 並行テーパーコール/マウントを実行するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Lockout	メッセージ SLS6946E が発行される前にリソースがロックされる最小分数を示します。
Global Non-Library Drain	VTCS が排出/リクレイム処理で非ライブラリ常駐 MVC を受け入れるかどうかを示します。非ライブラリ MVC をマウントする「Yes」か、またはマウントを抑制してこの要求を削除する「No」のどちらかです。
Global Non-Library Migrate	移行処理で非ライブラリ常駐 MVC を選択するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Non-Library Reclaim	リクレイム処理で非ライブラリ常駐 MVC を選択するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global MVC Mount Timeout (mins)	MVC マウントのタイムアウトが発生する分単位の値を示します。
Global Log Policy	VTCS CDS ログイングが「Optional」(オプション)または「Required」(必須)のどちらであるかを示します。
Global Lock Structure	VTCS ロックデータを保持するカップリングファシリティ構造を示します。
CDS Compatible Level 7.0	CDS が ELS リリース 7.0 と互換性があることを示します。
CDS Compatible Level 7.1	CDS が ELS リリース 7.1 と互換性があることを示します。
CDS Compatible Level 7.2	CDS が ELS リリース 7.2 と互換性があることを示します。
CDS Compatible Level 7.3	CDS が ELS リリース 7.3 と互換性があることを示します。
Reclaim Max MVC	1 つのスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数を示します。
Reclaim Start	各 ACS に対して自動スペースリクレイムを開始するパーセンテージのレベルを示します。
Reclaim Max Concurrent MVCs	VTCS が排出とリクレイムの両方で同時に処理する MVC の最大数を示します。

列	説明
Reclaim Threshold (%)	MVC を要求または自動リクレイムの対象にする、断片化された領域のパーセンテージを示します。
Reclaim Threshold (%) - VL	仮想 MVC (VMVC) を要求または自動リクレイムの対象にする、断片化された領域のパーセンテージを示します
Global Reclaim Inplace	VTCS 内で動的リクレイムのサポートが有効になっているかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Reclaim Inplace Threshold (%)	パーティション分割されたフォーマットの MVC をスペースリクレイム処理の対象にする、断片化された領域のパーセンテージを示します。
Reclaim Protect	MVC が排出またはリクレイムされたあとに再利用されないようにする (または保護する) ための時間 (時間単位) を示します。
CDS Free Blocks	必要な最小の領域と CDS のサイズの差。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display Drive

このペインには、実テープドライブおよび仮想実テープドライブ情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**Drive**」を選択します。

Drives (RTDs and vRTDs)

このデータ表には、RTD および vRTD ドライブ情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

行をクリックすると、「**Paths to Drive**」データ表内にそのドライブへのパスが表示されます。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex の名前。
Device Address	RTD アドレス。 コンテキストメニュー: 「Vary Drive」。
VLE	vRTD がオンである VLE。
Owner VTSS	現在この RTD に接続されている VTSS。
Device Type	この RTD のデバイスタイプ (RTD タイプ)。
Partitioning Support	パーティション分割のサポートの設定。「Yes」、「No」、「Unknown」のいずれかです。
ACS	この RTD の接続先の ACS。
LSM	この RTD の接続先の LSM。
Status	次の RTD ステータスのいずれかです。 RECOVER RTD: RTD は、問題、移行、または初期化のあとのリセット中です。 MIGRATE VTV: RTD は VTV を移行しています。 RECALL VTV: RTD は VTV をリコールしています。 UNLOAD MVC: RTD の強制的なアンロードが実行されています。 VTV TRANSFER: RTD は、別の VTSS で VTV をリコールする前にその VTV を移行しています。 AUDIT MVC: MVC が監査されています。 BUSY: RTD はビジー状態です (不特定のタスク)。

列	説明
	<p>IDLE: RTD に MVC が割り当てられていますが、その MVC は使用されていません。</p> <p>ONLINE/FREE: RTD はオンラインであり、使用できます。</p> <p>MAINTENANCE: RTD は保守モードにあります。</p> <p>OFFLINE: RTD はオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。</p> <p>RECOVERY: RTD は、エラーまたはオンライン移行のあとのリセット中です。</p> <p>INITIALIZE: ホストは RTD のステータスと可用性を確認しています。</p> <p>SUSPEND: RTD 操作が中断されています。これは、同じポート上に 1 つ以上の RTD と CLINK が構成されている場合に発生します。CLINK がオンラインの間、RTD は SUSPEND モードのままになります。</p> <p>PATH OFFLINE: VTSS が RTD に接続できないため、またはパスが正しく構成されなかった場合、RTD ステータスは不明です。</p> <p>PATH SUSPEND: RTD はグローバルにオンラインですが、RTD が Clink とペアになっているため、VTSS からのパスは中断されています。</p> <p>FAIL/OFFLINE: RTD は障害のためにオフラインになりました。</p> <p>TOP ID: このホストからこの RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求のプロセス ID。</p> <p>TOP HOST: この RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求が存在するホスト。</p>
MVC Allocated	この RTD へのマウントのために割り当てられている MVC の volser。
MVC Mounted	現在 RTD にマウントされている MVC。
Host	現在 RTD を所有しているホスト。
MVC Volser	現在 RTD にマウントされているか、またはマウントのために RTD に割り当てられている MVC の volser。
Requests Queued	現在キューに入れられている要求の数。
Allocation Time Remaining (mins)	残りの割り当て時間 (分単位)。
Local Wait Time (mins)	ローカルの待機時間 (分単位)。
Global Wait Time (mins)	グローバルの待機時間 (分単位)。
Internal Device Type	デバイスタイプの内部のコーディング。

列	説明
Serial Number	RTD のシリアル番号。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。






「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Paths to Drive

このデータ表には、選択されたドライブに関するパス情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
VTSS	VTSS 名。
Path Name	ドライブのパス名。
Status	ドライブの現在のステータス。 RECOVER RTD: RTD は、問題、移行、または初期化のあとのリセット中です。 MIGRATE VTV: RTD は VTV を移行しています。 RECALL VTV: RTD は VTV をリコールしています。 UNLOAD MVC: RTD の強制的なアンロードが実行されています。 VTV TRANSFER: RTD は、別の VTSS で VTV をリコールする前にその VTV を移行しています。 AUDIT MVC: MVC が監査されています。

列	説明
	BUSY: RTD はビジー状態です (不特定のタスク)。
	IDLE: RTD に MVC が割り当てられていますが、その MVC は使用されていません。
	ONLINE/FREE: RTD はオンラインであり、使用できます。
	MAINTENANCE: RTD は保守モードにあります。
	OFFLINE: RTD はオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。
	RECOVERY: RTD は、エラーまたはオンライン移行のあとのリセット中です。
	INITIALIZE: ホストは RTD のステータスと可用性を確認しています。
	SUSPEND: RTD 操作が中断されています。これは、同じポート上に 1 つ以上の RTD と CLINK が構成されている場合に発生します。CLINK がオンラインの間、RTD は SUSPEND モードのままになります。
	PATH OFFLINE: VTSS が RTD に接続できないため、またはパスが正しく構成されなかった場合、RTD ステータスは不明です。
	PATH SUSPEND: RTD はグローバルにオンラインですが、RTD が Clink とペアになっているため、VTSS からのパスは中断されています。
	FAIL/OFFLINE: RTD は障害のためにオフラインになりました。
	TOP ID: このホストからこの RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求のプロセス ID。
	TOP HOST: この RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求が存在するホスト。
Channel ID	ドライブパスのチャンネル ID。
IPIF ID	パスに対して指定された IPIF 値。
Logical Device ID	パスに割り当てられている論理デバイス ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Drive Status

このグラフには、デバイスタイプごとの現在のドライブ数がドライブのステータスでソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ内の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Drive Allocation


このグラフには、デバイスタイプごとの現在のドライブ数が割り当て状態でソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します


Drive Requests Queued







このグラフには、各デバイスアドレスでキューに入れられている現在の要求の数が表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します

アイコン	名前	説明
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display MVC

このペインには、マルチボリュームカートリッジ情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**MVC**」を選択します。





Multi-Volume Cartridges (MVCs)

このデータ表には、MVC 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「**VTVs on MVC**」データ表内にその MVC の VTV が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	MVC が属する TapePlex。
MVC Volser	MVC の volser。 コンテキストメニュー: 「Audit MVC Volser」、 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
Media	ボリュームのメディアタイプまたは記録技法。 「Need PTF」が表示されている場合、このホストはこのメディアタイプをサポートしていませんが、別のホストがこのメディアタイプをサポートしています。
Media Size (MB)	MVC のサイズ (M バイト単位)。
Storage Class	MVC を所有しているストレージクラス。MVC がストレージクラスのメンバーになるのは、移行された VTV を含んでいる場合だけです。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
MVC Pool	MVC が含まれている MVC プールの名前。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Number of VTVs Migrated	この MVC に移行された現在の VTV の数。
VTV Count	MVC 上のアクティブな VTV の数。
Used Percentage	現在の VTV によって使用されている MVC のパーセンテージ。
Fragmented Percentage	最新でない VTV を含む MVC のパーセンテージ。この領域は、それがリクレイムされるか、または MVC が排出されるまで使用できません。
Available Percentage	物理的に使用できる MVC のパーセンテージ。
Usable Percentage	VTCS で使用できる MVC 上の領域のパーセンテージ。これは、物理的に使用可能な領域がまだ存在する場合でも 0 である可能性があります。たとえば、MVC あたりの VTV の上限に達した場合、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。同様に、MVC に対してエラーが報告された場合、VTCS

列	説明
	はこの MVC を出力に使用しないため、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。
Times Mounted	この MVC が MVC インベントリに追加されたあと、書き込みまたは読み取りのためにマウントされた回数。
Last Mounted	この MVC が RTD にマウントされたか、またはマウントが試行された日付と時間。
Last Migration	この MVC に対して VTV 移行が最後に実行された日付と時間。
Last Drain/Reclaim	この MVC が排出またはリクレーム処理によって最後に処理され、そのテープの終わりのポイントがリセットされた日付と時間。
VTSS Last Mounted	この MVC への移行を実行した最後の VTSS の名前。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Initialized	この MVC の初期化ステータスを示します。「standard」、「partitioned」、「not initialized」のいずれかです。
Audit	この MVC が現在監査されているか、または失敗した監査の対象になっていたかどうかを示します。この状態にある間、MVC は移行に使用されませんが、リコールには使用できます。固有の状態であり、CDS がまだ MVC の内容に追いついていないため、リコールは失敗する可能性があります。この状態をクリアするには、この MVC に対して監査を再実行します。
Broken	MVC、ドライブ、またはこの 2 つの組み合わせに問題があるかどうかを示します。VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。この問題の原因が MVC である場合は、DRAIN(EJECT) コマンドを使用してサービスから MVC を削除します。この問題の原因が RTD である場合は、MVCMAINT ユーティリティーを使用して MVC の状態をリセットします。
Consolidation	この MVC が統合 MVC であるかどうかを示します。
Data Check	この MVC に対してデータチェック状態が報告されました。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。この状態になる場合は、2 つの異なる RTD でデータ転送が失敗しています。 この状態をクリアするには、次のようにします。 MVC 上のすべての VTV が二重化されている場合は、「Eject」オプションなしで MVC 上で「MVC Drain」を実行します。これにより、すべての VTV が回復され、サービスから MVC が削除されます。 MVC 上の一部の VTV が二重化されていない場合は、MVC 上で「VTCS AUDIT」を実行します。この監査は失敗する可能性があります。監査のあと、MVC DRAIN (イジェクトなし) を実行します。これにより、データチェック領域の前にある VTV はブロック ID の昇順に、データチェック領域のあとにある VTV はブロック ID の降順にリコールされます。この順序で VTV を処理すると、VTCS がメディアからできるだけ多くの VTV を回復できるように

列	説明
	<p>なります。そのあと、まだ MVC 上に存在するすべての VTV についてデータを再作成する必要があります。</p> <p>これはデータ転送を実行しているときに特定の障害が発生したことを示しますが、メディアの障害ではないことがあります。RTD が仕様外のメディアにデータを書き込んでいる可能性もあります。そのため、障害のパターンが重要です。例として、多数のドライブやボリュームで突然、大量の DATA CHECK 状態が発生する場合があります。</p>
Deduplication	この MVC が複製解除されているかどうかを示します。
Drain	この MVC が現在、排出またはリクレーム処理の対象であるかどうかを示します。処理が失敗した場合、MVC は保護手段としてこの状態のままになることがあります。この状態をクリアするには、MVC に対して MVCDRAIN を実行します。
Eject	この MVC が取り出されたかどうかを示します。
Export	この MVC がエクスポート MVC であるかどうかを示します。
Full	この MVC 上に空き領域がないかどうかを示します。
Invalid MIR	<p>VTCS が 9x40 メディアの MIR (メディア情報レコード) が無効であることを示すステータスを RTD から受信したかどうかを示します。MIR が無効でもデータへのアクセスは妨げられませんが、テープ上のレコードへのアクセス中に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。この MVC は、有効な MIR エントリが含まれていないテープの領域に対して高速検索を実行できません。</p> <p>VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。リコールでは、VTV が複数の MVC 上に存在する場合、VTCS は無効な MIR を含む MVC の前に有効な MIR を含む MVC を選択します。移行がテープの先頭から開始される場合を除き、VTCS は無効な MIR を含む MVC を移行に使用しないようにします。テープの先頭から移行した場合は、MIR が修正されます。VTCS は、無効な MIR の状態をマウント時またはマウント解除時のどちらかに検出します。マウント時に検出され、別の MVC で操作を完了できる場合、VTCS は最初の MVC をマウント解除して代替 MVC を選択します。</p> <p>代替 MVC に切り替える VTCS の機能はごく限られています。つまり、これは主に移行と仮想マウントに使用されます。無効な MIR を含む MVC については、エラーの原因 (メディアまたはドライブの問題である可能性があります) を特定し、そのエラーを修正します。無効な MIR を含む MVC を回復するには、VTCS 監査を使用して、テープの最後まで MVC を読み取ります。メディアが問題である場合は、MVCDRAIN EJECT を実行して VTV をリコールし、MVC プールから MVC が削除されるようにします。</p>
Lost	VTCS が MVC のマウントを試行し、15 分のタイムアウト期間内にそのマウントが完了しなかったかどうかを示します。ハードウェアの問題、HSC の問題、または MVC の ACS からの削除の組み合わせが発生した可能性はありま

列	説明
	<p>ですが、VTCS には特定のエラー報告がありませんでした。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。エラーの原因を特定し、それを修正します。</p> <p>次のイベントの場合は、VTCS MVCMAINT ユーティリティーを使用して LOST(OFF) を設定することもできます。</p> <p>すでに解決されている LSM の障害またはドライブエラーのために LOST(ON) が設定された場合。</p> <p>MVC が ACS の外部にあったために LOST(ON) が設定され、その MVC が再入力されている場合。</p> <p>そのあとに MVC のマウントが要求され、これが成功した場合、この状態は VTCS によって自動的にクリアされます。</p>
Maximum VTV	この MVC が VTV の最大数に達したかどうかを示します。
Mounted	この MVC が RTD にマウントされているかどうかを示します。
Protected	この MVC が保護されているかどうかを示します。
Read-only	<p>この MVC が読み取り専用とマークされているかどうかを示します。</p> <p>これが、MVC がエクスポートまたは統合プロセスのターゲットになっているためである場合、読み取り専用状態によって MVC はそれ以上更新されなくなります。</p> <p>MVC メディアがファイル保護に設定されている場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティーを使用して READONLY(OFF) を設定します。MVC に VTCS による MVC の更新を可能にする適切な SAF ルールが設定されていない場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティーを使用して READONLY(OFF) を設定します。</p>
Retired	この MVC が耐用期限切れになり、VTCS によってその有効寿命の終わりに達したと見なされているかどうかを示します。VTCS はこの MVC からリコールしますが、この MVC には移行しません。この MVC をできるだけ早く置き換えてください。これを実行したら、MVCMAINT ユーティリティーを使用して RETIRED(OFF) を設定します。
Usable	この MVC を移行に使用できるかどうかを示します。
Warranty Expired	この MVC の保証が期限切れになっているかどうかを示します。VTCS は引き続きこの MVC を使用しますが、その MVC が「Retired」状態に達したときに置き換えるための計画を作成し始めるようにしてください。
Last Verified	この MVC に対して VTV メディアの確認が最後に実行された日付と時間。この日付には、MVC の内容が有効であることを VTCS が認識した最後の時間が反映されます。
ACS	この MVC が存在する ACD ID。

列	説明
VLE	この MVC が存在する VLE。
Consolidated Date	統合 MVC の場合は、統合の日付と時間。
EOT Block ID	テープの終わりのブロック ID。
EOT Partition ID	テープの終わりのパーティション ID。
Block ID First Space	この MVC 上の最初の領域のブロック ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。




「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。








「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します

アイコン	名前	説明
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します





VTVs on MVC

このデータ表には、「**Multi-Volume Cartridges (MVCs)**」データ表で選択された MVC 内のすべての VTV のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「**MVCs Containing VTV**」データ表内にその VTV の MVC が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルなしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この VTV が属する TapePlex の名前。
VTV Volser	この VTV のボリュームシリアル番号。 コンテキストメニュー: 「Reconcile VTV」。
Management Class	この VTV の管理クラスの名前。
VTSS	この VTV が存在する VTSS。この VTV が移行されている場合は、その VTV が最後に存在した VTSS。このフィールドが空である場合は、この VTV が存在しない (作成も使用もされていない、スクラッチされた、削除された) か、または手動でインポートされました。
Uncompressed Size (MB)	この VTV の非圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、アプリケーションプログラムによって認識された VTV のサイズです。
Compressed Size (MB)	この VTV の圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、MVC 上または VTSS 内で占有される生の容量です。
Compression Percentage	達成された VTV の圧縮率。これは、VTV の非圧縮サイズのパーセンテージとして表された、VTV の非圧縮サイズと VTV の圧縮サイズの違いです。0% の圧縮は、VTV 上で圧縮が不可能であったことを示します。
Maximum VTV Size (MB)	VTV の最大 (圧縮) サイズ (M バイト単位) (400、800、2000、または 4000)。
VTV Page Size	この VTV のページサイズ (「large」 または 「standard」) 。
Last Mounted	この VTV の内容がアプリケーションによるアクセスのために最後にマウントされた日付と時間。
Last Recall	この VTV が MVC から元の VTSS に最後にリコールされた日付と時間。
Last Used	この VTV が VTCS によって最後に操作された日付と時間。これには、VTV のマウント、移行、リコール、スクラッチなど、VTV のステータスを更新するほとんどの機能が含まれます。
Created	この VTV の内容がアプリケーションによって最後に変更された日付と時間。
Times Read	この VTV が読み取られた回数。
Copies to Migrate	この VTV の移行コピーの数。
Replication	この VTV のレプリケーションステータスを示します。 NOT REPLICATED: この VTV はまだレプリケートされていません。

列	説明
	<p>REPLICATION REQUIRED: この VTV はレプリケートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。</p> <p>REPLICATION STARTED: レプリケーションはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。</p> <p>REPLICATED: この VTV は「Replica VTSS」列で識別される VTSS にレプリケートされました。</p>
Replica VTSS	レプリカ VTV が存在する VTSS。
Owning Tapeplex	レプリカ VTV が存在する TapePlex の名前。
Electronic Export	<p>電子エクスポートのステータスを示します。</p> <p>EXPORT-NOT POSSIBLE: この VTV のリモート TapePlex へのエクスポートが試行されましたが、その要求は拒否されました。これは通常、リモート TapePlex 内に存在するこの VTV の別のコピーのためです。</p> <p>EXPORT-REJECTED: 電子エクスポートがアクティブに拒否されました。これは、ターゲットの TapePlex が VTV のインポートを許可していないためか、またはコピーステータスとの衝突のためである可能性があります。</p> <p>EXPORT-REQUIRED: この VTV は電子的にエクスポートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。</p> <p>EXPORT-STARTED: 電子エクスポートはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。</p>
Initialized	この VTV が初期化されたかどうかを示します。VTCS が VTV を少なくとも 1 回使用している場合、その VTV は初期化されています。CONFIG ユーティリティで定義されているが、まだ VTCS によって使用されていない VTV は初期化されていません。
Avoid Early Mount	この VTV に対する並行リコールまたはマウントでエラーが検出されたかどうかを示します。検出された場合、この VTV に対するそれ以上の並行リコールまたはマウントアクティビティは試行されません。
Consolidated	VSM がこの VTV を統合したかどうかを示します。
Fenced	VSM がこの VTV をフェンシングしたかどうかを示します。
Imported	VSM がこの VTV を別の TapePlex からインポートしたかどうかを示します。インポートされた VTV は変更したり、スクラッチマウントに使用したりできません。
Migrated	VSM がこの VTV を移行したかどうかを示します。
Migration Pending	VTV 移行が保留中かどうかを示します。このステータスは、VTV が最初に作成されたときか、または VTV に再統合またはアーカイブが必要になったときに表示されます。この後者の場合は、個々の MVC コピーが「Reconcile」または「Deletion」を示すことがあります。

列	説明
Mounted	VTV が現在マウントされているかどうかを示します。
New Create	この VTV が新しく作成されたかどうかを示します。
Resident	この VTV が VTSS 上に存在するかどうかを示します。
Scratch	この VTV がスクラッチボリュームであるかどうかを示します。
Refresh	最後のリフレッシュの日付と時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。




「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。








「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します

アイコン	名前	説明
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

MVC States

このグラフには、TapePlex ごとの MVC の数が、「Warning」、「Critical」、または「Good」として要約された現在の状態とともに表示されます。

「Warning」には、「Audit」、「Drain」、「Max VTV」、または「Warranty Expired」状態のうちの 1 つ以上を持つ MVC が含まれています。

「Critical」には、「Not usable」、「Broken」、「Data_Check」、「Invalid MIR」、「Lost」、または「Retired」状態のうちの 1 つ以上を持つ MVC が含まれています。


「Good」には、上のどの状態でもない MVC が含まれています。









マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します

アイコン	名前	説明
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

MVC Space Usage





このグラフには、MVC 領域使用回数が使用タイプとパーセンテージの範囲でソートされて表示されます。





マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display MVC Pool

このペインには、マルチボリュームカートリッジプール情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**MVC Pool**」を選択します。

Multi-Volume Cartridge (MVC) Pools

このデータ表には、MVC プール情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「**MVCs in MVC Pool**」データ表内にその MVC プールの MVC が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この MVC プールが属する TapePlex。

列	説明
MVC Pool	この MVC プールの名前。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Initialize MVC	初期化されていない MVC を、それが最初にマウントされたときに初期化するかどうかを示します。
Minimum Free MVCs	空き MVC の最小数。
Reclaim Threshold Percentage	MVC をいつ要求または自動リクレイムの対象にするかを決定する、断片化された領域のしきい値 (パーセンテージ)。
MVC Pool Inplace Threshold Percentage	パーティション分割されたフォーマットの MVC をいつ動的リクレイム処理の対象にするかを決定する、断片化された領域のしきい値 (パーセンテージ)。
Reclaim Max MVC	1 回のリクレイムでの MVC の上限。
Reclaim Start	自動リクレイムをトリガーする、MVC の合計数に対するリクレイム候補のパーセンテージ。
Space Reclaim	スペースリクレイムの設定。
Total MVCs	この MVC プール内の MVC の数。
Free MVCs	この MVC プール内の空き MVC の総数。
Standard MVCs	この MVC プール内の初期化されている標準 MVC の数。
Partitioned MVCs	この MVC プール内の初期化されているパーティション分割された MVC の数。
Un-initiated MVCs	この MVC プール内の初期化されていない MVC の数。
Audit MVCs	ステータスが「AUDIT」である MVC の数。
Broken MVCs	ステータスが「BROKE」である MVC の数。
Consolidated MVCs	ステータスが「CONSOLIDATE」である MVC の数。
Data Check MVCs	データチェックを含む MVC の数。
Drain MVCs	ステータスが「DRAIN」である MVC の数。
Ejected MVCs	ステータスが「EJECTED」である MVC の数。
Export MVCs	ステータスが「EXPORT」である MVC の数。
Full MVCs	「FULL」とマークされた MVC の数。
Invalid MIR MVCs	無効な MIR を含む MVC の数。
Lost MVCs	ステータスが「LOST」である MVC の数。
Max VTV MVCs	最大の VTV を含む MVC の数。
Read-only MVCs	「Read-Only」とマークされた MVC の数。
Retired MVCs	「RETIRED」とマークされた MVC の数。
Usable MVCs	使用可能な MVC の数。

列	説明
Warranty Expired MVCs	保証が期限切れの MVC の数。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。






「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します





MVCs in MVC Pool

このデータ表には、「**Multi-Volume Cartridge (MVC) Pools**」データ表で選択された MVC プール内のすべての MVC のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「**VTVs on MVC**」データ表内にその MVC の VTV が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	MVC が属する TapePlex。
MVC Volser	MVC の volser。 コンテキストメニュー: 「Audit MVC Volser」、 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
Media	ボリュームのメディアタイプまたは記録技法。 「Need PTF」が表示されている場合、このホストはこのメディアタイプをサポートしていませんが、別のホストがこのメディアタイプをサポートしています。
Media Size (MB)	MVC のサイズ (M バイト単位)。
Storage Class	MVC を所有しているストレージクラス。MVC がストレージクラスのメンバーになるのは、移行された VTV を含んでいる場合だけです。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
MVC Pool	MVC が含まれている MVC プールの名前。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Number of VTVs Migrated	この MVC に移行された現在の VTV の数。
VTV Count	MVC 上のアクティブな VTV の数。
Used Percentage	現在の VTV によって使用されている MVC のパーセンテージ。
Fragmented Percentage	最新でない VTV を含む MVC のパーセンテージ。この領域は、それがリクレイムされるか、または MVC が排出されるまで使用できません。
Available Percentage	物理的に使用できる MVC のパーセンテージ。
Usable Percentage	VTCS で使用できる MVC 上の領域のパーセンテージ。これは、物理的に使用可能な領域がまだ存在する場合でも 0 である可能性があります。たとえば、MVC あたりの VTV の上限に達した場合、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。同様に、MVC に対してエラーが報告された場合、VTCS はこの MVC を出力に使用しないため、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。
Times Mounted	この MVC が MVC インベントリに追加されたあと、書き込みまたは読み取りのためにマウントされた回数。
Last Mounted	この MVC が RTD にマウントされたか、またはマウントが試行された日付と時間。
Last Migration	この MVC に対して VTV 移行が最後に実行された日付と時間。

列	説明
Last Drain/Reclaim	この MVC が排出またはリクレーム処理によって最後に処理され、そのテープの終わりのポイントがリセットされた日付と時間。
VTSS Last Mounted	この MVC への移行を実行した最後の VTSS の名前。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Initialized	この MVC の初期化ステータスを示します。「standard」、「partitioned」、「not initialized」のいずれかです。
Audit	この MVC が現在監査されているか、または失敗した監査の対象になっていたかどうかを示します。この状態にある間、MVC は移行に使用されませんが、リコールには使用できます。固有の状態であり、CDS がまだ MVC の内容に追いついていないため、リコールは失敗する可能性があります。この状態をクリアするには、この MVC に対して監査を再実行します。
Broken	MVC、ドライブ、またはこの 2 つの組み合わせに問題があるかどうかを示します。VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。この問題の原因が MVC である場合は、DRAIN(EJECT) コマンドを使用してサービスから MVC を削除します。この問題の原因が RTD である場合は、MVCMAINT ユーティリティーを使用して MVC の状態をリセットします。
Consolidation	この MVC が統合 MVC であるかどうかを示します。
Data Check	この MVC に対してデータチェック状態が報告されました。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。この状態になる場合は、2 つの異なる RTD でデータ転送が失敗しています。 この状態をクリアするには、次のようにします。 MVC 上のすべての VTV が二重化されている場合は、「Eject」オプションなしで MVC 上で「MVC Drain」を実行します。これにより、すべての VTV が回復され、サービスから MVC が削除されます。 MVC 上の一部の VTV が二重化されていない場合は、MVC 上で「VTCS AUDIT」を実行します。この監査は失敗する可能性があります。監査のあと、MVCDRAIN (イジェクトなし) を実行します。これにより、データチェック領域の前にある VTV はブロック ID の昇順に、データチェック領域のあとにある VTV はブロック ID の降順にリコールされます。この順序で VTV を処理すると、VTCS がメディアからできるだけ多くの VTV を回復できるようになります。そのあと、まだ MVC 上に存在するすべての VTV についてデータを再作成する必要があります。 これはデータ転送を実行しているときに特定の障害が発生したことを示しますが、メディアの障害ではないことがあります。RTD が仕様外のメディアにデータを書き込んでいる可能性もあります。そのため、障害のパターンが重要です。例として、多数のドライブやボリュームで突然、大量の DATA CHECK 状態が発生する場合があります。

列	説明
Deduplication	この MVC が複製解除されているかどうかを示します。
Drain	この MVC が現在、排出またはリクレーム処理の対象であるかどうかを示します。処理が失敗した場合、MVC は保護手段としてこの状態のままになることがあります。この状態をクリアするには、MVC に対して MVCDRAIN を実行します。
Eject	この MVC が取り出されたかどうかを示します。
Export	この MVC がエクスポート MVC であるかどうかを示します。
Full	この MVC 上に空き領域がないかどうかを示します。
Invalid MIR	<p>VTCS が 9x40 メディアの MIR (メディア情報レコード) が無効であることを示すステータスを RTD から受信したかどうかを示します。MIR が無効でもデータへのアクセスは妨げられませんが、テープ上のレコードへのアクセス中に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。この MVC は、有効な MIR エントリが含まれていないテープの領域に対して高速検索を実行できません。</p> <p>VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。リコールでは、VTV が複数の MVC 上に存在する場合、VTCS は無効な MIR を含む MVC の前に有効な MIR を含む MVC を選択します。移行がテープの先頭から開始される場合を除き、VTCS は無効な MIR を含む MVC を移行に使用しないようにします。テープの先頭から移行した場合は、MIR が修正されます。VTCS は、無効な MIR の状態をマウント時またはマウント解除時のどちらかに検出します。マウント時に検出され、別の MVC で操作を完了できる場合、VTCS は最初の MVC をマウント解除して代替 MVC を選択します。</p> <p>代替 MVC に切り替える VTCS の機能はごく限られています。つまり、これは主に移行と仮想マウントに使用されます。無効な MIR を含む MVC については、エラーの原因 (メディアまたはドライブの問題である可能性があります) を特定し、そのエラーを修正します。無効な MIR を含む MVC を回復するには、VTCS 監査を使用して、テープの最後まで MVC を読み取ります。メディアが問題である場合は、MVCDRAIN EJECT を実行して VTV をリコールし、MVC プールから MVC が削除されるようにします。</p>
Lost	<p>VTCS が MVC のマウントを試行し、15 分のタイムアウト期間内にそのマウントが完了しなかったかどうかを示します。ハードウェアの問題、HSC の問題、または MVC の ACS からの削除の組み合わせが発生した可能性があります。VTCS には特定のエラー報告がありませんでした。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。エラーの原因を特定し、それを修正します。</p> <p>次のイベントの場合は、VTCS MVCMAINT ユーティリティを使用して LOST(OFF) を設定することもできます。</p> <p>すでに解決されている LSM の障害またはドライブエラーのために LOST(ON) が設定された場合。</p>

列	説明
	<p>MVC が ACS の外部にあったために LOST(ON) が設定され、その MVC が再入力されている場合。</p> <p>そのあとに MVC のマウントが要求され、これが成功した場合、この状態は VTCS によって自動的にクリアされます。</p>
Maximum VTV	この MVC が VTV の最大数に達したかどうかを示します。
Mounted	この MVC が RTD にマウントされているかどうかを示します。
Protected	この MVC が保護されているかどうかを示します。
Read-only	<p>この MVC が読み取り専用とマークされているかどうかを示します。</p> <p>これが、MVC がエクスポートまたは統合プロセスのターゲットになっているためである場合、読み取り専用状態によって MVC はそれ以上更新されなくなります。</p> <p>MVC メディアがファイル保護に設定されている場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。MVC に VTCS による MVC の更新を可能にする適切な SAF ルールが設定されていない場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。</p>
Retired	この MVC が耐用期限切れになり、VTCS によってその有効寿命の終わりに達したと見なされているかどうかを示します。VTCS はこの MVC からリコールしますが、この MVC には移行しません。この MVC をできるだけ早く置き換えてください。これを実行したら、MVCMAINT ユーティリティを使用して RETIRED(OFF) を設定します。
Usable	この MVC を移行に使用できるかどうかを示します。
Warranty Expired	この MVC の保証が期限切れになっているかどうかを示します。VTCS は引き続きこの MVC を使用しますが、その MVC が「Retired」状態に達したときに置き換えるための計画を作成し始めるようにしてください。
Last Verified	この MVC に対して VTV メディアの確認が最後に実行された日付と時間。この日付には、MVC の内容が有効であることを VTCS が認識した最後の時間が反映されます。
ACS	この MVC が存在する ACD ID。
VLE	この MVC が存在する VLE。
Consolidated Date	統合 MVC の場合は、統合の日付と時間。
EOT Block ID	テープの終わりのブロック ID。
EOT Partition ID	テープの終わりのパーティション ID。
Block ID First Space	この MVC 上の最初の領域のブロック ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。








「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。




「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します

アイコン	名前	説明
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

MVC States in MVC Pool









このグラフには、選択された MVC プール内の MVC の数が現在の MVC 状態でソートされて表示されます。


マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。

アイコン	名前	説明
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Volumes in MVC Pool

このグラフには、選択された MVC プール内の MVC の数が現在の使用状況状態でソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

グラフアイコンをクリックすると、そのグラフの表示タイプが変更されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Sizes in MVC Pool










このグラフには、選択された MVC プール内の MVC のサイズが現在の使用状況状態でソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display VLE

このペインには、仮想ライブラリ拡張機能 (VLE) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「Display」および「VLE」を選択します。

Virtual Library Extension (VLE)

このデータ表には、VLE 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「**Drives (vRTDs) for VLE**」データ表内にその VLE の vRTD が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
VLE	この VLE の名前。
Status	この VLE のステータス。
VLE Version	この VLE のバージョン。
Autonomous Devices	この VLE に自律型デバイス機能があるかどうかを示します。
Version 2 API	この VLE にバージョン 2 API 機能があるかどうかを示します。
Deduplication	この VLE に複製解除機能があるかどうかを示します。
Mount/Recall	この VLE にマウント/リコール機能があるかどうかを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。


「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします

「View」のオプション	説明
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Drives (vRTDs) for VLE

このデータ表には、「**Virtual Library Extension (VLE)**」データ表で選択された VLE 内のすべての vRTD のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Device Address	vRTD アドレス。
Device Type	この vRTD のデバイスタイプ。VLE の場合、デバイスタイプは VL です。
MVC Allocated	この vRTD へのマウントのために割り当てられている MVC の volser。
MVC Mounted	現在この vRTD にマウントされている MVC。
Host	現在この vRTD を所有しているホスト。
Owner VTSS	現在この vRTD に接続されている VTSS。
Status	次の vRTD ステータスのいずれかです。 RECOVER RTD: この vRTD は、問題、移行、または初期化のあとのリセット中です。 MIGRATE VTV: この vRTD は VTV を移行しています。 RECALL VTV: この vRTD は VTV をリコールしています。 UNLOAD MVC: この vRTD の強制的なアンロードが実行されています。 VTV TRANSFER: この vRTD は、別の VTSS で VTV をリコールする前にその VTV を移行しています。 AUDIT MVC: MVC が監査されています。 BUSY: この vRTD はビジー状態です (不特定のタスク)。 IDLE: この vRTD に MVC が割り当てられていますが、その MVC は使用されていません。 ONLINE/FREE: この vRTD はオンラインであり、使用できます。 MAINTENANCE: この vRTD は保守モードにあります。 OFFLINE: この vRTD はオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。 RECOVERY: この vRTD は、エラーまたはオンライン移行モードのあとのリセット中です。

列	説明
	INITIALIZE: ホストは vRTD のステータスと可用性を確認しています。
	SUSPEND: vRTD 操作が中断されています。これは、同じポート上に 1 つ以上の vRTD と CLINK が構成されている場合に発生します。CLINK がオンラインの間、vRTD は SUSPEND モードのままになります。
	PATH OFFLINE: VTSS が vRTD に接続できないため、またはパスが正しく構成されなかった場合、vRTD ステータスは不明です。
	PATH SUSPEND: この vRTD はグローバルにオンラインですが、vRTD が Clink とペアになっているため、VTSS からのパスは中断されています。
	FAIL/OFFLINE: この vRTD は障害のためにオフラインになりました。
	TOP ID: このホストからこの vRTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求のプロセス ID。「TOP ID」列は、このコマンドが実行されたホストからの要求にのみ適用されます。このホストは、この vRTD に対する最上位の権利を持っていない可能性があります。
	TOP HOST: この vRTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求が存在するホスト。「TOP HOST」は、どのホストがこの vRTD に対する最上位の権利を持っているかを示します。
MVC Volser	現在この vRTD にマウントされているか、またはマウントのためにこの vRTD に割り当てられている MVC の volser。
Internal Device Type	デバイスタイプの内部のコーディング。
Requests Queued	現在キューに入れられている要求の数。
Allocation Time Remaining (mins)	残りの割り当て時間 (分単位)。
Local Wait Time (mins)	ローカルの待機時間 (分単位)。
Serial Number	vRTD のシリアル番号。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。





「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display VTD

このペインには、仮想テープドライブ (VTD) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VTD**」を選択します。

Virtual Tape Drives (VTDs)

このデータ表には、VTD 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	VTD が含まれている TapePlex。
VTSS	VTD が含まれている VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
VTD ID	VTD ID。
VTV Volser	現在 VTD にマウントされているか、または VTD に割り当てられている VTD の volser。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「Page Size」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Hosts for VTD

このデータ表には、選択された VTD のホストシステム、デバイスアドレス、ステータス、および使用状況が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Host	DVD を所有しているホストの名前。
Device Address	VTD のデバイスアドレス。このデバイスが CONFIG 内でこのホストに対して定義されていない場合、ここには、前に '##' が付いた VTSS 内の物理アドレスが表示されます。
Status	次のいずれかです。 <p>Available: この VTD は作業に使用できます。</p> <p>Dismounting: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされており、その VTD はアンロードされました。VTCS はマウント解除要求を受信していないか、または現在 VTV と CDS の情報を同期している最中です。</p> <p>Imported: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD とともに電子的にインポートされました。これは、エクスポートを実行したホストからの確認要求を待っています。</p> <p>Importing: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD とともに電子的にインポートされています。</p> <p>Mounted: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされています。</p> <p>Mounting: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされている最中です。これは通常、自動リコールが進行中であることを示します。</p> <p>Mount(other): 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされています。このマウントは、このコマンドが実行されたホストによって実行されませんでした。</p> <p>Not Available: この VTD は作業に使用できません。</p>

列	説明
	<p>Redrive Later: 「VTV」列に示されている VTV volser を VTD にマウントしようとしたが、失敗しました。これは、次の数分以内に再度解釈されません。</p> <p>Replicating: 「VTV」列に示されている VTV volser はレプリケートされている最中です。</p> <p>Undefined: 「VTV」列に示されている VTV volser は未定義です。</p> <p>Unknown: 「VTV」列に示されている VTV volser は不明です。</p>
Usage	<p>次のいずれかです。</p> <p>Configuring: この VTD の構成が進行中です。</p> <p>ECAM init error: VTSS で ECAM-t を使用して VTD を初期化できません。</p> <p>ECAM I/O error: この VTD に対する ECAM-t I/O が失敗しました。</p> <p>ECAM only: この VTD は、VTV をレプリケートするプロセスのために別の VTSS に接続されている VTD の 1 つです。</p> <p>Not accessed: この VTD は VTSS 構成内に見つかりません。</p> <p>Not verified: この VTD は構成内の NOVERIFY で定義されています。</p>
Client Address	VTD へのマウントを最後に実行したクライアントによって報告されたドライブのアドレス。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。



「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします

「View」のオプション	説明
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTD Status










このグラフには、TapePlex とホストの VTD ステータスが表示されます。このグラフは、不明、未検証、レプリケート中、あとでリドライブ、使用不可、インポート済み、マウント解除中、マウント済み、使用可能の各状態にある VTD の数を示すために色分けされています。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTD Usage




このグラフには、TapePlex とホストの VTD 使用状況が表示されます。このグラフは、「Not verified」、「Not accessed」、「ECAM only」、「ECAM I/O error」、「ECAM init error」、「Configuring」の各状態にある VTD の数を示すために色分けされています。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display VTSS

このペインには、仮想テープストレージサブシステム (VTSS) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VTSS**」を選択します。

Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)

このデータ表には、VTSS 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この VTSS が属する TapePlex。
VTSS	この VTSS の名前。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Status	すべてのホストに対する次のグローバルな VTSS 状態のいずれかです。 QUIESCING: 静止中状態。 QUIESCED: 静止状態。 OFFLINE: オフライン状態。 OFFLINE-P: オフライン保留中状態。 ONLINE: オンライン状態。 ONLINE-P: オンライン保留中状態。 STARTED: この VTSS は初期化されており、要求された状態 (オンライン、オフライン、または静止) に移行中です。
Capacity (MB)	この VTSS の容量 (M バイト単位)。
DBU Percentage	合計ディスクバッファ容量のうちの使用済みディスクバッファのパーセンテージ。
High AMT	高い自動移行しきい値。
Low AMT	低い自動移行しきい値。
VTV Count	この VTSS 内に存在する VTV の数。
Maximum Migrate Tasks	この VTSS の自動移行タスクの最大数。
Minimum Migrate Tasks	この VTSS の自動移行タスクの最小数。
Default ACS	この VTSS の構成されているデフォルトの ACS ID。
Auto-Host	自動移行を実行しているホストシステム。
Auto-migrate Threshold	この VTSS の現在の自動移行しきい値。
RTD Count	この VTSS に接続されている RTD の数。
Model	VTSS モデル (VSM2、VSM3、VSM4、VSM5、VSM 6、VSM 7、または不明)。
Maximum VTV Size (MB)	VTV の最大サイズ (M バイト単位)。

列	説明
VTV Page Size	VTV のページサイズであり、「Standard」または「Large」のどちらかです。
RTC Data Verify	RTC データが検証されているかどうかを示します。
Connectivity	接続タイプであり、「CHANNEL」または「ECAM-T」プロトコルのどちらかです。
Serial Number	この VTSS のシリアル番号。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

データ表内の行をクリックすると、その VTSS の次のデータ表が表示されます。

[CLINKs for VTSS](#)

[Clusters for VTSS](#)

[Drive Paths for VTSS](#)

[Features for VTSS](#)

[Hosts for VTSS](#)

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

CLINKs for VTSS

このデータ表には、「**Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)**」データ表で選択された VTSS のすべての CLINK のリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Partner Tapeplex	クラスタ内のパートナー TapePlex。
Partner VTSS	クラスタ内のセカンダリまたは受信側 VTSS。
CLINK ID	この VTSS 内の CLINK に割り当てられている CLINK ID
Channel ID	CLINK の接続先のバックエンドチャンネルインタフェース。
IPIF ID	CLINK の IPIF ID
Cluster	CLINK が TapePlex 内の VTV のレプリケーションに使用され、かつクラスタの一部である場合は、そのクラスタ名。「Partner VTSS」列内の VTSS 名は、そのクラスタ内で動作するほかの VTSS を示します。
Status	次のいずれかです。 <p>Maint: リンクに傷害が発生したか、またはリンクが保守モードに移行しました。</p> <p>Offline: リンクはオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。</p> <p>ONLINE: リンクはオンラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できます。</p> <p>ON-SYNC: 同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>ON-ASYNC: 非同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>P_OFFLINE: リンクはオフライン中です。</p> <p>P_ONLINE: リンクはオンライン中です。</p> <p>RECOVERY: リンクは、エラーまたはオンライン移行操作のあとのリセット中です。</p> <p>UNUSABLE: ハードウェアエラーまたは割り当て先不明状態のために、レプリケーションに使用できません。</p> <p>UUI ERR: これは電子エクスポート用に定義された CLINK であり、リモート VTCS に接続できなくなりました。この問題の原因を示すメッセージが HSC</p>

列	説明
	JOBLOG 内に存在します。これには、定義 (ローカル SMC またはリモート VTCS 上のリモート HTTP サーバー) に関する問題が含まれる可能性があります。
Usage	次のいずれかです。 ASSIGNED: リンクは「HOST」フィールド内のホストに割り当てられていますが、現在レプリケートしていません。この使用状況は、VTCS がリンクの使用を開始または終了しているか、あるいはレプリケーションの失敗のあとにリンク上のエラーを回復しようとしている場合に発生します。 FREE: リンクはアイドル状態です (レプリケーションを実行していません)。 REPLICATING: リンクはアクティブにレプリケーションを実行しています。
Host	リンクの割り当て先のホスト
Partner VTD	接続のもう一方の端点を形成するパートナー VTSS 上の VTD のアドレス。クラスタリンクの場合は、VTD のホストアドレスが報告されます。電子エクスポートリンクの場合は、もう一方の TapePlex 構成にアクセスできないため、これは不可能です。この場合は、VTV の順序番号のみが報告されます。
Replication Capability	CLINK が同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Clusters for VTSS

このデータ表には、「**Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)**」データ表で選択された VTSS のすべてのクラスタのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Cluster	クラスタ名。
Direction	<p>VTSS 間のリンクの方向であり、「TO」、「FROM」、「PEER」のいずれかです。</p> <p>「TO」または「FROM」は、単方向クラスタ内の VTV レプリケーションの方向を示します。VTV は、送信側 VTSS から受信側 VTSS にのみレプリケートできます。</p> <p>「PEER」は、VTSS が双方向 (ピアツーピア) クラスタとして構成されていることを示します。VTV は、どちらの VTSS からでももう一方の VTSS にレプリケートできます。</p>
Partner VTSS	クラスタ内のパートナー VTSS。
Mode	<p>次のクラスタ動作モードのいずれかです。</p> <p>ASync-REPLICATE: クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向 (プライマリ/セカンダリ) クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっていません。</p> <p>SYnc-REPLICATE: クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向 (プライマリ/セカンダリ) クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっています。</p> <p>DEGRADED: 双方向ピアツーピアクラスタ内の 2 つの VTSS のいずれかがオフラインまたは静止状態です。本番ワークロードは、残りのオンライン VTSS に移動できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV が残りの VTSS に割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できず、かつ適切でない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、もう一方の VTSS がオンラインになったときのレプリケーション用にキューに入れられます。もう一方の VTSS がオンラインになると、VTCS が両方の VTSS の内容を調整します。</p>

列	説明
	<p>DEGRADED SECONDARY: プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、セカンダリがオンラインになったときに実行されるレプリケーション用にキューに入れられます。</p> <p>DEGRADED PRIMARY: セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。プライマリがオンラインに戻ると、VTCS がプライマリとセカンダリの内容を調整します。</p> <p>NON-OPERATIONAL: このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p>CLINKS OFFLINE: 定義されているすべての CLINK がオフラインです。このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p>ONLY SECONDARY: セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。</p> <p>ONLY PRIMARY: プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、レプリケーション用にキューに入れられます。</p>
Replication Capability	クラスタが同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Drive Paths for VTSS

このデータ表には、「**Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)**」データ表で選択された VTSS のすべてのドライブパスのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Path Name	このパスに割り当てられている名前。
VLE	この VLE の名前。
Device Address	ドライブのデバイスアドレス。
Logical Device ID	パスに割り当てられている論理デバイス ID。
Channel ID	このパスに対して指定された CHANIF 値。
IPIF ID	パスに対して指定された IPIF 値。
Status	次のいずれかです。 ONLINE: パスはオンラインであり、使用できます。 ON-ASYNC: パスはオンラインであり、VTV の非同期レプリケーションに使用できます。 ON-SYNC: パスはオンラインであり、VTV の同期レプリケーションに使用できます。 OFFLINE: 接続先のパスまたはデバイスがオフラインに移行しました。

列	説明
	MAINT: 接続先のパスまたはデバイスがオフライン保守モードに移行しました。これは、繰り返された障害の結果である可能性があります。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。






「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Features for VTSS

このデータ表には、「**Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)**」データ表で選択された VTSS の機能のリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Feature	VTSS の機能説明。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。


「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「Page Size」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Hosts for VTSS

このデータ表には、「Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)」データ表で選択された VTSS のホストのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Host	ホスト名。
Migrates	ホストがこの VTSS への移行をサポートするかどうかを示します。
Reclaims	ホストがこの VTSS へのリクレ임을サポートするかどうかを示します。
Status	このホストからの VTSS ステータス: 「Online」、 「Offline」、 または 「Quiesced」。
VTD Count	HOST-VTSS の VTD の数。
Active Migrate Tasks	HOST-VTSS のアクティブな移行タスクの数。
VTSS Accessible	ホストからこの VTSS にアクセスできるかどうかを示します。
Immediate Migrate Wait Time (mins)	HOST-VTSS の移行待機時間 (分単位)。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTDS in VTSS

このデータ表には、「**Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)**」データ表で選択された VTSS の VTD ID のリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
VTD ID	VTD ID。
VTV Volser	この VTD 上の VTV の Volser。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。









アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

DBU Percentage for VTSS

このグラフには、選択された VTSS のディスクバッファ使用率 (DBU) の使用済みパーセンテージが表示されます。背景のカラーコードにより、「Low」と「High」の自動移行しきい値 (AMT) パーセントの設定のほか、「Critical」の DBU しきい値パーセントの設定も示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Dial gauge	ゲージをダイヤルとして表示します
	LED gauge	ゲージを LED として表示します
	Meter gauge	ゲージをステータスメーターとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Display VTV

このペインには、仮想テープボリューム (VTV) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「Display」および「VTV」を選択します。




Virtual Tape Volumes (VTVs)


このデータ表には、VTV 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「MVCs Containing VTV」データ表内にその VTV の MVC が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。

アイコン	名前	説明
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この VTV が属する TapePlex の名前。
VTV Volser	この VTV のボリュームシリアル番号。 コンテキストメニュー: 「Reconcile VTV」。
Management Class	この VTV の管理クラスの名前。
VTSS	この VTV が存在する VTSS。この VTV が移行されている場合は、その VTV が最後に存在した VTSS。このフィールドが空である場合は、この VTV が存在しない (作成も使用もされていない、スクラッチされた、削除された) か、または手動でインポートされました。
Uncompressed Size (MB)	この VTV の非圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、アプリケーションプログラムによって認識された VTV のサイズです。
Compressed Size (MB)	この VTV の圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、MVC 上または VTSS 内で占有される生の容量です。
Compression Percentage	達成された VTV の圧縮率。これは、VTV の非圧縮サイズのパーセンテージとして表された、VTV の非圧縮サイズと VTV の圧縮サイズの違いです。0% の圧縮は、VTV 上で圧縮が不可能であったことを示します。
Maximum VTV Size (MB)	VTV の最大 (圧縮) サイズ (M バイト単位) (400、800、2000、または 4000)。
VTV Page Size	この VTV のページサイズ (「large」 または 「standard」) 。
Last Mounted	この VTV の内容がアプリケーションによるアクセスのために最後にマウントされた日付と時間。
Last Recall	この VTV が MVC から元の VTSS に最後にリコールされた日付と時間。

列	説明
Last Used	この VTV が VTCS によって最後に操作された日付と時間。これには、VTV のマウント、移行、リコール、スクラッチなど、VTV のステータスを更新するほとんどの機能が含まれます。
Created	この VTV の内容がアプリケーションによって最後に変更された日付と時間。
Times Read	この VTV が読み取られた回数。
Copies to Migrate	この VTV の移行コピーの数。
Replication	この VTV のレプリケーションステータスを示します。 NOT REPLICATED: この VTV はまだレプリケートされていません。 REPLICATION REQUIRED: この VTV はレプリケートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。 REPLICATION STARTED: レプリケーションはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。 REPLICATED: この VTV は「Replica VTSS」列で識別される VTSS にレプリケートされました。
Replica VTSS	レプリカ VTV が存在する VTSS。
Owning Tapeplex	レプリカ VTV が存在する TapePlex の名前。
Electronic Export	電子エクスポートのステータスを示します。 EXPORT-NOT POSSIBLE: この VTV のリモート TapePlex へのエクスポートが試行されましたが、その要求は拒否されました。これは通常、リモート TapePlex 内に存在するこの VTV の別のコピーのためです。 EXPORT-REJECTED: 電子エクスポートがアクティブに拒否されました。これは、ターゲットの TapePlex が VTV のインポートを許可していないためか、またはコピーステータスとの衝突のためである可能性があります。 EXPORT-REQUIRED: この VTV は電子的にエクスポートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。 EXPORT-STARTED: 電子エクスポートはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。
Initialized	この VTV が初期化されたかどうかを示します。VTCS が VTV を少なくとも 1 回使用している場合、その VTV は初期化されています。CONFIG ユーティリティーで定義されているが、まだ VTCS によって使用されていない VTV は初期化されていません。
Avoid Early Mount	この VTV に対する並行リコールまたはマウントでエラーが検出されたかどうかを示します。検出された場合、この VTV に対するそれ以上の並行リコールまたはマウントアクティビティーは試行されません。

列	説明
Consolidated	VSM がこの VTV を統合したかどうかを示します。
Fenced	VSM がこの VTV をフェンシングしたかどうかを示します。
Imported	VSM がこの VTV を別の TapePlex からインポートしたかどうかを示します。インポートされた VTV は変更したり、スクラッチマウントに使用したりできません。
Migrated	VSM がこの VTV を移行したかどうかを示します。
Migration Pending	VTV 移行が保留中かどうかを示します。このステータスは、VTV が最初に作成されたときか、または VTV に再統合またはアーカイブが必要になったときに表示されます。この後者の場合は、個々の MVC コピーが「Reconcile」または「Deletion」を示すことがあります。
Mounted	VTV が現在マウントされているかどうかを示します。
New Create	この VTV が新しく作成されたかどうかを示します。
Resident	この VTV が VTSS 上に存在するかどうかを示します。
Scratch	この VTV がスクラッチボリュームであるかどうかを示します。
Multiple Start	データセットがあるボリュームの最後から別のボリュームにまたがったときのマルチボリュームチェーンの先頭を追跡するために使用されます。
Multiple Next	データセットがあるボリュームの最後から別のボリュームにまたがったときのマルチボリュームチェーンの最後を追跡するために使用されます。
Refresh	最後のリフレッシュの日付と時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。











「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します





MVCs Containing VTV

このデータ表には、「**Virtual Tape Volumes (VTVs)**」データ表で選択された VTV を含むすべての MVC のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

行をクリックすると、「**VTVs on MVC**」データ表内にその MVC の VTV が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	MVC が属する TapePlex。
MVC Volser	MVC の volser。 コンテキストメニュー: 「Audit MVC Volser」、 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
Media	ボリュームのメディアタイプまたは記録技法。 「Need PTF」が表示されている場合、このホストはこのメディアタイプをサポートしていませんが、別のホストがこのメディアタイプをサポートしています。
Media Size (MB)	MVC のサイズ (M バイト単位)。
Storage Class	MVC を所有しているストレージクラス。MVC がストレージクラスのメンバーになるのは、移行された VTV を含んでいる場合だけです。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
MVC Pool	MVC が含まれている MVC プールの名前。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。

列	説明
Number of VTVs Migrated	この MVC に移行された現在の VTV の数。
VTV Count	MVC 上のアクティブな VTV の数。
Used Percentage	現在の VTV によって使用されている MVC のパーセンテージ。
Fragmented Percentage	最新でない VTV を含む MVC のパーセンテージ。この領域は、それがリクレイムされるか、または MVC が排出されるまで使用できません。
Available Percentage	物理的に使用できる MVC のパーセンテージ。
Usable Percentage	VTCS で使用できる MVC 上の領域のパーセンテージ。これは、物理的に使用可能な領域がまだ存在する場合でも 0 である可能性があります。たとえば、MVC あたりの VTV の上限に達した場合、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。同様に、MVC に対してエラーが報告された場合、VTCS はこの MVC を出力に使用しないため、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。
Times Mounted	この MVC が MVC インベントリに追加されたあと、書き込みまたは読み取りのためにマウントされた回数。
Last Mounted	この MVC が RTD にマウントされたか、またはマウントが試行された日付と時間。
Last Migration	この MVC に対して VTV 移行が最後に実行された日付と時間。
Last Drain/Reclaim	この MVC が排出またはリクレイム処理によって最後に処理され、そのテープの終わりのポイントがリセットされた日付と時間。
VTSS Last Mounted	この MVC への移行を実行した最後の VTSS の名前。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、「Vary VTSS」。
Initialized	この MVC の初期化ステータスを示します。「standard」、「partitioned」、「not initialized」のいずれかです。
Audit	この MVC が現在監査されているか、または失敗した監査の対象になっていたかどうかを示します。この状態にある間、MVC は移行に使用されませんが、リコールには使用できます。固有の状態であり、CDS がまだ MVC の内容に追いついていないため、リコールは失敗する可能性があります。この状態をクリアするには、この MVC に対して監査を再実行します。
Broken	MVC、ドライブ、またはこの 2 つの組み合わせに問題があるかどうかを示します。VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。この問題の原因が MVC である場合は、DRAIN(EJECT) コマンドを使用してサービスから MVC を削除します。この問題の原因が RTD である場合は、MVCMAINT ユーティリティーを使用して MVC の状態をリセットします。
Consolidation	この MVC が統合 MVC であるかどうかを示します。
Data Check	この MVC に対してデータチェック状態が報告されました。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。この状態になる場合は、2 つの異なる RTD でデータ転送が失敗しています。

列	説明
	<p>この状態をクリアするには、次のようにします。</p> <p>MVC 上のすべての VTV が二重化されている場合は、「Eject」オプションなしで MVC 上で「MVC Drain」を実行します。これにより、すべての VTV が回復され、サービスから MVC が削除されます。</p> <p>MVC 上の一部の VTV が二重化されていない場合は、MVC 上で「VTCS AUDIT」を実行します。この監査は失敗する可能性があります。監査のあと、MVC DRAIN (イジェクトなし) を実行します。これにより、データチェック領域の前にある VTV はブロック ID の昇順に、データチェック領域のあとにある VTV はブロック ID の降順にリコールされます。この順序で VTV を処理すると、VTCS がメディアからできるだけ多くの VTV を回復できるようになります。そのあと、まだ MVC 上に存在するすべての VTV についてデータを再作成する必要があります。</p> <p>これはデータ転送を実行しているときに特定の障害が発生したことを示しますが、メディアの障害ではないことがあります。RTD が仕様外のメディアにデータを書き込んでいる可能性もあります。そのため、障害のパターンが重要です。例として、多数のドライブやボリュームで突然、大量の DATA CHECK 状態が発生する場合があります。</p>
Deduplication	この MVC が複製解除されているかどうかを示します。
Drain	この MVC が現在、排出またはリクレイム処理の対象であるかどうかを示します。処理が失敗した場合、MVC は保護手段としてこの状態のままになることがあります。この状態をクリアするには、MVC に対して MVC DRain を実行します。
Eject	この MVC が取り出されたかどうかを示します。
Export	この MVC がエクスポート MVC であるかどうかを示します。
Full	この MVC 上に空き領域がないかどうかを示します。
Invalid MIR	<p data-bbox="613 1264 1425 1461">VTCS が 9x40 メディアの MIR (メディア情報レコード) が無効であることを示すステータスを RTD から受信したかどうかを示します。MIR が無効でもデータへのアクセスは妨げられませんが、テープ上のレコードへのアクセス中に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。この MVC は、有効な MIR エントリが含まれていないテープの領域に対して高速検索を実行できません。</p> <p data-bbox="613 1493 1425 1759">VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。リコールでは、VTV が複数の MVC 上に存在する場合、VTCS は無効な MIR を含む MVC の前に有効な MIR を含む MVC を選択します。移行がテープの先頭から開始される場合を除き、VTCS は無効な MIR を含む MVC を移行に使用しないようにします。テープの先頭から移行した場合は、MIR が修正されます。VTCS は、無効な MIR の状態をマウント時またはマウント解除時のどちらかに検出します。マウント時に検出され、別の MVC で操作を完了できる場合、VTCS は最初の MVC をマウント解除して代替 MVC を選択します。</p>

列	説明
	<p>代替 MVC に切り替える VTCS の機能はごく限られています。つまり、これは主に移行と仮想マウントに使用されます。無効な MIR を含む MVC については、エラーの原因 (メディアまたはドライブの問題である可能性があります) を特定し、そのエラーを修正します。無効な MIR を含む MVC を回復するには、VTCS 監査を使用して、テープの最後まで MVC を読み取ります。メディアが問題である場合は、MVCDRAIN EJECT を実行して VTV をリコールし、MVC プールから MVC が削除されるようにします。</p>
Lost	<p>VTCS が MVC のマウントを試行し、15 分のタイムアウト期間内にそのマウントが完了しなかったかどうかを示します。ハードウェアの問題、HSC の問題、または MVC の ACS からの削除の組み合わせが発生した可能性はありますが、VTCS には特定のエラー報告がありませんでした。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。エラーの原因を特定し、それを修正します。</p> <p>次のイベントの場合は、VTCS MVCMAINT ユーティリティーを使用して LOST(OFF) を設定することもできます。</p> <p>すでに解決されている LSM の障害またはドライブエラーのために LOST(ON) が設定された場合。</p> <p>MVC が ACS の外部にあったために LOST(ON) が設定され、その MVC が再入力されている場合。</p> <p>そのあとに MVC のマウントが要求され、これが成功した場合、この状態は VTCS によって自動的にクリアされます。</p>
Maximum VTV	この MVC が VTV の最大数に達したかどうかを示します。
Mounted	この MVC が RTD にマウントされているかどうかを示します。
Protected	この MVC が保護されているかどうかを示します。
Read-only	<p>この MVC が読み取り専用とマークされているかどうかを示します。</p> <p>これが、MVC がエクスポートまたは統合プロセスのターゲットになっているためである場合、読み取り専用状態によって MVC はそれ以上更新されなくなります。</p> <p>MVC メディアがファイル保護に設定されている場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティーを使用して READONLY(OFF) を設定します。MVC に VTCS による MVC の更新を可能にする適切な SAF ルールが設定されていない場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティーを使用して READONLY(OFF) を設定します。</p>
Retired	この MVC が耐用期限切れになり、VTCS によってその有効寿命の終わりに達したと見なされているかどうかを示します。VTCS はこの MVC からリコールしますが、この MVC には移行しません。この MVC をできるだけ早く置き換

列	説明
	えてください。これを実行したら、MVCMAINT ユーティリティを使用して RETIRED(OFF) を設定します。
Usable	この MVC を移行に使用できるかどうかを示します。
Warranty Expired	この MVC の保証が期限切れになっているかどうかを示します。VTCS は引き続きこの MVC を使用しますが、その MVC が「Retired」状態に達したときに置き換えるための計画を作成し始めるようにしてください。
Last Verified	この MVC に対して VTV メディアの確認が最後に実行された日付と時間。この日付には、MVC の内容が有効であることを VTCS が認識した最後の時間が反映されます。
ACS	この MVC が存在する ACD ID。
VLE	この MVC が存在する VLE。
Consolidated Date	統合 MVC の場合は、統合の日付と時間。
EOT Block ID	テープの終わりのブロック ID。
EOT Partition ID	テープの終わりのパーティション ID。
Block ID First Space	この MVC 上の最初の領域のブロック ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。



「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTV States

このグラフには、TapePlex ごとの VTV の数が、「Warning」、「Critical」、または「Good」として要約された現在の状態とともに表示されます。

「Warning」には、「Migrate Pending」状態にある VTV が含まれています。

「Critical」には、「Avoid Early Mount」または「Fenced」状態にある VTV が含まれています。









「Good」には、上のどの状態にもない VTV が含まれています。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTV Compression

このグラフには、TapePlex ごとの VTV の数が圧縮率の範囲でソートされて表示されます。










表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VTV**」を選択します。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフ上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTV Counts



このグラフには、TapePlex ごとの VTV スクラッチと常駐の数が現在のステータスでソートされて表示されます。








マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフ上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します

アイコン	名前	説明
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

第6章 「Management」メニュー



このメニューからは、次の VSM GUI ペインにアクセスできます。

- [Command Log](#)
- [Audit](#)
- [MVC Drain](#)
- [Reclaim](#)
- [Reconcile](#)
- [Vary](#)

Command Log

「**Command Log**」には、ユーザーが VSM GUI の「Management」メニューを使用して発行したすべてのコマンドが一覧表示されます。

リストからコマンドを選択すると、コマンド出力の詳細がリストの下の「Detail」タブに表示されます。


「**Command Log**」を表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Command Log**」を選択します。

「Detail」タブでそのコマンドの出力を表示するには、行をクリックします。選択したコマンドによっては、次のタブが含まれていることがあります。

- [Audit Output](#)
- [Exceptions](#)
- [MVC Results](#)
- [Tapeplex Results](#)
- [VTVs Moved](#)
- [VTV Results](#)
- [Electronic Exports](#)
- [Vary Output](#)
- [Canceled Processes](#)

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

例外は、次のアイコンで「**Exceptions**」列に示されます。

アイコン	名前	説明
	Critical	コマンドの実行中に発生した例外を示します。

アイコンをクリックすると、「**Exceptions**」タブが表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Submitted	コマンドが送信された時間。
User Name	コマンドを送信したユーザー名。
Tapeplex	コマンドが実行された TapePlex。
Command Type	発行されたコマンドのタイプ: AUDIT MVC DRAIN RECLAIM RECONCILE VARY CLINK VARY DRIVE VARY VTSS

列	説明
Command	ELS に送信された実際のコマンド。
Status	コマンドの現在のステータス: Submitted Completed
Completed	ELS がコマンドの実行を完了した日付と時間。
Exception	コマンドの実行中に発生した例外。

Audit Output

「**Audit Output**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドを実行した結果の監査イベントが一覧表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVC VTV	MVC の volser (縮小) およびその VTV の volser (展開)
Audit Event	VSM 監査アクション
Block ID	監査される VTV のブロック ID
Uncompressed Size (MB)	M バイト単位での VTV の圧縮解除サイズ
Management Class	VTV に割り当てられた管理クラス
Number of VTVs Audited	監査された MVC 内の VTV の数
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号であるプロセス ID

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Exceptions

「**Exceptions**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドを実行した結果の TapePlex 例外が一覧表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Error Number	エラー番号
Error Message	エラー番号に関連付けられたエラーメッセージ

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。


「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

MVC Results

「**MVC Results**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドの結果が MVC 別に一覧表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVC VTV	MVC の volser (縮小) およびその VTV の volser (展開)
ACS Location	MVC がある ACS の名前
Storage Manager Location	MVC に割り当てられているストレージマネージャー
Media	MVC のメディアタイプ
Media Size (MB)	M バイト単位での MVC のメディアサイズ
Storage Class	MVC に割り当てられているストレージクラス
Candidate VTV Count	MVC 内の VTV の数
Total VTV Size (MB)	M バイト単位での MVC の合計サイズ

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Tapeplex Results

「Tapeplex Results」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドの結果が TapePlex 別に一覧表示されます。

「Command」タイプは次のとおりです。

- AUDIT_MVC
- AUDIT_VTSS
- CANCEL
- MVC_DRAIN
- RECLAIM
- RECONCILE
- VARY_CLINK
- VARY_RTD
- VARY_VTSS

「Status」値は次のとおりです。

- STARTING
- RUNNING
- PARTIAL
- SUCCESSFUL
- FAILED

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex VTV	TapePlex の名前 (縮小) とその VTV の volser (展開)
Candidate VTV Count	VTV の合計数
Total VTV Size (MB)	M バイト単位での VTV の合計サイズ

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。





「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。


「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTVs Moved

「VTVs Moved」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドの結果が移動済みの VTV 別に一覧表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVC VTV	MVC の volser (縮小) およびその VTV の volser (展開)
MVC Volser Recalled From	VTV のリコール元の MVC の volser
Block ID Recalled From	VTV のリコール元のブロック ID
VTSS Recalled From	VTV のリコール元の VTSS
MVC Volser Migrated To	VTV の移行先の MVC の volser
Block ID Migrated To	VTV の移行先のブロック ID
VTSS Migrated To	VTV の移行先の VTSS
Reason	MVC がリコールまたは移行された理由
VTVs Recalled /Migrated	リコールまたは移行された MVC 内の VTV の数

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

VTV Results

「**VTV Results**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドの結果が VTV 別に一覧表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	VTV がある TapePlex の名前
VTV Volser	VTV の volser
Uncompressed Size (MB)	M バイト単位での VTV の圧縮解除サイズ
Compressed Size (MB)	M バイト単位での VTV の圧縮サイズ
Compression Percentage	VTV の圧縮率
Created	VTV の作成日付および時間
Management Class	VTV に割り当てられた管理クラス
MVC Volser	調整済み VTV の MVC の volser の名前
Tapeplex	調整済み VTV の新しい TapePlex の名前
Reason	VTV が調整された理由

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。









「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。



「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。


アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Electronic Exports

「**Electronic Exports**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドによって電子的にエクスポートされた VTV が一覧表示されます。

拒否された電子エクスポートは、次のアイコンで「**Rejected**」列に示されます。

アイコン	名前	説明
	Critical	コマンドの実行中に発生した例外を示します。

アイコンをクリックすると、「**Exceptions**」タブが表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	VTV がある TapePlex の名前
VTV Volser	電子的にエクスポートされた VTV のボリュームシリアル番号
Tapeplex Exported To	VTV の電子エクスポート先の TapePlex の名前
MVC Volser Exported To	VTV の電子エクスポート先の MVC
Block ID Exported To	VTV の電子エクスポート先のブロック ID
VTSS Exported To	VTV の電子エクスポート先の VTSS の名前
Rejected	電子エクスポートが拒否されたかどうかを示します。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。






「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Vary Output

「**Vary Output**」詳細タブには、コマンドの結果を表示できる該当する「**Display**」ページ（「**Display CLINK**」、「**Display Drive**」、または「**Display VTSS**」）へのリンクが含まれています。

Canceled Processes

「**Canceled Processes**」詳細タブには、手動で取り消されたキューに入れられたプロセスやアクティブなプロセスが一覧表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
Host	プロセスを実行しているホスト。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意的番号である、機能のプロセス ID。プロセス ID が 65536 に達すると、ゼロに戻されます。
Function	<p>要求のタイプ:</p> <p>AllocSCR: スクラッチ VTV のジョブ割り当て要求。</p> <p>AllocVTV: 特定の VTV のジョブ割り当て要求。</p> <p>Audit#: 監査ユーティリティー要求。</p> <p>Cancel@: 取り消しコマンド。</p> <p>Consolid#: 統合またはエクスポートユーティリティータスク。</p> <p>Consolid: 統合 MVC への再移行のために VTV をリコールします。これは、Int_cons または Consolid# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Dismount: VTD から VTV をマウント解除します。</p> <p>Display@: 表示または問い合わせコマンド。</p> <p>Drain: 排出またはリクレイム処理中に、再移行のために MVC から VTV をリコールします。これは VtvMover 要求の子です。</p> <p>Drain@: 排出コマンドまたはユーティリティー。</p> <p>DrainMVC: 排出される MVC ごとに 1 つの DrainMVC 要求があります。</p> <p>Drain@ 要求の子要求である DrainMVC は、単一の MVC の排出プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>DELETSCR: スクラッチユーティリティーを削除します。</p> <p>Getmgpol: 現在の管理およびストレージクラス定義を取得します。</p> <p>Getconfig: 構成情報を取得します</p> <p>HSCChnge: 変更されるパラメータファイルの通知。</p> <p>Import#: ユーティリティーによる VTV または MVC のインポート。</p> <p>Int_cons: PGMI が統合要求を開始しました</p> <p>MEDVERfy: メディア検証の親タスク</p>

列	説明
	<p>Migrate: VTV の MVC への移行を実行するための一般的な要求。これは、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p>
	<p>Migrate@: 移行コマンドまたはユーティリティ。これには、しきい値への移行と自動移行が含まれます。</p>
	<p>Mount: VTD 上に VTV をマウントします。状況に応じて、これはあとで VTV の転送またはリコール要求として表示されることがあります。</p>
	<p>Move MVC: 調整またはアーカイブによって処理される MVC ごとに 1 つの Move MVC 要求があります。MoveVTV# 要求の子要求である Move MVC は、単一の MVC の VTV 移動プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p>
	<p>MoveVTV#: これは、MVC 間で VTV のコピーを移動するための ARCHIVE または RECONCILE ユーティリティコマンドからの要求です。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p>
	<p>MvcMaint: MVCMAINT ユーティリティ要求。</p>
	<p>MVC_chek: MVC のステータスをチェックします。</p>
	<p>MVC_eot: 排出またはリクレイムの完了後に MVC のテープ位置の最後をリセットします。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。</p>
	<p>MVC_inv: MVC の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。MVCpool#: ユーティリティの MVC プールの詳細およびステータスを取得します。PGMI_req: まだデコードされていない、PGMI インタフェースから受信した要求。Query@l: 問い合わせまたは表示コマンド。</p>
	<p>MVC_upd: MVC ステータスをリセットまたは更新します。</p>
	<p>Recall: MVC からの VTV のリコールを実行するための一般的な要求。これには、マウントシステムからの Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求が含まれることがあります。「Recall」は、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p>
	<p>Recall@: リコールコマンドまたはユーティリティ。</p>
	<p>Reclaim@: 自動リクレイム要求、あるいはリクレイムコマンドまたはユーティリティ。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p>
	<p>ReclmMVC: リクレイムされる MVC ごとに 1 つの ReclmMVC 要求があります。Reclaim@ 要求の子要求である ReclmMVC は、単一の MVC のリクレイム</p>

列	説明
	<p>処理全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>Reconcil: クラスタ内にある 2 つの VTSS の内容のクロスチェックを実行します。</p> <p>Replicat: クラスタ内にある VTSS 間で VTV のレプリケーションを実行します。</p> <p>Scratch: HSC から VTV 要求をスクラッチします。</p> <p>Sel_scr: PGMI スクラッチ選択</p> <p>Set@: 設定コマンド。</p> <p>Transfer: 2 つの VTSS 間で VTV を転送することで、VTD 上に VTV をマウントします。</p> <p>Unload: RTD から MVC をアンロードします。</p> <p>Uscratch: HSC から VTV 要求をアンスクラッチします。</p> <p>Vary_dev: 個々の RTD または CLINK に対して変更処理を実行します。これは、VARY@ 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Vary@: 変更コマンド。</p> <p>VtvMaint: VTMMAINT ユーティリティ要求。</p>
	<p>VTVMover: 排出またはリクレイムされる MVC ごとに 1 つの VTVMover 要求があります。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。この要求は、ある MVC から別の MVC への VTV の移動を行います。</p> <p>VTSS_inv: VTSS の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>VTSS_list: VTSS 内にある VTV のリストを取得します。これは、Reconcil 要求または自動移行要求の子要求として表示されます。</p> <p>VTV_upd: VTSS 内の VTV ステータスを CDS と再同期します。</p>
Parent ID	要求に関連付けられた親プロセスの ID。
VTSS	要求に関連付けられた VTSS 名または VTSS リスト名。
VTV Volser	プロセスで現在、使用されている VTV の volser。
MVC Volser	プロセスで現在、使用されている MVC の volser。
RTD Device Address	プロセスで現在、使用されている RTD のユニットアドレス。

列	説明
VTD Device Address	プロセスで現在、使用されている VTD のデバイスアドレス。
Task Type	キューを処理しているタスク、または要求がキューに入れられたタスク。
Reason	プロセスがアクティブな理由。
ACS	プロセスが使用している ACS。
LSM	プロセスが使用している LSM。
Storage Manager	プロセスが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	プロセスが使用している内部デバイスタイプ。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。







「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

Audit

Audit コマンド要求は、AUDIT コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。AUDIT は、HSC CDS で MVC および VTV の情報を更新します。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Audit**」を選択します。

監査する TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次に、「**Audit by MVC**」または「**Audit by VTSS**」を選択します。

Audit by MVC

「**Audit by MVC**」を選択した場合、監査する MVC の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select MVCs**」ダイアログボックスを表示します。

「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

監査する MVC の volser を選択した場合、「**Audit Command**」ペインに表示されます。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Audit by VTSS

「**Audit by VTSS**」を選択した場合、虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で使用可能な VTSS が示されたダイアログボックスを表示します。

「**Available**」列で、監査する VTSS をクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこの VTSS を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

複数の VTSS を選択するには、最初の VTSS をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な VTSS をクリックします。矢印ボタンを使用して、VTSS を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

VTSS の範囲を選択するには、範囲内の最初の VTSS をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用

して、VTSS の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべての VTSS を「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTSS が、ホストへの送信のために「**Audit Command**」ペインに表示されます。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

MVC Drain

MVC Drain コマンド要求は、MVC DRain コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。MVC DRain は、現在およびスクラッチ済みのすべての VTV を MVC からリコールして、オプションで MVC を仮想的にイジェクトします (ライブラリから物理的にイジェクトしないで、VSM で使用できないようにします)。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**MVC Drain**」を選択します。

排出する TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次のいずれかを選択します。

- [Drain by MVC](#)
- [Drain by MVC Pool](#)
- [Drain by Storage Class](#)

Drain by MVC

「**Drain by MVC**」を選択した場合、排出する MVC の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select MVCs**」ダイアログボックスを表示します。

「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser を選択して強調表示してから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

MVC の volser を選択した場合、「**MVC Drain Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **EJECT** は、VTCS が MVC を仮想的にイジェクトして (MVC は出力には使用されません)、VTV を物理的に削除します。このパラメータを指定しない場合、VTV は物理的には削除されませんが、MVC に VTV を表示しないように CDS レコードが更新されます。
- **WARRANTY** は、保証期限が切れた MVC を選択します。
- **ERROR** は、エラーがある MVC を選択します。

- **CONMVC** は、VTCS が排出とリクレイムの両方の処理を同時に行う MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、デフォルトは、CONFIG RECLAIM ステートメントで指定した CONMVC 値です。
- **NOWAIT** は、要求が送信されたあとで、ユーティリティーが操作の完了を待機せずに戻ることを指定します。
- **RETIRED** は、期限切れにされる MVC を選択します。
- **DATACHK** は、データチェックがある MVC を選択します。
- **RECALWER** は、VTCS が読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールするかどうかを示します。「**NO**」がデフォルトです。「**YES**」は読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールします。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Drain by MVC Pool

「**Drain by MVC Pool**」を選択した場合、排出する MVC プールをドロップダウンリストで選択します。

「MVC Pool」を選択した場合、「**MVC Drain Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **EJECT** は、VTCS が MVC を仮想的にイジェクトして (MVC は出力には使用されませんが)、VTV を物理的に削除します。このパラメータを指定しない場合、VTV は物理的には削除されませんが、MVC に VTV を表示しないように CDS レコードが更新されます。
- **WARRANTY** は、保証期限が切れた MVC を選択します。
- **ERROR** は、エラーがある MVC を選択します。

- **CONMVC** は、VTCS が排出とリクレイムの両方の処理を同時に行う MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、デフォルトは、CONFIG RECLAIM ステートメントで指定した CONMVC 値です。
- **NOWAIT** は、要求が送信されたあとで、ユーティリティーが操作の完了を待機せずに戻ることを指定します。
- **RETIRED** は、期限切れにされる MVC を選択します。
- **DATACHK** は、データチェックがある MVC を選択します。
- **RECALWER** は、VTCS が読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールするかどうかを示します。「**NO**」がデフォルトです。「**YES**」は読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールします。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Drain by Storage Class

「**Drain by Storage Class**」を選択した場合、排出するストレージクラスをドロップダウンリストで選択します。

「Storage Class」を選択した場合、「**MVC Drain Command**」ペインに表示されません。

オプションパラメータを選択します。

- **EJECT** は、VTCS が MVC を仮想的にイジェクトして (MVC は出力には使用されません)、VTV を物理的に削除します。このパラメータを指定しない場合、VTV は物理的には削除されませんが、MVC に VTV を表示しないように CDS レコードが更新されます。
- **WARRANTY** は、保証期限が切れた MVC を選択します。

- **ERROR** は、エラーがある MVC を選択します。
- **CONMVC** は、VTCS が排出とリクレイムの両方の処理を同時に行う MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、デフォルトは、CONFIG RECLAIM ステートメントで指定した CONMVC 値です。
- **NOWAIT** は、要求が送信されたあとで、ユーティリティーが操作の完了を待機せずに戻ることを指定します。
- **RETIRED** は、期限切れにされる MVC を選択します。
- **DATACHK** は、データチェックがある MVC を選択します。
- **RECALWER** は、VTCS が読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールするかどうかを示します。「**NO**」がデフォルトです。「**YES**」は読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールします。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reclaim

Reclaim コマンド要求は、RECLAIM コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。RECLAIM は、強制 MVC スペースリクレイムを実行します。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Reclaim**」を選択します。

領域をリクレイムする TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次のいずれかを選択します。

- [Reclaim by All MVCs](#)
- [Reclaim by MVC](#)

- [Reclaim by MVC Pool](#)
- [Reclaim by Storage Class](#)
- [Reclaim by ACS](#)

Reclaim by All MVCs

「**Reclaim by All**」を選択した場合、「MVC Pool」、「Storage Class」、または「ACS」に関係なく、TapePlex 全体のすべての MVC が、リクレイムの適格性について検査されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH**: パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC**: 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH**: MVC を強制または自動リクレイムに適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT**: 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reclaim by MVC

「**Reclaim by MVC**」を選択した場合、リクレイムする MVC の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select MVCs**」ダイアログボックスを表示します。

「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser を選択して強調表示してから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

MVC リクレイムの候補を選択した場合、「**Reclaim Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH**: パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC**: 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。

- **THRESH:** MVC を強制または自動リクレイムに適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT:** 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reclaim by MVC Pool

「**Reclaim by MVC Pool**」を選択した場合は、領域をリクレイムする MVC プールをドロップダウンリストから選択します。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC:** 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH:** パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC:** 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH:** MVC を強制または自動リクレイムに適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。

- **NOWAIT**: 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reclaim by Storage Class

「**Reclaim by Storage Class**」を選択した場合、MVC 領域をリクレイムするストレージクラスをドロップダウンリストで選択します。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH**: パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC**: 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH**: MVC を強制または自動リクレイムに適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT**: 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reclaim by ACS

「**Reclaim by AC**」を選択した場合、MVC 領域をリクレイムする ACS をドロップダウンリストで選択します。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1-98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH**: パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3-97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC**: 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1-99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH**: MVC を強制または自動リクレイムに適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4-98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間(分)。有効な値は 1-1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT**: 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reconcile

Reconcile コマンド要求は、RECONcil コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。Reconcile は、MVC、VTV、ストレージクラス、管理クラスの各定義の間でクロスチェックを実行します。VTV のメディアと場所を調整するために、VTV はオプションで、あるストレージクラスから別のストレージクラスに移動されます。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Reconcile**」を選択します。

調整する TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

チェックする MVC を定義するには、次のいずれかを選択します。

- [Reconcile by All MVCs](#)
- [Reconcile by MVC](#)
- [Reconcile by Storage Class](#)

Reconcile by All MVCs

すべての MVC を調整の候補として選択するには、「**All MVCs**」をクリックします。

MVC をさらにフィルタ処理して、次を調整できます。

- [すべての MVC 内のすべての VTV を調整する](#)
- [すべての MVC 内の選択した VTV を調整する](#)
- [すべての MVC 内の管理クラスによって調整する](#)

すべての MVC 内のすべての VTV を調整する

「**Reconcile by All VTVs**」も選択した場合、すべての MVC 内のすべての VTV が調整されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC:** 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

すべての MVC 内の選択した VTV を調整する

「**Reconcile by VTV**」も選択した場合、すべての MVC 内の選択した VTV のみが調整されます。調整する VTV の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select VTVs**」ダイアログボックスを表示します。

「**Select VTVs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**VTV Volser**」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

すべての MVC 内の管理クラスによって調整する

「**Reconcile by Management Class**」も選択した場合、すべての MVC 内の選択した管理クラスにあるすべての VTV が調整されます。虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義済みのすべての管理クラスが示されたダイアログボックスを表示します。

「**Available**」列で、調整するクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

複数のクラスを選択するには、最初のクラスをクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要なクラスをクリックします。矢印ボタンを使用して、クラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

クラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のクラスをクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、クラスの範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべてのクラスを「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した管理クラスが「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reconcile by MVC

選択した MVC を調整の候補として指定するには、「**MVC**」をクリックします。

「**Reconcile by MVC**」を選択した場合、調整する MVC の volser をコマンドで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select MVCs**」ダイアログボックスを表示します。

「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用

して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

MVC をさらにフィルタ処理して、次を調整できます。

- 選択した MVC 内のすべての VTV を調整する
- 選択した MVC 内の選択した VTV を調整する
- 選択した MVC 内の管理クラスによって調整する

選択した MVC 内のすべての VTV を調整する

「**Reconcile by All VTVs**」も選択した場合、選択した MVC 内のすべての VTV が調整されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

選択した MVC 内の選択した VTV を調整する

「**Reconcile by VTV**」も選択した場合、選択した MVC 内の選択した VTV のみが調整されます。調整する VTV の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select VTVs**」ダイアログボックスを表示します。

「**Select VTVs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**VTV Volser**」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト)

ト)が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC:** 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV:** VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

選択した MVC 内の管理クラスによって調整する

「**Reconcile by Management Class**」も選択した場合、選択した MVC 内の選択した管理クラスにあるすべての VTV が調整されます。虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義済みのすべての管理クラスが示されたダイアログボックスを表示します。

「**Available**」列で、調整するクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

複数のクラスを選択するには、最初のクラスをクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要なクラスをクリックします。矢印ボタンを使用して、クラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

クラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のクラスをクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、クラスの範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべてのクラスを「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した管理クラスが「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Reconcile by Storage Class

選択したストレージクラス内の MVC を調整の候補として指定するには、「**Storage Class**」をクリックします。

「**Reconcile by Storage Class**」を選択した場合、虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内のすべてのストレージクラスが示されたダイアログボックスを表示します。

「**Available**」列で、ストレージクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのストレージクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

複数のストレージクラスを選択するには、最初のストレージクラスをクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要なストレージクラスをクリックします。矢印ボタンを使用して、ストレージクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

ストレージクラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のストレージクラスをクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、ストレージクラスの範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべてのストレージクラスを「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択したストレージクラスが「**Reconcile Command Request**」ペインに表示されます。

MVC をさらにフィルタ処理して、次を調整できます。

- 選択したストレージクラス内のすべての VTV を調整する
- 選択したストレージクラス内の選択した VTV を調整する
- 選択したストレージクラス内の管理クラスによって調整する

選択したストレージクラス内のすべての VTV を調整する

「**Reconcile by All VTVs**」も選択した場合、選択したストレージクラス内のすべての VTV が調整されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「Command Log」ペインに結果を表示できます。

選択したストレージクラス内の選択した VTV を調整する

「Reconcile by VTV」も選択した場合、選択したストレージクラス内の選択した VTV のみが調整されます。調整する VTV の volser をコマンドで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「Select VTVs」ダイアログボックスを表示します。

「Select VTVs」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「Apply」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「Tapeplex」フィールドと「VTV Volser」フィールドに一覧表示されます。

再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

複数の volser を選択するには、最初の volser をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な volser をクリックします。矢印ボタンを使用して、volser を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、volser の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

選択したストレージクラス内の管理クラスによって調整する

「**Reconcile by Management Class**」も選択した場合、選択したストレージクラス内の選択した管理クラスにあるすべての VTV が調整されます。虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義済みのすべての管理クラスが示されたダイアログボックスを表示します。

「**Available**」列で、調整するクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

複数のクラスを選択するには、最初のクラスをクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要なクラスをクリックします。矢印ボタンを使用して、クラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

クラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のクラスをクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、クラスの範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべてのクラスを「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した管理クラスが「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Vary

Vary コマンド要求は、VARY コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Vary**」を選択します。

変更するデバイスがある TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次のいずれかを選択します。

- [Vary by CLINK](#)
- [Vary by RTD](#)
- [Vary by VTSS](#)

Vary by CLINK

「**Vary by Clink**」を選択した場合、VTSS と CLINK ID を選択します。

選択を「**ONLINE**」または「**OFFLINE**」に変更するかどうかを選択します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Vary by RTD

「**Vary by RTD**」を選択した場合、虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義されたすべての RTD が示されたダイアログボックスを表示します。

「**Available**」列で、変更する RTD をクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこの RTD を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

複数の RTD を選択するには、最初の RTD をクリックしてから、**CTRL** を押しながらほかの必要な RTD をクリックします。矢印ボタンを使用して、RTD を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

RTD の範囲を選択するには、範囲内の最初の RTD をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して範囲を定義および強調表示します。矢印ボタンを使用して、RTD の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべての RTD を「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した RTD が「**Vary Command Request**」ペインに表示されます。

選択を「**ONLINE**」、「**OFFLINE**」、または「**MAINT**」に変更するかどうかを選択します。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

Vary by VTSS

「**Vary by VTSS**」を選択した場合、変更する VTSS を選択します。

選択を「**ONLINE**」、「**OFFLINE**」、または「**QUIESCED**」に変更するかどうかを選択します。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

第7章 「VSM Console」メニュー



「VSM Console」メニューは、VSM コンソール (VSMc) サーバーと対話するためのメカニズムを提供します。

注記:

「VSM Console」メニューは、ELS バージョン 7.3.1 以上の TapePlex でのみ使用できます。

このメニューは次へのアクセスを提供します。

- [Command Line Interface](#)
- [Configuration/Policy](#)
- [Console Log](#)

Command Line Interface

コマンド行インターフェースは、oVTCS コマンドを入力したり、実行のためにそれを VSMc サーバーに発行したりするための機能を提供します。

コマンドを発行するには、TapePlex および適切なノードサーバーアドレスを選択します。次に、入力テキストボックスにコマンドを入力し、「**Submit**」をクリックします。

注記:

サーバーアドレス IP は、その TapePlex 用のコマンドを受け入れるためにサイト構成中に登録されたものです。アドレスの問題は、サイト構成で管理者によって修正される可能性があります。

「Command Line Interface」 ページには、次の 2 つの表があります。

- 「Command Log」 表には、VSMc サーバーに送信されたコマンドが一覧表示されます。
- 「Command Output」 表には、コマンドへの応答と、発生したすべての例外の詳細が一覧表示されます。

「Command Log」 表

選択された TapePlex に対して VSM GUI から実行されたコマンドは、最新のものを先頭にして日付順に一覧表示されます。この表は、新しいコマンドを発行したときに更新されます。

表内のコマンドを選択すると、「Command Output」 表にその詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。




テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Submitted	要求が発行された日付と時間
Username	要求を発行したユーザーの名前
Host	サーバーアドレス
Command	発行されたコマンド
Status	要求のステータス
Completed	要求が完了した日付と時間
Exception	いずれかの例外が発生したかどうかを示します
Return Code	例外のリターンコード
Reason Code	例外の理由コード

「**Rows Selected**」 は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」 は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」 メニューを使用して表示されます。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「Command Output」表

選択された「Command Log」エントリの詳細が「Command Output」表に示されます。この表には、VSMc サーバーから受信されたコマンドへの応答が一覧表示されます。別のタブには、発生したすべての例外の詳細が一覧表示されます。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。






列	説明
Line Number	応答内の行番号
Type	行のタイプ。ここで、T は正常なテキストメッセージ、E はエラーテキスト応答
Subtype	行のサブタイプ。ここで、C は制御行、D はデータ行、E は最終 (終了) 行、L はラベル行、W は単一の WTO 行、H は新しいページヘッダー、R はレポートヘッダー、P は出力行
Text	メッセージテキスト
Error Number	例外の場合は、エラー番号
Error Message	例外の場合は、エラーメッセージ

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

Configuration/Policy

VSM 構成およびポリシーファイルは、「VSM Console」パネルの「Configuration/Policy」タブから管理されます。

TapePlex 構成パラメータは、構成ファイルまたはポリシーファイル、あるいはその両方にあるデータセットから管理できます。各 TapePlex は、1つの構成ファイルと1つのポリシーファイルをサポートします。これらの各ファイルには、TapePlex ごとに最大2つのホストのいずれかを經由してアクセス (ダウンロードまたはアップロード) できます。

VSM GUI は、アプリケーションで構成された各 TapePlex に対して、構成ファイルおよびポリシーファイルのダウンロードとアップロードをサポートします。ファイル内容を更新するために編集機能を使用できます。

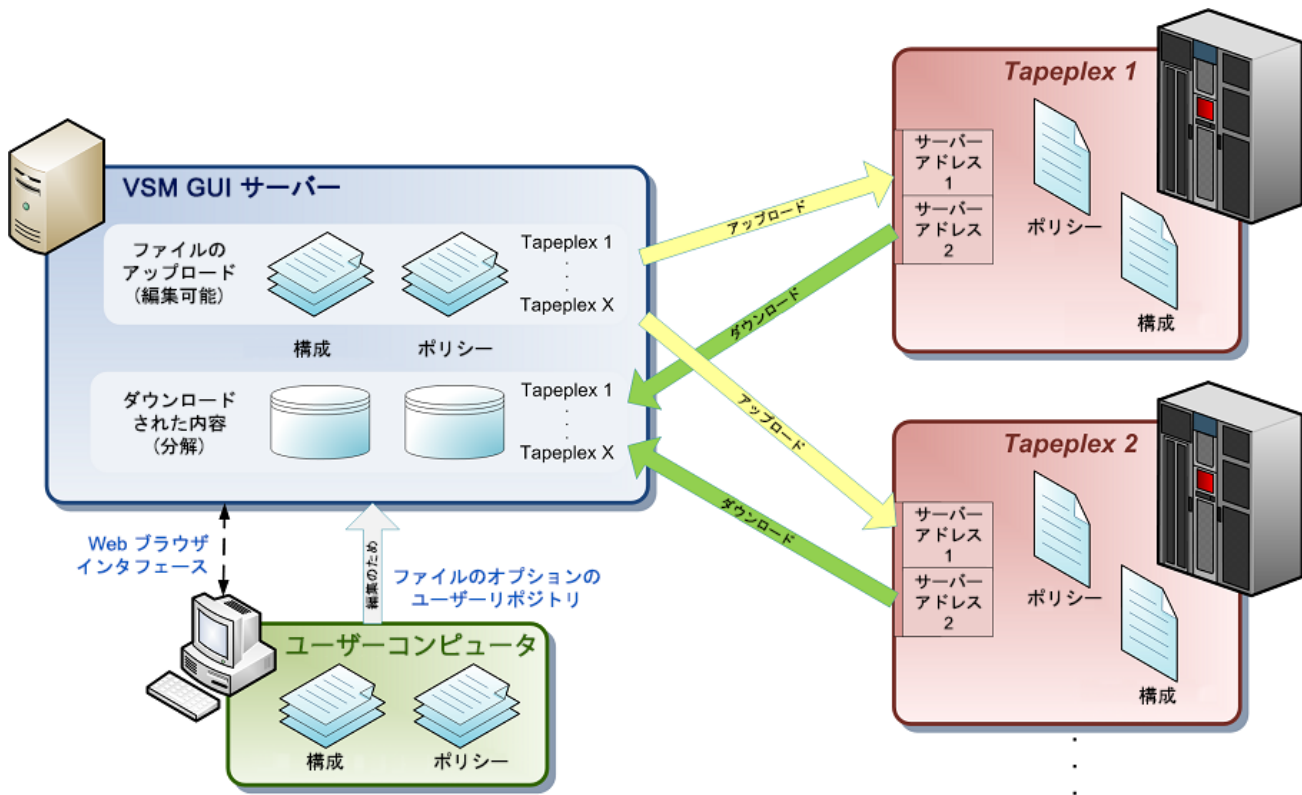
次のトピックでは、これらの関数について説明します。

- [アップロードとダウンロードの概要](#)
- [ファイル管理の詳細](#)
- [VSMc の「Configuration/Policy」パネル](#)
- [ファイルの編集](#)
- [ファイルのアップロード](#)
- [ファイルのダウンロード](#)

アップロードとダウンロードの概要

VSM GUI アプリケーションによって管理される TapePlex の構成およびポリシーの保管場所と転送パスを「構成およびポリシーファイルの管理」の図に示します。

図7.1 構成およびポリシーファイルの管理



VSM GUI サーバー (仮想マシン) は、各 TapePlex の構成およびポリシーのコピーをサーバーのファイルシステム内のファイルとして格納できます。これは、構成またはポリシーの変更のために TapePlex にアップロードまたは送信されるファイルです。このファイルは、TapePlex にアップロードされる前に編集できます。

ダウンロードされた構成またはポリシーは、VSM GUI のデータベース内に格納されます。これは構成またはポリシーの分解ビュー (TapePlex の解釈) であり、サーバー上で手で編集することはできません。

VSM GUI には、TapePlex にアップロードされる構成またはポリシーファイルのための単純なエディタが用意されています。このエディタを使用すると、ファイルのサーバーコピー、またはそのファイルのバックアップコピー (これも VSM GUI のサーバー上に格納されます) を表示および編集できます。

このエディタではまた、以前に作成された構成またはポリシーファイルをユーザーコンピュータのファイルシステムからロードすることもできます。編集された内容を元のユーザーのコンピュータに直接書き込むことはできません。

編集された内容は、ソースには関係なく、関連付けられた TapePlex にあとでアップロードするために VSM GUI のサーバーコピーに書き込むことができます。サーバー上ではバックアップコピーも作成できます。このエディタの使用の詳細は、[ファイルの編集](#)を参照してください。

FTP または PuTTY を使用した VM とのリモートセッション経由で、サーバー上でファイルコピーを直接変更することもできます。ファイル名が変更されない場合、編集されたコピーは、アップロード操作中に TapePlex に送信されます。

ファイル管理の詳細

構成ファイルとポリシーファイルの両方が VSM GUI サーバー (仮想マシン) のファイルシステムおよびデータベース上で管理される方法に関する詳細を次に示します。

- ファイル名は 8 文字に制限されています。
- ファイルは、VSM GUI アプリケーションが配備されているサーバーにダウンロードされます。
- 構成ファイルは、`/opt/vsmgui/config/config` ディレクトリ内に格納されます。
- ポリシーファイルは、`/opt/vsmgui/config/policy` ディレクトリ内に格納されます。
- ダウンロードされた構成ファイルには、`CFGxxxxx` という名前が付けられます。ここで、`xxxxx` はサーバーによって割り当てられ、TapePlex 名とともにデータベース内に格納される一意の数値ファイル識別子です。
- ダウンロードされたポリシーファイルには、`POLxxxxx` という名前が付けられます。ここで、`xxxxx` はサーバーによって割り当てられ、TapePlex 名とともにデータベース内に格納される一意の数値ファイル識別子です。
- 上のファイル名は、サイト構成中に TapePlex が最初に定義および構成されたときに (一意の識別子を使用して) VSM GUI サーバーによって自動的に割り当てられます。
- 各構成またはポリシーのテキスト内容は、次の 2 つの形式で VM サーバー上に格納されます。
 - フラットファイルテキスト形式。その場所とファイル名は上で説明されています。この内容は、VM のファイルシステムへのリモート接続経由でユーザーが編集したり、置き換えたりできます。このフラットファイルの内容は、アップロード操作中に TapePlex に送信されます。

- 。データベース表形式。各ファイルの各行が表内の個別のレコードとして格納されます。この内容はユーザーは変更できず、ファイル分解が再度ダウンロードされたときにのみ更新されます。これは、「Configuration and Policy File Management」パネルでユーザーに表示される内容です。
- 。ファイルダウンロードが開始されると、新しいファイル内容を受信する準備として、データベース表内の既存のファイルテキスト内容はすべて削除されます。そのため、ファイルダウンロードプロセスでエラーが発生した場合、その構成またはポリシーのデータベースの内容は空になるか、またはデータが部分的にしか存在しなくなります。ただし、フラットファイルの内容は、正常なダウンロードが完了するまで変更されません。そのあと、フラットファイル全体が置き換えられます。
- 。 **注意:** ファイルのダウンロード中、ユーザーに表示される場所にある VSMc サーバーのファイルシステム上の既存のファイルは自動的に上書きされます。そのため、TapePlex への各アップロードの前にファイルの場所に再コピーされる目的の構成またはポリシーのマスターコピーを保持する責任はユーザーにあります。
- 。ファイルアップロードとファイルダウンロードの両方でステータスが更新されます。

VSMc の「Configuration/Policy」パネル

VSM 構成およびポリシーファイルは、「VSM Console」パネルの「**Configuration/Policy**」タブから管理されます。

パネルのいちばん上にあるメニューから TapePlex を選択します。oVTCS (ELS バージョン 7.3.1 以上) を実行している TapePlex のみが一覧表示されます。

パネルのいちばん上にあるメニューからサーバーアドレスを選択します。選択された TapePlex で構成されているサーバーアドレスのみが一覧表示されます。

TapePlex およびアドレス選択の下にある 2 つのパネルボックスには、選択された TapePlex から最後にダウンロードされた構成およびポリシーファイルのファイルパスと名前、およびそれらがダウンロードされた日付と時間が表示されます。

ファイル情報セクションの下には、ほかのユーザーインタフェースパネル内の表にあるコントロールに似た機能を持つ制御ボタンが含まれたツールバーがあります。このツールバーの下には、構成またはポリシー分解の内容が表示されます。

このツールバーには、次のオプションが含まれています。

- **View:** ファイルコンテンツペインの表示オプションのメニューを表示します。このメニューは、行番号列の非表示または表示にもっとも役立ちます。行番号を非表示にすると、クリップボードのコピー/ペーストで、各行の前の行番号なしで内容行を取得できます。
- **Edit File:** 選択されたファイルを表示および編集してから、元の GUI サーバーの表示されたファイルパス/名前に保存できるダイアログを表示します。内容は、現在のファイル、バックアップファイル、ユーザーの独自のコンピュータ上のファイルから、または最後のファイルダウンロード操作からロードおよび編集できます。詳細は、[ファイルの編集](#)を参照してください。
- **Upload:** 現在の構成 (CONFIG) またはポリシー (MGMTDEF) ファイルを選択された TapePlex にアップロードし、それをアクティブ化します。詳細は、[ファイルのアップロード](#)を参照してください。
- **Download:** 構成 (DECOMPILE) またはポリシー (GETMGPOL) ファイルを選択された TapePlex からダウンロードします。詳細は、[ファイルのダウンロード](#)を参照してください。
- **Export to Excel:** 選択された TapePlex について、構成またはポリシーファイル分解内容を Microsoft Excel 用にフォーマットされたファイルにエクスポートします。選択された TapePlex 名は見出しに含まれ、ファイルタイプ (構成またはポリシー) は内容の列ヘッダーに含まれます。
- **Printable Page:** 構成ファイルとポリシーファイルの両方の内容の簡略化された選択を含む新しいブラウザタブを開きます。どちらのファイルも内容全体は表示できません。完全なファイル内容を表示するには、「**Export to Excel**」ボタンを使用するか、または表示ペインから内容を選択します (選択する内容の上にマウスカーソルをドラッグしてから、コピー&ペーストします)。
- **Refresh File Content:** ファイル内容をダウンロードしたあと、TapePlex からのファイルダウンロードが完了するまでに 1-2 分かかることがあります。この時間のあとに、このボタンを使用すると、表示されているファイル内容をリフレッシュできます。このリフレッシュは、「**File Last Downloaded**」フィールドで確認します。リフレッシュによって、TapePlex の選択がリスト上の最初の TapePlex にリセットされます。必要に応じて TapePlex を再選択します。
- **Detach:** 選択されたファイル内容を別のウィンドウに表示します。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Line	構成ファイル内の行番号

列	説明
Downloaded Configuration Policy (Decomposition)	ダウンロードされたファイルの内容。この分解は、ファイルアップロードの受け入れられた結果であり、そのアップロードされたファイルの実行に関する TapePlex の解釈を示します。アップロードファイルの内容と完全に一致しない可能性があります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します。
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

このコンテンツペインには、ダウンロードのあとの選択された TapePlex の構成またはポリシーの分解が表示されます。この分解は、ファイルアップロードの受け入れられた結果であり、そのアップロードされたファイルの実行に関する TapePlex の解釈を示します。

この分解は、基本的にそのファイル自体と同じ内容を示しているため、その内容のほとんどは変更された構成またはポリシーファイル内で直接使用できます。ただし、分解内容には、構成またはポリシーファイルの受け入れ可能な内容と互換性がない可能性がある追加情報が含まれている可能性があります。そのため、示されている内容を、有効な構成またはポリシーファイルコマンドまたは機能で評価するようにしてください。

このペインに示されている内容は、標準のオペレーティングシステムのコピー/ペーストコマンドでコピーできます。たとえば、Windows では、複数の行の上にマウスカーソルをドラッグし、**Ctrl-C** を使用して選択された内容をクリップボードにコピーしたあと、**Ctrl-V** を使用してそれを外部エディタにペーストできます。

このペイン内に行番号が表示されている場合は、それもコピーされます。行番号なしで内容をコピーするには、内容をコピーする前に、「**View**」メニューを使用して行番号列の表示を選択解除します。

「**Edit File**」ボタンを使用してファイルを表示し、そのウィンドウから行番号なしで内容をコピーすることもできます。

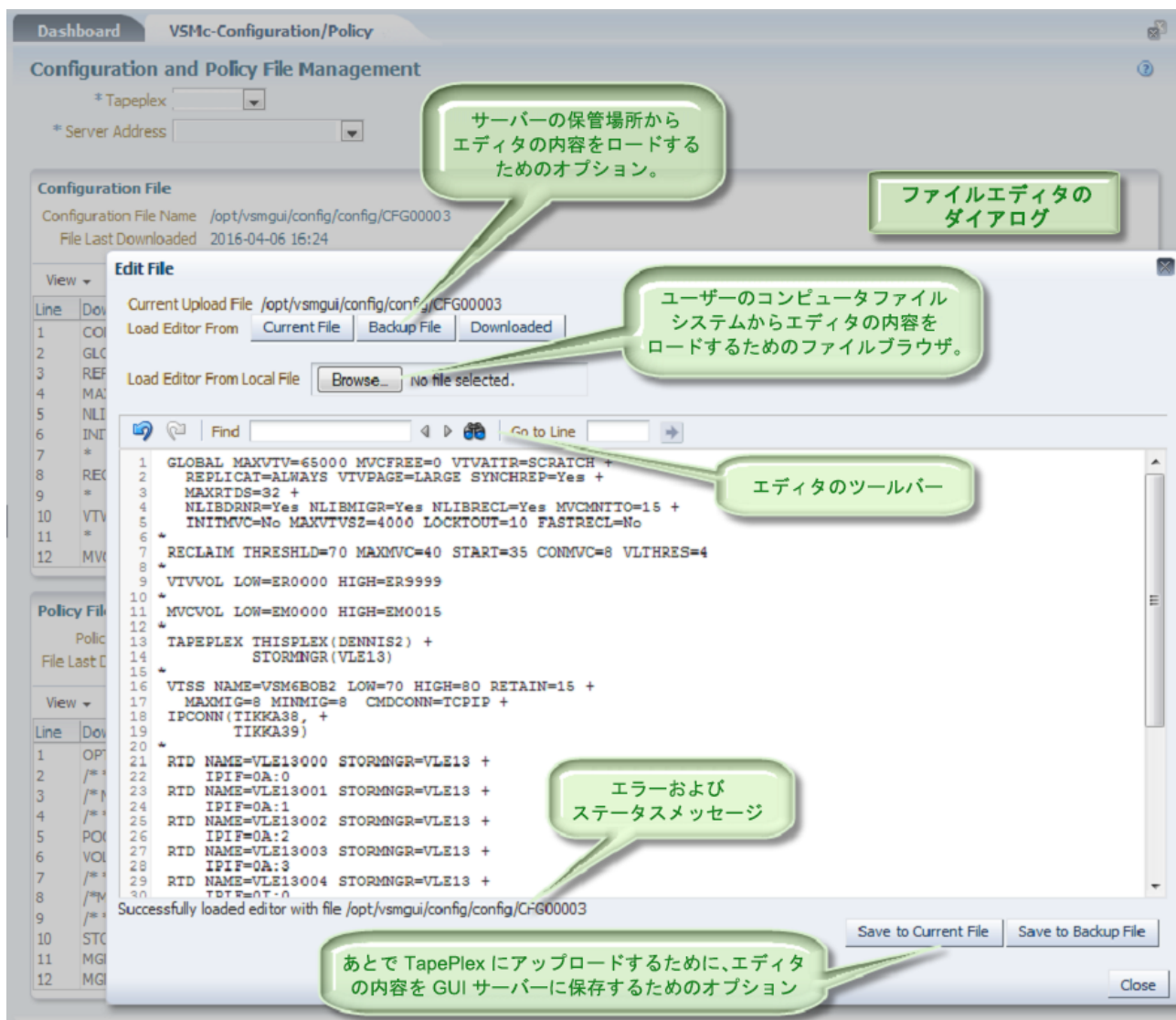
ファイルの編集

注記:

編集可能なファイルの場所と使用は、「アップロードとダウンロードの概要」で説明されています。詳細は、[アップロードとダウンロードの概要](#)を参照してください。

「**Configuration File**」または「**Policy File**」パネルのどちらかで「**Edit File**」ボタンを選択すると、エディタダイアログが表示されます。

図7.2 エディタダイアログ



このダイアログの先頭では、次のファイルを表示および編集するための選択が提供されます。

- **Current File:** ボタンの上の行に表示されている「**Current Upload File**」の場所からエディタをロードします。これは、ベースとなるパネルの「**Upload**」ボタンがクリックされた場合に TapePlex に送信されるファイルです。このファイルは任意のユーザーが以降のダウンロード操作で上書きできるため、このファイルは、アップロード操作の直前に確認および編集して保存するべき一時的なファイルであると見なすようにしてください。
- **Backup File:** オプションのバックアップファイルでエディタをロードします (このファイルが以前にユーザーによって保存されていた場合)。このファイルは現在のファイルと同じディレクトリの場所にあります。ファイル名のあとに拡張子 .bak が付加されています。これは、ダイアログのいちばん下にある「**Save to Backup File**」ボタンがクリックされたときにサーバーに保存されます。
- **Downloaded:** 最後のファイルダウンロード操作の内容でエディタをロードします。この内容は、ベースとなるパネルに表示されているもの (TapePlex の構成またはポリシーの分解) と同じです。この内容は、一般にアップロードファイルの内容として使用できますが、一部の分解内容には無効なコマンドが含まれている可能性があります。たとえば、ダウンロードされた構成分解のいちばん上にあることが多い CONFIG CDSLEVEL(V73ABOVE) などの行は構成に関する情報を提供しますが、それ自体、アップロードされた構成ファイルに含めることができる有効なコマンドではありません。このボタンを使用して構成ファイルを作成する場合は、この行をファイル内容から削除する必要があります。

先頭の 3 つのボタンは、VSM GUI サーバーのファイルシステムからの内容でエディタをロードします。

Caution:

これらのロードボタンのいずれかを使用すると、エディタの内容全体が、選択された新しい内容でただちに置き換えられます。編集された内容の上書きについて警告する確認プロンプトは表示されません。

サーバーファイル選択ボタンの下には、ユーザーのコンピュータファイルシステムからのローカルファイルの内容でエディタをロードするためのボタンがあります。これにより、バックアップとバージョンを VSM GUI のサーバーで提供されている方法より詳細に制御しながら、ユーザー定義リポジトリ内のすべての TapePlex の構成およびポリシーファイルのバージョンを管理するオプションが可能になります。

ユーザーのコンピュータからのファイルは、サーバー上の事前に定義された現在のファイルまたはバックアップコピーに保存するためにエディタにロードすることしかできません。変更を元のユーザーのコンピュータに直接保存することはできません。

「**Browse**」ボタンは、ユーザーのコンピュータ上で実行されているオペレーティングシステムに応じて、ファイルブラウザダイアログを表示します。ユーザーコンピュータからのテキストファイルは、GUIアプリケーションのエディタにロードできます。1つのローカルファイルがロードされたあと、「**Browse**」ボタンを置き換える「**Update**」ボタンによって、エディタが別のローカルファイルでリロードされる可能性があります。オプションの編集のあと、エディタの内容は、GUIのサーバー上の現在のファイルまたはバックアップファイルの場所のどちらかに保存できます。

上のいずれかのファイルロード操作、またはそれ以降のいずれかの保存操作では、その操作の完了ステータスがエディタフィールドの下に表示されます。エラーメッセージは、ファイルの読み取りまたは書き込み中のエラーの詳細を提供します。

構成またはポリシーファイルがまだ作成されていない場合は、空白のエディタフィールドにコマンドを入力し、それをダイアログの右下にある保存ボタンの1つまたは両方を使用して保存するだけで、新しい構成またはポリシーファイルを作成できます。

エディタのいちばん上には、編集を支援する次のツールバーがあります。

- 青色の矢印は、「Undo」および「Redo」機能を提供します。
- 内容に含まれるテキストを検索するには、「**Find**」フィールドにそのテキストを入力します。左矢印と右矢印では、それぞれ後方および前方に検索します。
- 双眼鏡アイコンは、大文字と小文字の区別や完全一致を含む、より高度な検索および置き換えを提供します。
- 「**Go to Line**」フィールドは、右矢印ボタンがクリックされたときに、入力された行番号を強調表示します。青色の強調表示は、別の行が選択されるまでその行に残ります。強調表示をクリアするには、ファイル内の最後の行番号より大きい番号を入力します。

編集を行なった場合は、ダイアログの右下にある「**Save to Current File**」または「**Save to Backup File**」ボタンを使用して必ず保存するようにしてください。「**Save**

to Current File ボタンは、エディタの内容をダイアログの先頭に一覧表示されているサーバーファイルに保存します。「**Save to Backup File**」ボタンは、その内容を同じ場所に保存しますが、ファイル名のあとに拡張子 .bak が付加されます。任意のユーザーによる以降のダウンロード操作によって現在のアップロードファイルが上書きされるため、ベストプラクティスとして、現在のファイルをアップロードする前にそのバックアップコピーを保存します。

目的のファイル操作がすべて完了したら、ダイアログの右下にある「**Close**」ボタンをクリックします。最新の変更が保存されたかどうかのチェックはまったく行われないため、このボタンをクリックする前に、すべてのファイル変更が保存されたことを確認してください。

ファイルのアップロード

「**Upload**」ボタンを選択すると、この操作により TapePlex 上の既存の構成またはポリシーがすべて上書きされる可能性があるため、ユーザーは選択された構成またはポリシーファイルを TapePlex にアップロードすることを確認するよう求められます。確認ダイアログには、関連するファイルと TapePlex の要約が示されます。

警告を受け入れ、確認ダイアログの「**OK**」ボタンをクリックすると、選択されたファイルのアップロードが試みられます。アップロードが成功したかどうかを確認するには、データベース更新ログをチェックします。詳細は、[Database Update Log](#)を参照してください。

アップロードファイルは任意のユーザーが以降のダウンロード操作で上書きできるため、このファイルは、アップロード操作の直前に確認および編集して保存すべき一時的なファイルであると思なすようにしてください。以降のダウンロード操作によって現在のファイルが上書きされるため、ベストプラクティスとして、アップロードする前に現在のアップロードファイルのバックアップコピーを保存します。

アップロードの前に構成またはポリシーファイルを変更するには、組み込みのエディタかリモート FTP または PuTTY セッションを使用してファイルを表示および変更できます。詳細は、[ファイルの編集](#)を参照してください。

選択された TapePlex の各ファイルの名前とパスは、該当するパネルボックスに一覧表示されます。すべての変更を行なったら、上で説明したようにそれをアップロードできます。ファイル名は変更できません。パネルに一覧表示されているファイル名のみが TapePlex にアップロードされます。

サーバーアドレスの選択を使用してどちらのホスト経由でもファイルをアップロードできますが、選択された TapePlex で使用できるのは 1 つの構成ファイルと 1 つのポリシーファイルだけです。

ファイルのダウンロード

いずれかのファイルパネルボックスの「**Download**」ボタンを選択すると、この操作によりユーザーが VSM GUI サーバー上の既存の構成またはポリシーファイルに対して行なった変更がすべて上書きされる可能性があるため、ユーザーはファイルをダウンロードすることを確認するよう求められます。適用されるアクションの確認のために、ダウンロードされる TapePlex とファイル名も表示されます。

警告を受け入れ、確認ダイアログの「**OK**」ボタンをクリックすると、選択されたファイルのダウンロードが試みられます。ダウンロードプロセスが開始されると、ユーザーがデータベース更新ログを表示したり、「**Refresh File Content**」ボタンを使用してダウンロードの完了を確認したりできることを示すポップアップメッセージが表示されます。ファイルがダウンロードされたあとに「**Configuration/Policy**」ページをリフレッシュすると、「**File Last Downloaded**」日付フィールドが更新され、正常にダウンロードされた最後の日付と時間が表示されます。ダウンロードされたファイルは、VM 上の該当するパネルボックスに示されているディレクトリおよびファイル名で使用できます。

ファイルをダウンロードする要求は、サーバーアドレスの選択を使用してどちらのホストに対しても行うことができますが、どちらのホストサーバーアドレスでもダウンロードされるファイルは同じです。選択された TapePlex で使用できるのは 1 つの構成ファイルと 1 つのポリシーファイルだけです。

Console Log

特定の TapePlex に対するメッセージが表示されます。リストから TapePlex を選択すると、コンソールログにその TapePlex のメッセージが表示されます。

新しいコンソールメッセージが受信されると、ログ表が自動的に更新されます。この更新プロセスは、「**Turn Auto-update OFF/ON**」をクリックすることによって無効または有効にできます。

次の 3 つのタイプのメッセージが表示されます。

- WTO (Write to Operator、オペレータへの書き込み)

- WTOR (WTO with Reply、応答ありの WTO)
- HILITE (highlighted WTO、強調表示された WTO)

「Console Log」ページには、次の2つの表があります。

- WTOR および HILITE 表には、WTOR および HILITE メッセージが一覧表示されます。WTOR メッセージには、この表内から応答できます。
- ログ表には、WTO メッセージ、応答または削除された WTOR メッセージ、および削除された HILITE メッセージが一覧表示されます。

WTOR および HILITE 表内の WTOR メッセージに応答すると、そのメッセージはログ表に転送されます。WTOR 応答中に例外が発生した場合は、その例外がログに記録され、そのデータにはログ表からアクセスできます。

WTOR および HILITE 表

選択された TapePlex の WTOR および HILITE メッセージのリストは、最新のものをいちばん下にして日付順に表示されます。

コンテキストメニューインジケータを含むフィールドでは、特定のデータ項目に対してコマンドを起動できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、コマンドを選択します。

- WTOR メッセージに応答するには、メッセージテキストを右クリックし、「**Reply**」を選択します。ダイアログが表示され、そこに応答テキストを入力して発行できます。応答が oVTCS に正常に送信されると、WTOR カウンタが更新され、表の表示がリフレッシュされます。それにより、その WTOR は WTOR および HILITE 表に表示されなくなりますが、ログ表に追加されます。
- WTOR メッセージを削除するには、メッセージテキストを右クリックし、「**Delete**」を選択します。複数のメッセージを削除するには、それらのメッセージを選択してからメッセージテキストを右クリックし、「**Delete**」を選択します。削除された WTOR メッセージごとに、WTOR カウンタが更新され、表の表示がリフレッシュされます。それにより、その WTOR メッセージは WTOR および HILITE 表に表示されなくなりますが、ログ表に追加されます。
- HILITE メッセージを削除するには、メッセージテキストを右クリックし、「**Delete**」を選択します。複数のメッセージを削除するには、それらのメッセージを選択してからメッセージテキストを右クリックし、「**Delete**」を選択します。削除された HILITE メッセージごとに、HILITE カウンタが更新され、表の表

示がりフレッシュされます。それにより、その HILITE メッセージは WTOR および HILITE 表に表示されなくなりますが、ログ表に追加されます。

ページのいちばん上にある WTOR および HILITE カウントは、WTOR および HILITE 表をフィルタリングするためのリンクを提供しています。TapePlex 名をクリックすると、その TapePlex の WTOR または HILITE のみが表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。


テーブルの列および説明は次のとおりです。









列	説明
Time	メッセージが発行された日付と時間
Server Address	メッセージを発行した HTTP サーバー
ID	メッセージの一意内部識別子
Line Number	複数行メッセージを順序付けるためのメッセージ行番号
Token	ホスト固有の一意のメッセージトークン
Type	メッセージタイプ: WTOR、HILITE、または WTO
Routing/Descriptor Category	コンソールルーティングおよび記述子コード。ここで、SYSSTAT はシステムステータス、SYSOPER はオペレータ情報、TPSTAT はテーブルステータス、LOG はログのみ
Multi-Line Type	複数行メッセージの複数行タイプ。ここで、C は制御行、D はデータ行、E は最終(終了)行、L はラベル行
Text	メッセージ番号およびテキスト

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します

アイコン	名前	説明
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

ログ表

WTO メッセージと、応答または削除された WTOR および HILITE メッセージは、最新のものをいちばん下にして時系列順に表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。




列	説明
Time	メッセージが送信された日付と時間







列	説明
Server Address	メッセージを発行した HTTP サーバー
ID	メッセージ ID
Line Number	コンソール行番号
Token	ホスト固有の一意のメッセージトークン
Type	メッセージタイプ: WTOR、HILITE、または WTO
Routing/Descriptor Category	次のいずれかです。 SYSSTAT - システムステータス SYSOPER - オペレータ情報 TPSTAT - テープステータス LOG - ログのみ
Multi-Line Type	複数行メッセージの複数行タイプ。ここで、C は制御行、D はデータ行、E は最終 (終了) 行、L はラベル行
Text	メッセージ番号およびテキスト
Exception	例外が発生した場合は、赤色の「Critical」アイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、選択された行の行の詳細が表示されます。
Return Code	WTOR 応答からのリターンコード: (0-成功、4-警告、8-エラー、12-致命的なエラー)
Reason Code	WTOR 応答からの理由コード
Error Message	WTOR 応答からのエラーメッセージ
WTOR Replied	WTOR に応答した日付と時間

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

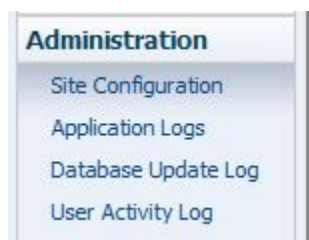
アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します

アイコン	名前	説明
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

「View」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

第8章 「Administration」メニュー



このメニューは次へのアクセスを提供します。

- [Site Configuration](#)
- [Application Logs](#)
- [Database Update Log](#)
- [User Activity Log](#)

Site Configuration

注記:

サイト構成の値を追加または変更する前に、Ingest を無効化する必要があります。

サイト構成では、必要なサイト固有の情報を定義および管理します。サイト構成は初期インストールプロセス中に実行されますが、いずれかの構成の詳細を変更するために、インストール後の任意の時点で再度実行できます。

サイト構成は、複数ページのウィザードである Site Configuration Wizard を使用して実行されます。このウィザードでは、構成プロセスの手順を示します。

開始する前に、仮想マシン上の Ingest サービスを無効にします。

ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Site Configuration**」を選択します。

「**Introduction**」ページが表示されます。

「**Introduction**」 ページは、サイト構成タスクの要約を示します。

Configure Supported Tapeplexes:

- サポートされている TapePlex ごとに、TapePlex 名とログファイルメッセージの重要度レベルを指定します
- すべての VTV か、または初期化された VTV のみのどちらのデータを収集するかを選択します
- 各 TapePlex に対して、接続されたホストごとの接続の詳細を提供します
- TapePlex ごとに少なくとも 1 つの HTTP サーバーが定義されている必要があります
- UI では、定義されている HTTP サーバーからのデータの収集と表示のみが可能です
- 構成されているホストは、UI によってサポートされている ELS のバージョンを実行する必要があります

Configure Application Users:

- ユーザー名とオプションの電子メールアドレスを指定します
- 各 tapeplex 上の各ユーザーに役割を割り当てます
- 電子メールアドレスはオプションです
- ユーザーの役割によって、使用可能な一連の VSM GUI ページが定義されます

Configure Alert Levels:

- TapePlex 全体に適用するアラートレベルを定義します
- 各 TapePlex 内に VTSS を定義します
- 各 VTSS のアラートレベルを追加します
- すべてのアラートレベルを指定する必要があります

Edit Default Configuration Properties:

- サイトのホストサイクル時間、バッチレコードサイズ、およびセッションタイムアウト時間を微調整するために、いくつかのサイト構成プロパティが編集可能です。

Review Site Configuration Summary:

- すべての構成データが表示され、該当するページに戻ることによってそのデータを変更できます。

「**Next Page**」をクリックして「**Configure Supported Tapeplexes**」ページを表示し、サイト構成プロセスを開始します。

Configure Supported Tapeplexes

「**Configure Supported Tapeplexes**」には2つの要素があります。

- 「**Create/Edit Tapeplex**」では、サポートされている TapePlex に関するサイト構成情報を定義および管理します
- 「**Create/Edit Host Data for Tapeplex**」では、TapePlex に関連付けられたホストシステムに関するサイト構成情報を定義および管理します

Create/Edit Tapeplex




「**Create/Edit Tapeplex**」では、サポートされている TapePlex に関するサイト構成情報を識別および管理します。

データ列と説明には次のものが含まれます。

列	説明
Tapeplex	サポートされている TapePlex の名前
Logging Level	<p>データベースのリフレッシュコードによってロギングエントリが作成されるレベルを定義します。指定されたレベルでロギングを有効にすると、それより高いすべてのレベルでのロギングも有効になります。</p> <p>ロギングレベルは次のとおりです (最低から最高への昇順)。</p> <p>ALL: すべてのメッセージがログに記録されます</p> <p>FINEST: 非常に詳細なトレースメッセージがログに記録されます</p> <p>FINER: 詳細なトレースメッセージがログに記録されます</p> <p>FINE: 基本的なトレースメッセージがログに記録されます</p> <p>CONFIG: 静的な構成メッセージがログに記録されます</p> <p>INFO: 情報メッセージがログに記録されます</p> <p>WARNING: 潜在的な問題を示す警告メッセージがログに記録されます</p> <p>SEVERE: 深刻な障害を示す重大なメッセージがログに記録されます</p>

列	説明
	OFF: メッセージはログに記録されません
Initialized VTVs	すべての VTV と初期化された VTV だけのどちらのデータを収集するのかを決定します

アイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	新しい TapePlex を構成に追加します
	Edit	選択された TapePlex を編集します
	Delete	選択された TapePlex および関連付けられたホストエントリを構成から削除します

Add a New Tapeplex

「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

TapePlex の名前を入力します。

この TapePlex の「Logging Level」および「Initialized VTVs」設定を選択します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に記録されます。

別の TapePlex を追加するには、これらのステップを繰り返します。

TapePlex の追加が完了したら、「**Create/Edit Host Data for Tapeplex**」に進み、TapePlex に関連付けられたホストシステムに関する情報を定義および管理します。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして 1 ページ戻ります。

Edit a Tapeplex

編集する TapePlex を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

Tapeplex の削除

削除する TapePlex を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「**OK**」をクリックして TapePlex および TapePlex に関連付けられたすべてのデータを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックすると TapePlex が削除されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

Create/Edit Host Data for Tapeplex




「**Create/Edit Host Data for Tapeplex**」では、選択された TapePlex に関連付けられたホストシステムに関するサイト構成情報を定義および管理します。

データ列と説明には次のものが含まれます。

列	説明
Tapeplex	ホストが関連付けられている TapePlex の名前
Server Address	ホストの完全修飾ドメイン名
Server Port	ホスト上で実行されていることが予測される SMC HTTP サーバーのポート番号。これが実行されていない場合、データベースのリフレッシュプロセスはこのホストからデータを収集しません。
ELS Version	ホスト上の ELS バージョンは ELS 7.1 以上である必要があります。サポートされていない ELS バージョンのホストからはデータが収集されません。

列	説明
SMC Subsystem	ホスト上の SMC サブシステム名
ELS Subsystem	ホスト上の ELS サブシステム名

アイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	選択された TapePlex に新規のホストエントリを追加します
	Edit	選択されたホストエントリを編集します
	Delete	選択されたホストエントリを削除します

新規ホストの追加

「Create/Edit Tapeplex」表内でホストが関連付けられている TapePlex を選択します。

「Create/Edit Host Data for Tapeplex」表の「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

ホストの HTTP サーバーアドレス、サーバーポート、ELS バージョン、SMC サブシステム名、およびオプションで ELS サブシステム名を入力します。SMC サブシステム名は、ELS バージョン 7.3.1 のサーバーには必要ありません。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に記録されます。

TapePlex にホストを追加したり、別の TapePlex にホストを追加したりするには、これらのステップを繰り返します。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして 1 ページ戻ります。

ホストの編集

編集するホストを選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります

ホストの削除

削除するホストを選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「**OK**」をクリックしてホストを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックするとホストが削除されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

Configure Application Users

「**User Information**」では、VSM GUI にアクセスするユーザーに関する情報を識別および管理します。各ユーザーはサイトの LDAP ディレクトリ内に存在する必要があり、さらに少なくとも1つの TapePlex 上に少なくとも1つのユーザーの役割が割り当てられている必要があります。

「**Create/Edit User Information**」では、VSM GUI ログインが承認されるユーザーを識別します。

「**Create/Edit User Roles for User**」では、特定のユーザーのユーザーの役割と TapePlex アクセスを管理します。




Create/Edit User Information

「**Create/Edit User Information**」では、VSM GUI ログインが承認されるユーザーを識別します。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Username	アプリケーションの実行を許可されているユーザーの名前。このユーザー名は、サイトの LDAP ディレクトリサービスで定義されているユーザーの名前である必要があります
Email Address	ユーザーの電子メールアドレス (オプション)
VSM GUI Administrator	ユーザーが VSM GUI 管理者 (ユーザーの役割 VsmGuiAdmin) であるかどうかを示します

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	ユーザーを構成に追加します
	Edit	選択されたユーザーを編集します
	Delete	選択されたユーザー、および構成内でそのユーザーに割り当てられているすべての役割を削除します

Create a User

「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

ユーザーのユーザー名を入力します。

オプションで、ユーザーの電子メールアドレスを入力したり、必要に応じて「**VSM GUI Administrator**」ボックスを確認したりします。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に記録されます。

別のユーザーを追加するには、これらのステップを繰り返します。

完了したら、「**Create/Edit User Roles for User**」に進み、作成したユーザーのユーザーの役割と TapePlex アクセスを定義および管理します。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして 1 ページ戻ります。

Edit a User

編集するユーザー名を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります

ユーザーの削除

削除するユーザー名を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「**OK**」をクリックしてユーザーを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックするとユーザーが削除されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

Create/Edit User Roles for User




「**Create/Edit User Roles for User**」では、特定のユーザーのユーザーの役割と TapePlex アクセスを定義および管理します。各ユーザーは、少なくとも1つの TapePlex 上に少なくとも1つのユーザーの役割が割り当てられている必要があります。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
User Name	ユーザーロールを作成または編集するユーザーの名前
Tapeplex	「User Role」フィールドが適用される TapePlex の名前
User Role	この TapePlex に対するユーザーのアクセスの役割:

列	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • VsmViewer: 指定された TapePlex 上の「Status」および「Display」タブ、「Administration - Database Update Log」オプションにアクセスし、コンテキストメニュー、「Management」および「VSM Console」タブ、その他の「Administration」オプションにはアクセスしません • VsmOperator: 指定された TapePlex 上の「Status」、「Display」、「Management」、「VSM Console」、「Administration - Database Update Log」オプションにアクセスし、その他の「Administration」オプションにはアクセスしません

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内の新規ユーザーロールエントリを追加します
	Edit	構成内の選択されたユーザーロールエントリを編集します
	Delete	構成から選択されたユーザーロールエントリを削除します

ユーザーロールエントリの作成

ロールエントリを作成するユーザー名を選択します。

「Add」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

ユーザーロールの対象である TapePlex を選択します。

ユーザーロールを選択します。

「OK」をクリックしてデータを入力するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「OK」をクリックすると、構成に記録されます。

別のユーザーロールエントリを作成するには、これらの手順を繰り返します。

「User Information」を完了したら、「Next Page」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「Previous Page」をクリックして1ページ戻ります。

ユーザーロールエントリの編集

ロールエントリを編集するユーザー名を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

ユーザーロールエントリの削除

ロールエントリを削除するユーザー名を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「**OK**」をクリックして選択されたユーザーロールエントリを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックするとユーザーロールエントリが削除されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

Configure Alert Levels

「**Create/Edit Tapeplex Alert Levels**」では、クリティカルアラートを発生させる、TapePlex 内のオフライン VTSS の数に関するクリティカルアラートレベルしきい値を定義します。

「**Create/Edit Alert Levels for VTSS**」では、TapePlex 内の VTSS に関するアラートレベルしきい値を定義および管理します。

「**Configure Alert Levels**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。




Create/Edit Tapeplex Alert Levels

「**Create/Edit Tapeplex Alert Levels**」では、クリティカルアラートを発生させる、TapePlex 内のオフライン VTSS の数に関するクリティカルアラートレベルを定義します。

データ列と説明には次のものが含まれます。

列	説明
Tapeplex	アラート値を定義または編集する TapePlex の名前
VTSS Critical Level	クリティカルアラートが発生する TapePlex 内のオフライン VTSS の数

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内の新規 TapePlex アラートを追加します
	Edit	構成内の TapePlex の選択されたアラートおよび関連する VTSS アラートを編集します
	Delete	構成内の TapePlex の選択されたアラートおよび関連する VTSS アラートを削除します

TapePlex の新規 VTSS Critical Level アラートの追加

「**Add New Alert**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

VTSS Critical Level アラートが関連付けられている TapePlex を選択します。

選択された TapePlex の「VTSS Critical Level」を入力します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

TapePlex の VTSS Critical Level アラートの編集

「VTSS Critical Level」アラートを編集する TapePlex を選択します。

「**Edit Alert**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「VTSS Critical Level」アラートの設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

TapePlex のアラートの取り消し

「Critical Alert Level」アラームが削除される TapePlex を選択します。

「Delete」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「OK」をクリックしてアラートを削除するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「OK」をクリックすると、構成に入力されます。

Create/Edit Alert Levels for VTSS




「Create/Edit Alert Levels for VTSS」では、TapePlex 内の VTSS に関するアラートレベルしきい値を定義および管理します。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	アラートを追加または編集する TapePlex の名前
VTSS	アラートを追加または編集する TapePlex 内の VTSS の名前
Critical DBU Level (%)	指定された VTSS についてクリティカルアラートが発生するディスクバッファの使用状況 (パーセンテージ)
RTD Warning Level	警告アラートが発生する VTSS に接続されているオフライン RTD の数
RTD Critical Level	クリティカルアラートが発生する VTSS に接続されているオフライン RTD の数
VRTD Warning Level	警告アラートが発生する VTSS に接続されているオフライン vRTD の数
VRTD Critical Level	クリティカルアラートが発生する VTSS に接続されているオフライン vRTD の数
FICON CLINK Warning Level	警告アラートが発生するオフライン FICON CLINK の数
FICON CLINK Critical Level	クリティカルアラートが発生するオフライン FICON CLINK の数
IP CLINK Warning Level	警告アラートが発生するオフライン IP CLINK の数
IP CLINK Critical Level	クリティカルアラートが発生するオフライン IP CLINK の数
Queued Migrates Warning Level	警告アラートが発生する待機中移行の数
Queued Migrates Critical Level	クリティカルアラートが発生する待機中移行の数

列	説明
Queued Replications Warning Level	警告アラートが発生する待機中レプリケーションの数
Queued Replications Critical Level	クリティカルアラートが発生する待機中レプリケーションの数

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内の VTSS のアラートレベルを作成します
	Edit	構成の選択されたアラートを編集します
	Delete	選択されたアラートを構成から削除します

Add New VTSS Alerts for a Tapeplex

VTSS アラートを追加する TapePlex を選択します。

「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

VTSS 名を入力し、各フィールドにアラートレベルを入力します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。入力した内容は、「**OK**」をクリックすると構成に入力されます

VTSS アラートレベルを追加するには、これらのステップを繰り返します。

「**Configure Alert Levels**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして 1 ページ戻ります。

VTSS アラートの編集

VTSS アラートを編集する TapePlex 内の VTSS を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリーは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

VTSS アラートの取り消し

VTSS アラートが削除される TapePlex および VTSS を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「**OK**」をクリックしてアラートを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリーは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。


Edit Default Configuration Properties

サイトのホストサイクル時間、バッチレコードサイズ、およびセッションタイムアウト時間を微調整するために、いくつかのサイト構成プロパティーが編集可能です。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Primary Cycle Time (minutes)	プライマリサイクル時間は、データ取り込みプロセスのためのものです。プライマリ取り込みでは、VTV および MVC データ上の VTCS から更新を取得します。これにより、VTCS が CDS をスキャンするため、ホストリソースが必要になります。ほかの本番アクティビティーへの影響を避けるために、このプロセスを頻繁に実行しないようにしてください。推奨される頻度は 60 分であり、これがデフォルトです。
Secondary Cycle Time (minutes)	セカンダリサイクル時間は、データ取り込みプロセスのためのものです。セカンダリ取り込みでは、プライマリ取り込みで更新されていないすべての表のデータを取得します。これは VTCS にとって作業量が少ないため、セカンダリサイクルは、ほかの本番アクティビティーにほとんど影響を与えることなくより頻繁に実行できます。推奨される値は 10 分であり、これがデフォルトです。
Batch Size (records)	取り込みプロセス中に 1 つのアクションでデータベース表に追加されるレコードの数。この数値を大きくするとデータロードは高速になりますが、バッチで何らかのエラーが発生した場合は、残りの行がすべて更新されなくなります。推奨される値は 1000 であり、これがデフォルトです。
Session Timeout (Minutes)	VSM GUI アプリケーションが「Login」画面に戻るまでの、ユーザーが非アクティブ状態にある分数

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Edit	構成プロパティを編集します

構成プロパティの編集

グラフの上の「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**Configure Properties**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして「**Summary**」ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして Site Configuration Wizard を 1 ページ戻ります。

サイト構成のサマリーの確認

「**Summary**」ページには、現在のサイト構成設定が一覧表示されます。

設定を確認して、それらが完全かつ正確であることを確認します。

変更を行うには、「**Previous Page**」を使用して、変更を行うページに戻ります。

終わったら、「**Done**」をクリックして Site Configuration Wizard を閉じます。ダイアログが表示されます。

「**OK**」をクリックして Site Configuration Wizard を終了します。

行われた変更はすべて、ここでデータベースにコミットされます。

仮想マシン上の Ingest サービスを有効にして、これらの変更を有効にします。

Application Logs

VSM GUI のアプリケーションログは、zip ファイルとしてコンピュータにダウンロードできます。

ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Application Logs**」を選択します。

「**Download Logs**」をクリックしてプロセスを開始します。

圧縮されたログファイルをプロンプトに従って保存します。確認メッセージは、保存されたファイルの場所を示します。

ファイルを開くか、または保存するためのオプションを含むダイアログが表示されます。

「**Save File**」のオプションを選択し、「**OK**」をクリックします。

保存先のファイルの名前を要求するダイアログが表示されます。

ダウンロードした zip ファイルを保存するファイル名とディレクトリを入力し、「**Save**」をクリックします。

zip ファイルの内容の抽出や、ダウンロードされたアプリケーションログの表示には通常のアプリケーションを使用します。

Database Update Log

「Database Update Log」では、VSM GUI データベースを更新ために実行されるプロセスの状態およびステータスの詳細や、プロセスごとに生成されたすべてのエラーメッセージを表示します。




ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Database Update Logs**」を選択します。

Database Update Log Data Table

このデータ表には、VSM GUI データベース更新プロセスのステータスが表示されます。

エラーが発生した場合、「**Status**」フィールドにはステータスインジケータが含まれます。

ステータスインジケータが表示されている場合は、その行を選択して、「**Errors for Database Update**」データ表にそのデータベース更新プロセスに関するエラー情報を表示します。

アイコン	名前	説明
	Warning	エラーが発生した可能性があることを示します
	Critical	クリティカルなエラーが発生したことを示します
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	データベース更新プロセスが実行された TapePlex
Type	データベース更新タイプ
Manifest ID	データベース更新プロセスのマニフェスト ID
Start Time	データベース更新プロセスが開始された日付および時間
End Time	データベース更新プロセスが終了した日付と時間
State	データベース更新プロセスの状態
Status	データベース更新プロセスのステータスインジケータ
Re-Run	対応するコマンドリフレッシュ更新を再起動できるようにします。これらの更新は自動的に実行されるため、これは PRIMARY、SECONDARY、CFGDWNLD、CFGUPLD、POLICYDWNLD、POLICYUPLD、MSGINGEST、および MSGRESPONSE マニフェストには使用できません。

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。









「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします

「View」のオプション	説明
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

データベース更新のエラー

このデータ表には、エラーを含む選択されたデータベース更新プロセスのエラー番号とエラーメッセージが表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Thread	エラーを検出したデータベース更新スレッド
Error Number	選択されたデータベース更新プロセスのエラー番号
Error Message	選択されたデータベース更新プロセスのエラーメッセージ

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。



「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。








「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

User Activity Log

「User Activity Log」では、「GUI Login/Logout」アクティビティーや「Configuration/Policy」ファイル管理アクティビティーなどの、oVTCS システムの操作に影響を与える可能性のあるユーザーアクションを追跡します。これは、一か所からユーザーアクティビティーを追跡しようとしている管理者に役立ちます。

ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**User Activity Logs**」を選択します。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。







個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。詳細は、[フィルタの使用](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
User Name	アプリケーションにログインするために使用されるユーザーのログイン名
Activity Time	ユーザーによってアクティビティーが開始された時間
Event Type	次のいずれかのタイプです。 Login - ユーザーが GUI アプリケーションへの初期ログインを正常に完了しました。

列	説明
	<p>Logout - ユーザーがアプリケーションの右上にある「Logout」リンクをクリックしました。</p> <p>Timeout - (オプション) 実装されている場合、ユーザーが非アクティブ状態のためにアプリケーションへのアクセスを失いました (アプリケーションが検出できない場合は、実装されていない可能性があります)。</p> <p>Edit - ユーザーが「Configuration and Policy File Management」パネルの「Edit File」ダイアログで「Save to Current File」ボタンをクリックしました。</p> <p>Upload - ユーザーが「Configuration and Policy File Management」パネルでアップロード操作を完全に開始しました (アップロードの確認ダイアログを受け入れました)。</p> <p>Download - ユーザーが「Configuration and Policy File Management」パネルでダウンロード操作を完全に開始しました (ダウンロードの確認ダイアログを受け入れました)。</p>
Tapeplex	「Configuration and Policy File Management」操作が実行された TapePlex の名前。「Login」、「Logout」、または「Timeout」では空白のままです
File Type	実行された「Configuration and Policy File Management」操作のタイプに応じて「Configuration」または「Policy」のどちらか。「Login」、「Logout」、または「Timeout」では空白のままです。
File Name	「Configuration and Policy File Management」操作が実行されたファイルの名前。「Login」、「Logout」、または「Timeout」では空白のままです

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
------	----	----

「**Rows Selected**」は、現在選択されている表内の行数を示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします
Columns	すべての列または選択された列を表示し、非表示および表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

第9章 データベースのバックアップと管理

領域を解放するために、古くなったデータは VSM GUI データベース表からフラットファイルとして定期的に削除する必要があります。それらの結果は圧縮して、アーカイブが可能な場所に移動するようにしてください。

バックアッププロセス

cron ジョブは、固定された間隔で (デフォルトでは午前 1:00) 毎日実行されます。このスクリプトは、以前の間隔以降の期間にわたるデータを含む一連のファイルを生成してから、そのデータをデータベースから削除します。そのあと、生成されたデータファイルは、バックアップディレクトリ (/data/export) に配置される圧縮された tar ファイルに収集されます。

VSM GUI の「Site Configuration」内のフィールドを使用すると、間隔の設定を変更できます。

これらのデータファイルは、VSM GUI アプリケーション内で表示されるデータと同様の方法でレイアウトされます。これらは、Excel やその他の任意のスプレッドシート形式のクライアントアプリケーションに容易に読み取ることができるタブ区切り形式で作成されます。

上の各ファイル名で、タイムスタンプ部分は同じパターンに従い、プロセスが開始されたシステム時間を指定します。たとえば、日付 2016 年 11 月 27 日の午後 2:46:17 は、最終的なファイル名では 2106-11-27.14.46.17 になります。圧縮された tar ファイルの名前にもタイムスタンプが含まれるため、上の日付に基づいて、このファイルは 2106-11-27.14.46.17-dbBackup.tar.gz という名前になります。

オフロードされたデータを含む生成されるファイルは次のとおりです。

AUDIT SUMMARY: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-AUDIT-SUMMARY.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Process ID」、 「Audit Type」、 「Tapeplex」、 「VTSS Name or MVC Volser」、 「Reason」、 および 「Number of VTVs Audited」。

CLI LOG: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-CLI-LOG.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Submitted」、 「Username」、 「Tapeplex」、 「Host」、 「Command Type」、 「Command」、 「Status」、 「Completed」、 「Exception」、 「Return Code」、 および 「Reason Code」。

COMMAND LOG: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-COMMAND-LOG.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Submitted」、 「Username」、 「Tapeplex」、 「Host」、 「Command Type」、 「Command」、 「Status」、 「Completed」、 「Exception」、 「Return Code」、 および 「Reason Code」。

CONSOLE ACTIONS: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-CONSOLE-ACTION.txt

データフィールド: 「ID」、 「Tapeplex」、 「Server Address」、 「Token」、 「Type」、 「Routing/Descriptor Category」、 「Line Number」、 「Multi-Line Type」、 「Text」、 「State」、 および 「Time」。

CONSOLE LOG: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-CONSOLE-LOG.txt

データフィールド: 「ID」、 「Tapeplex」、 「Server Address」、 「Token」、 「Type」、 「Routing/Descriptor Category」、 「Line Number」、 「Multi-Line Type」、 「Text」、 「State」、 および 「Time」。

MESSAGE RESPONSES: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-MESSAGE-RESPONSE.txt

データフィールド: 「Tapeplex」、 「Server Address」、 「Token」、 「Return Code」、 「Reason Code」、 および 「Error Message」。

MVC DRAIN RECALL/MIGRATE SUMMARY: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-MVC-DRAIN-SUMMARY.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「MVC Volser」、 「Reason」、 および 「VTVs Recalled/Migrated」。

MVC DRAIN RECALL/MIGRATE INFORMATION: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-MVC-DRAIN.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「VTV Volser」、 「Recalled From MVC Volser」、 「Recalled From Block ID」、 「Recalled From VTSS」、

「Migrated To MVC Volser」、 「Migrated To Block ID」、 および 「Migrated To VTSS」。

RECLAIM RECALL/MIGRATE SUMMARY: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-RECLAIM-SUMMARY.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「MVC Volser」、 「Reason」、 および 「VTVs Recalled/Migrated」。

RECALL RECALL/MIGRATE INFORMATION: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-RECLAIM.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「VTV Volser」、 「Recalled From MVC Volser」、 「Recalled From Block ID」、 「Recalled From VTSS」、 「Migrated To MVC Volser」、 「Migrated To Block ID」、 および 「Migrated To VTSS」。

COMMAND LOG: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-COMMAND-LOG.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「MVC Volser」、 「Reason」、 および 「VTVs Recalled/Migrated」。

RECONCILE RECALL/MIGRATE INFORMATION: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-RECONCILE.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「VTV Volser」、 「Recalled From MVC Volser」、 「Recalled From Block ID」、 「Recalled From VTSS」、 「Migrated To MVC Volser」、 「Migrated To Block ID」、 および 「Migrated To VTSS」。

RECONCILE VTV REASONS: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-RECONCILE-VTV.txt

データフィールド: 「Command ID」、 「Tapeplex」、 「VTV Volser」、 「Uncompressed Size (MB)」、 「Compressed Size (MB)」、 「Compression Percentage」、 「Created」、 「Management Class」、 および 「Reason」。

USER ACTIVITY LOG: YYYY-DD-MM.HH24.MI.SS-USER-ACTIVITY-LOG.txt

データフィールド: 「Username」、 「Event Type」、 「File Type」、 「Tapeplex」、 「File Name」、 および 「Time」。

オフロードされたデータの使用

上の情報を使用する必要がある場合は、**scp** を使用して tar イメージを Windows PC にコピーしてから、上のファイル名に基づいて tar イメージからデータファイルを抽出します。そのあと、個々のファイルを表示のために Excel スプレッドシートに読み取ることができます。このプロセスは、ファイルがまだ VSM GUI サーバー上に存在するか、またはオフラインストレージに移動されているかどうかにかかわらず同じです。

保守



ベストプラクティスとして、バックアップファイルを定期的を取得し、それを保守が可能なバックアップの場所に移動してください。データをバックアップストレージに配置するときは、コピーするのではなく、移動することが重要です。つまり、ファイルを新しい場所にコピーすることと、それらを VSM GUI サーバーから削除することの両方が必要です。それにより、システムが空き領域を使い果たすまでデータベースディスクが永続的に増加することが回避されるため、これは重要なステップです。

付録A

付録A フィルタの使用

特定のタイプの情報をさらに分離するために、VSM GUI データ表にフィルタを適用できます。

データ表の上にあるツールバーの「**Filter**」および「**Remove Filter**」アイコンによってフィルタリングが制御されます。

アイコン	名前	説明
	Filter	データをフィルタリングします
	Remove filter	データフィルタを削除します

データのフィルタリング

表の上にあるツールバーの「**Filter**」アイコンをクリックすると、「**Filter Table**」ダイアログが表示されます。

すべてのフィルタリング条件に一致する場合にのみ含まれる候補を表示する場合は、「**Match All**」をクリックします。

いずれかのフィルタリング条件に一致する場合に含まれる候補を表示する場合は、「**Match Any**」をクリックします。

表示されるデータフィールドの1つ以上にフィルタリング条件を入力します。

選択されているフィルタでデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

「**OK**」をクリックしてダイアログを閉じます。

その他のオプション:

フィルタをその元の値に戻すには、「**Reset**」をクリックします。

フィルタの設定を保存するには、「**Save**」をクリックします。

保存された検索のリストから、保存された検索を取得して適用します。

拡張検索モードに切り替えるには、「**Advanced**」をクリックします。

フィルタの削除

表示されている表からフィルタを削除するには、表の上にあるツールバーの「**Remove Filter**」アイコンをクリックします。

拡張フィルタリング

より複雑なフィルタリングを行うには、「**Filter Table**」ダイアログで「**Advanced**」ボタンをクリックします。

先に説明したように、すべてのフィルタリング条件に一致する候補のみを含めるには「**Match All**」をクリックし、いずれかのフィルタリング条件に一致する候補を含めるには「**Match Any**」をクリックします。次に、検索演算子および新しい検索フィールドを必要に応じて追加します。

検索演算子の追加

フィルタリングするデータ列ごとに、次のいずれかの演算子を選択します。

- **Starts with:** このエントリで始まる項目のみを含めます
- **Ends with:** このエントリで終わる項目のみを含めます
- **Equals:** このエントリと同一の項目のみを含めます
- **Does not equal:** このエントリと完全に同一ではない項目のみを含めます
- **Less than:** このエントリより小さい項目のみを含めます
- **Less than or equal to:** このエントリ以下の項目のみを含めます
- **Greater than:** このエントリより大きい項目のみを含めます
- **Greater than or equal to:** このエントリ以上の項目のみを含めます
- **Between:** これらのエントリの間にある項目のみを含めます
- **Not between:** これらのエントリの間でない項目のみを含めます
- **Contains:** このエントリを含む項目のみを含めます
- **Does not contain:** このエントリを含まない項目のみを含めます

- **Is blank:** 空白である項目のみを含めます
- **Is not blank:** 空白でない項目のみを含めます

データフィールドにフィルタリング条件を入力します。

選択されている演算子とフィルタリング条件でデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

「**OK**」をクリックしてダイアログを閉じます。

その他のオプション:

フィルタをその元の値に戻すには、「**Reset**」をクリックします。

フィルタの設定を保存するには、「**Save**」をクリックします。

検索フィールドを追加するには、「**Add Fields**」をクリックします。

検索フィールドの優先順位を変更するには、「**Reorder**」をクリックします。

保存された検索のリストから、保存された検索を取得して適用します。

基本検索モードに切り替えるには、「**Basic**」をクリックします。

検索フィールドの追加

検索フィールドを追加するには、「**Add Fields**」をクリックします。

現在データ表に存在するが、「**Filter Table**」ダイアログには存在しないフィールドのリストから選択します。

新しいデータフィールドにフィルタリング条件を入力します。

新しいデータフィールドでデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

「**OK**」をクリックしてダイアログを閉じます。

その他のオプション:

フィルタをその元の値に戻すには、「**Reset**」をクリックします。

フィルタの設定を保存するには、「**Save**」をクリックします。

検索フィールドの優先順位を変更するには、「**Reorder**」をクリックします。

保存された検索のリストから、保存された検索を取得して適用します。

基本検索モードに切り替えるには、「**Basic**」をクリックします。

検索パラメータの保存

検索パラメータの設定は、保存して再利用できます。フィルタを定義したあと、「**Apply**」をクリックし、「**Save**」をクリックします。ダイアログが表示されます。

保存された検索の名前を入力します。それをこの表のデフォルトにするかどうか、およびこの表が表示されるたびにそれを自動的に実行するかどうかを確認します。「**OK**」をクリックして検索を保存し、ダイアログを閉じます。

保存された検索の取得

保存された検索を取得するには、表を表示してから、表の上にあるツールバーの「**Filter**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「**Saved Search**」リストから、適切な保存されたフィルタを選択します。

保存された検索でデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

フィルタをその元の値に戻すには、「**Reset**」をクリックします。

「**OK**」をクリックしてダイアログを閉じます。

保存された検索のパーソナライズ

保存された検索をパーソナライズするには、保存された検索を選択してから、「**Saved Search**」リストの「**Personalize**」を選択します。ダイアログが表示されます。

次のオプションを使用できます。

選択されている保存された検索をリストから削除するには、「**Delete**」をクリックします。

選択されている保存された検索のコピーを作成するには、「**Duplicate**」をクリックします。そのコピーが、保存された検索のリストに表示されます。

必要に応じて、「**Name**」フィールドに新しい名前を入力することによって、保存された検索の名前を変更します。

その保存された検索をこの表のデフォルトフィルタにするかどうか、フィルタアイコンがクリックされるたびにその検索を自動的に実行するかどうか、および検索リストにその保存された検索が表示されるようにするかどうかを確認します。

保存された検索のパーソナライズされた設定を保存するには、「**Apply**」をクリックします。

「**OK**」をクリックしてダイアログを閉じます。

付録B Weblogic のための LDAP 構成

この付録では、VSM GUI のための LDAP および Weblogic サーバーの構成手順について説明します。

LDAP セキュリティーの基礎概念

LDAP セキュリティーには、次の 3 つのコンポーネントがあります。

- LDAP セキュリティーオブジェクト
- LDAP ツリー構造
- 識別名

LDAP セキュリティーオブジェクト

認証に使用される LDAP オブジェクトは次のとおりです。

- 組織単位 (OU): objectClass organizationalUnit (OU)

組織単位オブジェクトは、Windows ディレクトリに似ています。LDAP の場合は通常、グループオブジェクトまたはユーザーオブジェクトのどちらかを保持します。

- グループ (CN): objectClass group (CN) [posixGroup も]

組織単位がディレクトリに似ていると同様に、グループオブジェクトはファイルに似ています。グループオブジェクトには、そのグループ内のユーザーを定義する識別名のリストであるメンバー属性が含まれています。

- ユーザー (CN): objectClass user (CN) [organizationalPerson も]

同様にファイルに似たユーザーオブジェクトは、LDAP 構造内の 1 人のユーザーを記述します。グループとは異なり、ユーザーにはリストが含まれていません。代わりに、その属性は、必要なだけ詳細にユーザーを記述します。

LDAP ツリー構造

LDAP エントリの構造は、UNIX と Windows の両方に見られるディレクトリやファイルのなじみのあるツリー構造に対応しています。Weblogic サーバーの構成中にベースグループと主体を構成する場合は、ツリー構造を使用してオブジェクトの識別名を構築することが重要です。

LDAP 識別名

識別名は、ほかのすべてのオブジェクトと区別するために各 LDAP オブジェクトに関連付けられた値です。この値は、上で説明したツリー構造に基づいています。識別名を構築するには、基本的に、名前を付けようとしているオブジェクトから始めてツリーの先頭までたどります。したがって、ユーザー John Doe の識別名は次のようになります。

```
CN=johndoe,OU=Users,OU=VSMGUI,DC=yourfirm,DC=com
```

通常、DN 内のオブジェクトタイプは大文字ですが、小文字も有効です。オブジェクトの名前の場合は、実際の名前の大文字と小文字と完全に一致する必要があります。さらに、コンマとオブジェクトタイプの間には空白を入れないようにしてください。DN 内に存在するべき空白は、オブジェクトの名前の中に存在する空白だけです。したがって、VSM Admins の DN は次のようになります。

```
CN=VSM Admins,OU-Groups,OU=VSMGUI,DC=yourfirm,DC=com
```

Weblogic には、有効な DN に関する制限があります。DN に追加される可能性のある特定の文字が Weblogic サーバーによって許可されていません。これらの文字は、コンマ (,)、プラス記号 (+)、引用符 (")、バックスラッシュ (/)、山括弧 (< と >)、およびセミコロン (;) です。

これらのうち、もっとも一般的なのはコンマ (特に、ユーザー名が Smith, John という形式である場合) です。どの DN にもこれらの文字のいずれかが含まれている場合がありますが、これは通常 Active Directory で発生します。いずれかのユーザーは常に、LDAP サーバーへのアクセスを許可するユーザーである主体として設定されるため、これは重要です。DN にこれらの文字のいずれかが含まれている場合は、主体を、別の対応する DN を持つ特殊なユーザーとして追加する必要があります。

注記:

- 顧客の環境によっては、上で説明したデフォルト構成が、さまざまな組織に対して定義された LDAP レイアウトスキームに適合しない可能性があります。たとえば、グループ情報が完全に個別のサブツリー内にあるため、グループは各グループが定義されているディレクトリ内に存在し、VSMGUI グループという名前が付けられる可能性があります。ユーザーは、完全に個別のサブツリー内にあり、VSMGUI ユーザーという名前が付けられる可能性があります。組織単位 VSMGUI は、まったく定義する必要がない可能性があります。これらの場所の変更により、Weblogic 構成内の各フィールドに対して別の DN が作成されるため、それに応じて設定する必要があります。
- ユーザーを設定するには、2つの別の方法があります。通常は、すでに存在するユーザーの名前を新しい組織単位に追加し、それをユーザーベースディレクトリにします。または、ユーザーベースディレクトリをいずれかのコンテナタイプの LDAP オブジェクトに設定し、そのグループのメンバーであるすべてのユーザーが VSM GUI を使用できるようにすることもできます。
- LDAP サーバー内の値を設定するには通常、LDAP サーバーへのセキュリティーアクセス権を持つユーザーが必要です。新しいサーバーを設定している場合は、管理者として LDAP サーバーにアクセスできるべきです。
- DN 値 (「Principal」、 「User Base DN」、 および 「Group Base DN」) には特に注意し、「Name Filter」 値によって 「Attribute」 および 「Object Class」 値が正しく定義されていることを確認してください。認証が正しく機能するには、すべてが Active Directory 値に完全に整合している必要があります。

LDAP サーバーの構成

1. 名前を追加するためのコンテナを作成する場合は、それを OU=Users,DC=yourfirm,DC=com などの組織単位にするようにしてください。下で説明されているすべての DN が適切に変更された場合は、これを LDAP ディレクトリ内の任意のレベルに配置できます。
2. 現在使用されている DN に前に説明した特殊文字に関するいずれかの制限がある場合は、新しい Posix ユーザー (CN=VSM Administrator,...) を作成します。このユーザーは Weblogic へのログインユーザーになり、Weblogic が LDAP サーバーにアクセスできるようにします。
3. 必要に応じて、VSM Administrator のパスワードを作成します。このパスワードは Weblogic 構成に必要なため、メモしておきます。

4. VSM GUI アプリケーションを使用するが、現在 LDAP 内に存在しないユーザーはすべて、ユーザーの組織単位に追加します。ユーザーをこの OU に追加するには、次の手順を実行します。
 - a. デフォルト属性を持つ実際のメンバー (CN=johndoe,OU=Users,..) を作成します。
 - b. そのユーザーのパスワードを作成します。
 - c. 上で説明したユーザーオブジェクトを使用している場合は、そのユーザーをユーザーオブジェクト (OU=Users,..) のメンバー属性に追加します。それ以外の場合は、そのユーザーが、ユーザーベースとして定義されたいずれかのグループに含まれていることを確認します。
5. 5. 構成を保存します。これはクライアントによって異なり、まったく必要ない可能性もあります。詳細は、使用している LDAP クライアントのドキュメントを参照してください。

OpenLDAP 用の Weblogic

1. Weblogic コンソールを <http://<VSMGUI IP>:7001/console/> で開き、ログインします。

Weblogic コンソールログインに対する固有の資格情報を持つ 2 つのプラットフォームが存在します。

- Linux x86-64 サーバープラットフォームの場合は、パスワード weblogic1 (小文字の L ではなく、数字の 1) を使用して、ユーザー weblogic としてログインします。
 - VSMc (Solaris) サーバープラットフォーム上の LDOM の場合は、パスワード vsm6SQLadm を使用して、ユーザー admin としてログインします。
2. 左上の「**Change Center**」ウィンドウにある「**Lock & Edit**」ボタンをクリックします。
 3. 「**Domain Structure**」ウィンドウから、「**Security Realms**」を選択します。
 4. 「**Summary of Security Realms**」ウィンドウから、「**myrealm**」を選択します。
 5. 「**Settings for myrealm**」ウィンドウで、「**Providers**」タブをクリックし、「**Authentication**」タブが選択されていることを確認します。
 6. 「**New**」ボタンをクリックします。これにより、「**Create a New Authentication Provider**」ウィンドウが開きます。「**Name**」フィールドに「**LDAP Server**」と入力します。「**Type**」フィールドで、「**OpenLDAPAuthenticator**」を選択しま

- す。「OK」をクリックします。「Settings for myrealm」ウィンドウに戻り、リストの最後に「LDAP Server」が表示されます。
7. 「Reorder」ボタンをクリックします。使用可能な認証プロバイダが一覧表示されます。「LDAP Server」チェックボックスをクリックし、右側のコントロールを使用して、それをリストの先頭に移動します。「OK」をクリックして「Settings for myrealm」ウィンドウに戻ります。これで「LDAP Server」プロバイダがリストの先頭の先頭になりました。
 8. 「LDAP Server」をクリックします。「Settings for LDAP Server」ウィンドウが表示されます。「Common」タブで、「Control Flag」値を「SUFFICIENT」に変更します。「Save」をクリックします。
 9. 「Provider Specific」タブをクリックします。編集する複数のフィールドが含まれた画面が表示されます。各フィールドに、表 1 で説明されている値を入力します。
 10. 上のエントリがすべて設定されたら、「Save」ボタンをクリックします。これにより、「Settings for LDAP Server」ページに戻り、1つまたは複数のプロセスを再開する必要があることを示す通知が上部に表示されます。
 11. 左上の「Change Center」ウィンドウにある「Activate Changes」ボタンをクリックします。
 12. コンソールからログアウトします。次に、Weblogic サービスを停止して再起動します。
 13. サービスが起動したら、コンソールに戻ります。前に実行したように、「Security Realms」、「myrealm」の順に選択します。「Users and Groups」タブをクリックします。構成が正しく機能した場合は、OpenLDAP サービスを構成したときに「VSM Users」グループに追加したすべてのユーザーのリストが表示されています。これにより、OpenLDAP と Weblogic の構成が完了しました。

表B.1 OpenLDAP プロバイダ固有の情報の構成値

値	説明
Host	Active Directory サーバーの DNS 名または IP アドレスのどちらか
Port	AD サービスに割り当てられたそのサーバー上のポート番号 (通常は 389)
Principal	これは、サーバーに接続するユーザーの完全な DN です。通常は、使用している LDAP 構成クライアントに移動し、管理者ユーザーの DN 属性を見つけて、このフィールドを

値	説明
	Weblogic コンソールにカット&ペーストすることがもっとも簡単です。
Credential	上から VSM Administrator ユーザーに割り当てたパスワード
Confirm Credential	上の「Credential」フィールドと同じ
SSLEnabled	チェックなし
User Base DN	新しいディレクトリ DN または既存のグループのどちらか
All Users Filter	空白
User From Name Filter	(&(cn=%u)(objectclass=user))
User Search Scope	サブツリー
User Name Attribute	cn
User Object Class	user
Use Retrieved User Name as Principal	チェックなし
Group Base DN	グループを含むオブジェクトの DN。通常は、「 User Base DN 」フィールド内の値に一致します。
All Groups Filter	空白
Group from Name Filter	(&(cn=%g)(objectclass=groupOfNames))
Group Search Scope	サブツリー
Group Membership Searching	unlimited
Max Group Membership Search Level	0
Ignore Duplicate Membership	チェックなし
Use Token Groups For Group Membership Lookup	チェックなし
Static Group Name Attribute	cn
Static Group Object Class	groupOfNames
Static Member DN Attribute	member

値	説明
Static Group DN's from Member DN Filter	(&(member=%M)(objectclass=groupOfNames))
Dynamic Groups Subgroup	このセクション内のすべてのフィールドを空白のままにするようにしてください。
Connection Pool Size	6
Connect Timeout	0
Connection Retry Limit	1
Parallel Connect Delay	0
Results Time Limit	0
Keep Alive Enabled	チェックなし
Follow Referrals	チェックあり
Bind Anonymously on Referrals	チェックなし
Propagate Cause for Login Exception	チェックなし
Cache Enabled	チェックあり
Cache Size	32
Cache TTL	60
GUID Attribute	entryUUID

Active Directory 用の Weblogic

1. Weblogic コンソールを <http://<VSMGUI IP>:7001/console/> で開き、ログインします。

Weblogic コンソールログインに対する固有の資格情報を持つ 2 つのプラットフォームが存在します。

- Linux x86-64 サーバプラットフォームの場合は、パスワード `weblogic1` を使用して、ユーザー `weblogic` としてログインします。
- VSMc (Solaris) サーバプラットフォーム上の LDOM の場合は、パスワード `vsm6SQLadm` を使用して、ユーザー `admin` としてログインします。

2. 左上の「**Change Center**」ウィンドウにある「**Lock & Edit**」ボタンをクリックします。
3. 「**Domain Structure**」ウィンドウから、「**Security Realms**」を選択します。
4. 「**Summary of Security Realms**」ウィンドウから、「**myrealm**」を選択します。
5. 「**Settings for myrealm**」ウィンドウで、「**Providers**」タブをクリックし、「**Authentication**」タブが選択されていることを確認します。
6. 「**New**」ボタンをクリックします。これにより、「**Create a New Authentication Provider**」ウィンドウが開きます。「**Name**」フィールドに「**LDAP Server**」と入力します。「**Type**」フィールドで、「**ActiveDirectoryAuthenticator**」を選択します。「**OK**」をクリックします。「**Settings for myrealm**」ウィンドウに戻り、リストの最後に「**LDAP Server**」が表示されます。
7. 「**Reorder**」ボタンをクリックします。使用可能な認証プロバイダが一覧表示されます。「**LDAP Server**」チェックボックスをクリックし、右側のコントロールを使用して、それをリストの先頭に移動します。「**OK**」をクリックして「**Settings for myrealm**」ウィンドウに戻ります。これで「**LDAP Server**」プロバイダがリストの先頭の先頭になりました。
8. 「**LDAP Server**」をクリックします。「**Settings for LDAP Server**」ウィンドウが表示されます。「**Common**」タブで、「**Control Flag**」値を「**SUFFICIENT**」に変更します。「**Save**」をクリックします。
9. 「**Provider Specific**」タブをクリックします。編集する複数のフィールドが含まれた画面が表示されます。各フィールドに、表 2 で説明されている値を入力します。
10. 上のエントリがすべて設定されたら、「**Save**」ボタンをクリックします。これにより、「**Settings for LDAP Server**」ページに戻り、1つまたは複数のプロセスを再開する必要があることを示す通知が上部に表示されます。
11. 左上の「**Change Center**」ウィンドウにある「**Activate Changes**」ボタンをクリックします。
12. コンソールからログアウトします。次に、Weblogic サービスを停止して再起動します。
13. サービスが起動したら、コンソールに戻ります。前に実行したように、「**Security Realms**」、「**myrealm**」の順に選択します。「**Users and Groups**」タブをクリックします。構成が正しく機能した場合は、Active Directory サービスを構成したときに「**VSM Users**」グループに追加したすべてのユーザーのリストが

表示されています。これにより、Active Service と Weblogic の構成が完了しました。

表B.2 Active Directory プロバイダ固有の情報の構成値

値	説明
Host	Active Directory サーバーの DNS 名または IP アドレスのどちらか
Port	AD サービスに割り当てられたそのサーバー上のポート番号 (通常は 389)
Principal	これは、サーバーに接続するユーザーの完全な DN です。通常は、使用している LDAP 構成クライアントに移動し、管理者ユーザーの DN 属性を見つけて、このフィールドを Weblogic コンソールにカット&ペーストすることがもっとも簡単です。
Credential	上から VSM Administrator ユーザーに割り当てたパスワード
Confirm Credential	上の「 Credential 」フィールドと同じ
SSLEnabled	チェックなし
User Base DN	新しいディレクトリ DN または既存のグループのどちらか
All Users Filter	空白
User From Name Filter	(&(cn=%u)(objectclass=user))
User Search Scope	サブツリー
User Name Attribute	cn
User Object Class	user
Use Retrieved User Name as Principal	チェックなし
Group Base DN	グループを含むオブジェクトの DN。通常は、「 User Base DN 」フィールド内の値に一致します。
All Groups Filter	空白
Group from Name Filter	(&(cn=%g)(objectclass=group))
Group Search Scope	サブツリー
Group Membership Searching	unlimited

値	説明
Max Group Membership Search Level	0
Ignore Duplicate Membership	チェックなし
Use Token Groups For Group Membership Lookup	チェックなし
Static Group Name Attribute	cn
Static Group Object Class	group
Static Member DN Attribute	member
Static Group DN's from Member DN Filter	(&(member=%M)(objectclass=group))
Dynamic Groups Subgroup	このセクション内のすべてのフィールドを空白のままにするようにしてください。
Connection Pool Size	6
Connect Timeout	0
Connection Retry Limit	1
Parallel Connect Delay	0
Results Time Limit	0
Keep Alive Enabled	チェックなし
Follow Referrals	チェックあり
Bind Anonymously on Referrals	チェックなし
Propagate Cause for Login Exception	チェックなし
Cache Enabled	チェックあり
Cache Size	32
Cache TTL	60
GUID Attribute	entryUUID

付録C

付録C 問題の報告

VSM GUI の問題が発生した場合、Oracle に対してサービスリクエストをオープンします。

問題を説明して、可能な場合はスクリーンショットをサービスリクエストに添付します。

VSM GUI アプリケーションサーバーから診断ログを収集し、それをサービス要求に添付します。

診断ログを収集するには、VSM GUI アプリケーションサーバー上の端末から次のコマンドを実行します。

```
vsmgui@vsmguisvr:~$ /opt/vsmgui/scripts/vsmGui_getlogs.sh
```

または、VSM GUI からナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Application Logs**」を選択し、「**Download Log**」をクリックします。

生成されたログファイルは、/opt/vsmgui/logs/archive/ で見つけることができます。

例:

```
vsmgui@vsmguisvr:~$ /opt/vsmgui/scripts/vsmGui_getlogs.sh
```

```
[ Feb 6 14:01:11 INFO: vsmGui_getlogs.sh: stage log files... ]
```

```
[ Feb 6 14:01:12 INFO: vsmGui_getlogs.sh: tar log files... ]
```

```
[ Feb 6 14:01:17 INFO: vsmGui_getlogs.sh: VSMGUI_LOGS-020615_140112.tar.gz log file is available in /opt/vsmgui/log/archive ]
```

索引

あ

アクセシビリティ設定, 31
アクティブなプロセスの取り消し, 49
アップロードとダウンロードの概要, 199

か

構成データの形式, 71
構成プロパティの編集, 230

さ

サイト構成タスク, 27
サイト固有の初期構成, 26
サイトの構成手順, 28
新規 TapePlex の追加, 218
製品配布媒体, 17

た

対象読者, 13
データ取り込みプロセスの開始, 29
データベースのバックアップと管理, 239

な

ナビゲーションツリー, 33

は

必要なサイトデータ, 27
表記規則, 13
フィルタ, 243
ホストの削除, 221
ホストの編集, 220

ま

問題の報告, 259

や

ユーザーの削除, 223
ユーザー名, 28
ユーザーロール, 28, 32
ユーザーロールエントリの削除, 225
ユーザーロールエントリの作成, 224
ユーザーロールエントリの編集, 224

ら

ログオフ, 32
ログ表, 212

A

「Active Processes」データ表, 44
Add a New Host, 220
Add New VTSS Alerts for a Tapeplex, 228
「Administration」メニュー, 215
Application Logs, 230
Audit by MVC, 166
Audit by VTSS, 167
「Audit Output」データ表, 151
Audit コマンド要求, 166

C

Canceled Processes, 161
「CLINK for Cluster」データ表, 68
「CLINK for VTSS」データ表, 120
「CLINK Status」グラフ, 63
「CLINK Usage」グラフ, 63
「CLINKs」データ表, 60
Cluster, 64
「Clusters for VTSS」データ表, 123
「Clusters」データ表, 64
Command Line Interface (CLI), 195
Command Log, 149
「Command Log」表, 196
「Command Output」表, 197
Configuration/Policy, 199, 199
Configure Alert Levels, 225
Configure Application Users, 221
Configure Supported Tapeplexes, 217
Console Log, 209
Create/Edit Alert Levels for VTSS, 227
Create/Edit Host Data for Tapeplex, 219
Create/Edit Tapeplex Alert Levels, 225
Create/Edit Tapeplex, 217
Create/Edit User Information, 221
Create/Edit User Roles for User, 223
Create a User, 222

D

Dashboard, 35
Database Update Log Data Table, 231

Database Update Log, 231
「DBU Percentage for VTSS」 グラフ, 134
Display Cluster, 64
Display Configuration, 71
Display Drive, 73
Display MVC, 82
Display MVC Pools, 94
Display VLE, 105
Display VTD, 110
Display VTSS, 117
Display VTV, 135
「Display」 メニュー, 59
Drain by MVC, 169
Drain by MVC Pool, 170
Drain by Storage Class, 171
「Drive Allocation」 グラフ, 80
Drive, 73
「Drive Paths for VTSS」 データ表, 127
「Drive Requests Queued」 グラフ, 81
「Drive Status」 グラフ, 80
「Drives (RTDs and vRTDs)」 データ表, 73
「Drives (vRTDs) for VLE」 データ表, 107

E

Edit a Tapeplex, 218
Edit a User, 223
Edit Default Configuration Properties, 229
「Electronic Exports」 データ表, 160
Errors for Database Update, 233
「Exceptions」 データ表, 152

F

「Features for VTSS」 データ表, 129
「Free MVCs」 のグラフおよびデータ表, 40

H

「Hosts for VTSS」 データ表, 130

M

「Management」 メニュー, 149
MVC Drain, 168
MVC, 82
MVC Pools, 94
「MVC Pools」 データ表, 94
「MVC Results」 データ表, 154

「MVC Space Usage」 グラフ, 93
「MVC States in MVC Pool」 グラフ, 103
「MVC States」 グラフ, 92
「MVCs Containing VTV」 データ表, 139
「MVCs in Error」 グラフ, 42
「MVCs in MVC Pools」 データ表, 97
「MVCs」 データ表, 82

P

「Paths to Drive」 データ表, 77

Q

「Queued Processes」 データ表, 49

R

Reclaim by ACS, 177
Reclaim by All MVCs, 173
Reclaim by MVC Pool, 175
Reclaim by MVC, 174
Reclaim by Storage Class, 176
Reclaim コマンド要求, 172
Reconcile by All MVCs, 178
Reconcile by MVC, 182
Reconcile by Storage Class, 187
Reconcile コマンド要求, 178
Review Site Configuration Summary, 230

S

Site Configuration, 215
「Sizes in MVC Pool」 グラフ, 104
「Status」 データ表, 36
「Status」 メニュー, 35

T

「Tapeplex Results」 データ表, 155
TapePlex のアラートの取り消し, 227
TapePlex の削除, 219
TapePlex の新規 VTSS Critical Level アラートの追加, 226
TapePlex の VTSS Critical Level アラートの編集, 226
「Tasks」 データ表, 54

U

User Activity Log, 235

V

Vary by CLINK, 191

Vary by RTD, 192

Vary by VTSS, 193

「Vary Output」データ表, 161

Vary コマンド要求, 191

「Virtual Library Extension (VLE)」データ表, 105

「Virtual Tape Drives (VTDs)」データ表, 111

「Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)」データ表, 117

「Virtual Tape Volumes (VTVs)」データ表, 135

VLE, 105

VM システムの構成, 21

VM システムの OS/ソフトウェアスタックの詳細, 18

VM ソフトウェアのバージョン, 18

VM リソースの要件, 17

VMware 環境用の VM システムの配備, 19

「Volumes in MVC Pool」グラフ, 104

「VSM Console」メニュー, 195

VSM GUI ソフトウェアのダウンロード, 18

VSM GUI の初期表示, 32

VSM GUI へのログイン, 31

VSMc の「Configuration/Policy」パネル, 202

VTD, 110

「VTDs in VTSS」データ表, 132

VTSS, 117

VTSS アラートの取り消し, 229

VTSS アラートの編集, 228

「VTV Compression」グラフ, 146

「VTV Counts」グラフ, 39, 147

「VTV on MVC」データ表, 88

「VTV Results」データ表, 158

「VTV States」グラフ, 145

VTV, 135

「VTVs Moved」データ表, 157

W

Weblogic のための LDAP 構成, 249

WTOR および HILITE 表, 210
